

第八十二回帝國議會 農業保險法中改正法律案外三件委員會會議錄(速記)第三回

昭和十八年二月四日(木曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 池田 秀雄君
理事泉國 三郎君 理事岩瀬 亮君
理事角猪 之助君 理事日下田 武君
理事深澤 吉平君
安孫子孝次君

小笠原八十美君 小野 祐之君
岡本馬太郎君 大石 齊治君
北村又左衛門君 加藤 七郎君
齊藤 正身君 紀藤 常亮君
田部 朋之君 酒井 利雄君
中村又七郎君 竹内 俊吉君
馬場 元治君 野村嘉久馬君
二田 是儀君 樋口善右衛門君
松浦周太郎君 松岡 秀夫君
三善 信房君 牧原源一郎君
村上 國吉君 滿井 佐吉君
矢部 藤七君 最上 政三君
吉田 賢一君 安田 桑次君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 石黒 武重君
農林省農政局長 石井英之助君
農林省山林局長 井出 正孝君
大藏書記官 窪谷 直光君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農業保險法中改正法律案(政府提出)
食糧管理特別會計法中改正法律案(政府提出)

農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案(政府提出)

○池田委員長 ソレデハ開會致シマス、一寸御諮リヲ致シマスガ、今日カラ暫クノ間ハ農業保險法中改正法律案ト、食糧管理特別會計法中改正法律案並ニ農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案、此ノ三案ニ付テ御質問ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス、木炭需給調節特別會計法中改正法律案ハ少シ食糧關係トハ縁ガ遠イノデゴザイマスカラ、是ハ又後デ適當ナ機會ニ御願ヒシタ方ガ、議事ガ混雜セヌデ宜クハナ

イカ、一方ニハ木炭ヤ薪ヲヤリ、一方ニハ食糧ト云フヨリハ、此ノ三件ヲ先ヅ本日ハ御質問ヲ願フト云フヤウニ致シタ方ガ宜カラウカト思ツテ居リマスガ、如何ナモノデセウカ——サウ云フヤウニ御願ヒ致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ又御承知ノ通り戰時議會デモアルノミナラズ、開會モ遅レテ居リマス、ソレデ成ベクナラバ御質問ハ一人デ二時間モ、三時間モ、四時間モト云フヤウナコトハ御遠慮ヲ願ツテ、大體一時間見當位デ御質問ヲ願ヒ、成ベクハ多クノ方ニ御質問ノ機會ガ出來ルヤウニスルノ

ガ宜カラウト思ツテ居リマス、ソレニ又成ベク案ニ即シテ御質問ヲ願ヒ、豫算委員會、或ハ農業團體法ト餘リ重複セヌヤウニヤツ

タガ宜カラウト思ヒマスカラ、成ベクハ案ニ即シテ御質問ヲ願ヒタイ、尤モ斯ウ申シマシテモ、敢テ皆サンノ言論ヲ封ズル意味ハアリマセヌ、併シ成ベク案ニ即シタル御質問ヲ願ツテ、一應ノ結論ニ到達致シマスレバ、又時ヲ見計ラツテ一般農業問題、農業策問題等ニ付テハ、農林大臣其ノ他ノ御出席ヲ願フ、機會ヲ作りタイト思ツテ居リマスガ、最初ハ成ベク案ニ即シテ御質問ヲ願ツタ方ガ議事ノ進行上都合ガ好クハナ

イカト云フヤウニ考ヘテ居リマスガ、此ノ點皆サンノ御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス
○樋口委員 委員長ノ御説御尤モト思フノデス、併シナガラ此ノ保險トカ、或ハ今提案セラレテ居ル案件ニ付キマシテモ、根本ハ大體農村ノ現狀ハ、區々ナル案件ノ審議ヲシテ居ルヨリモ、根本的ニ私ハ檢討シ直サネバナラスモノガアリハセヌカ、隨デ此ノ法案ヲ審議スルコトハ當然デハアリマスケレドモ、此ノ法案ヲ審議スルニ先ダチマシテ、政府當局ノ食糧及ビ農村ノ問題ニ對スル意思ノアル所ヲ確カメテ、然ル後本案ヲ審議スルト云フコトニ行カネバ、現下我が國ノ實情ハ普通ノ場合ト違ツテ居ルト私

付託議案

農業保險法中改正法律案(政府提出)(第四七號)
食糧管理特別會計法中改正法律案(政府提出)(第二七號)
農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案(政府提出)(第二八號)
木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第二九號)

ハ思フノデゴザイマス、又保險法ノ制定ノ如キデモ、之ヲ制定スル必要ガ喧シク言ハレタ當時ト現狀トハ違フノデゴザイマス、現狀ハソレヨリハモツト——根本的ナ問題ニ週ツテ農村ヲ如何ニスルカ、食糧問題ヲ如何ニスルカト云フコトガ私ハ一番必要デアルト思フ、ケレドモ茲ニ政府ガ折角斯ウ云フ改正案ヲ出サレテ、共濟的ナル效果ヲ擧ゲルト言ハレルコトニ付テハ、是ハ私此ノ提案ヲ適當ト思フノデアリマスルケレドモ、併シ之ヲ運用シテ行ク母體デアル農村ノ現狀ハドシテシテ居ルカ、是等ヲ見直ス時ニ於キマシテハ、私ハ當局ノ意思ノアル所ヲ各委員カラ尋ネラレテ行クコトハ、委員長之ヲ御許シニナツタガ宜シイト思ヒマス、此ノ點ニ付テ委員長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池田委員長 御答ヘ致シマス、只今ノ樋口君ノ御意見ハ御尤モト思ヒマス、尤モ農業保險ノ改正ニ付キマシテモ、其ノ前提ガナケレバ十分論旨ヲ盡スコトハ出來マスマイ、ソレマデ御遠慮ヲ願ヒタイト云フ意味デハアリマセヌ、結論ニ到達スルニハソコカラ論ジナケレバナラスコトガ多クゴザイマセウ、唯併シ成ベクソレニ付テモ案ニ即シテ、ソコカラ論ジテ行カケレバ、此ノ案ニ付テ結論ガ得ラヌヤウナ意味合ニ於テ一ツ御質問ヲ願ヒタイ、ソレデ敢テ案ト關係ガ

ナイトと言ツテ、私ハ皆サンノ質問ヲ封ジヨウト云フ考ハ毛頭持ツテ居リマセヌ、成ベク議會ノ論議ハ之ヲ尊重シテ行ク、サウシテ權威アル委員會ニシテ行キタイト云フヤウナ積リデ居リマスルカラ、其ノ積リデドウゾ御願ヒ致シマス——ソレデハ質問ノ通告ガアリマスカラ、樋口善右衛門君ニ質問ヲ願ヒマセウ

○樋口委員 色々委員長ノ議事進行上御注意モアリマスカラ、成タケ簡明率直ニ御尋ネラシタイト思ヒマス、私現下ノ食糧事情ト云フモノヲ見マスル時ニ、全ク惡化ノ一路ヲ辿ツテ參ツテ居リマス、國民ノ食糧ニ對スル所ノ不安感ト云フモノハ一層深刻ニナツテ參ツタノデアリマスガ、政府ハ色々之ニ付テ消費生産方面ニ聲ヲ囑シテ叫ンデ居ラレル、全ク骨身ノ削ル御勞苦ヲ拂ツテ戴クコトハ洵ニ私共感謝ニ堪ヘヌノデアリマサガ、併シナガラ事今日マデ御計畫ニナツタコトニ反シタル結果ガ即チ惡化ノ一路ヲ辿リツツアルノダト思フノデアリマス、今ニシテ根本的ナル方法ヲ御檢討願ハネバ折角御努力ヲ願フコトソレ自身ガ寧ろ惡化ノ一路ニ傾イテ行クノデハナイカト云フ心配ガアルノデアリマス、之ニ付キマシテ昨年ノ議會ニ於キマシテモ、色々政府ハ此ノ大戦ノ前途ヲ見透シテ、現在ノ生産消費ヲ睨合セテ、ソコニ食糧政策ヲ御立デニナリマシテ、茲ニ一年ヲ經マシタル今日ニナリマスルト、其ノ當時ニ於キマシテ既ニ私共ハ其ノヤリ方デハ到底御計畫ガ實現セマイト云フコトヲ申上ゲタ積リデゴザイマス、所ガ政府ニハ如何ニモ確信アルカノヤウナコトデアリ、唯天候其ノ他ヒムヲ得ザル事情ト云フヤウナ場合ハ計畫ニ反スルカモ知レ

ヌト云フヤウナコトデゴザイマシタ、然ルニ昨年ノ米作ノ如キハ近年ニナイ豐作デアル、朝鮮ノ一部ノ如キハ成程是ハ旱害ヲ受ケマシタカハ知ラヌガ、元來我ガ國ノ食糧ハ決シテ外地及ビ外米ニ依存セヌデモ、内地ニ於テ十分ナル自給自足ヲ出來ルノハ、現在デモ私ハ米ガアルト信ジテ居ルノデゴザイマス、唯ソレ需給ノ關係ガ圓滑ヲ缺カガ爲ニ斯様ナ結果トナリ、又此ノ生産者ノ心理ヲ十分擱マズシテ、唯茲ニ法律規則ヲ以テ事ヲ計ラツテ行ク所ニ、此ノ需給ノ圓滑ヲ缺イテ來タ結果ガ、今日ノ外地米、外米ニ賴ラネバナラスト云フヤウナ、洵ニ情ケナイ現狀ニ至ツテ居ルト思フノデゴザイマス、ソレデ昨年ノ此ノ議會ニ於テ政府ガ御立デニナツタノト、現在ト甚ダシイ違ツタコトハ、成程大東亞戰爭ノ推移ノ狀況モアリマセウケレドモ、大東亞戰爭タルヤ固ヨリ前途遠達デアリ、是カラデアルト云フコトハ各大臣カラ各方面デ國民ニ覺悟ヲ促シテ居ラレル、其ノ場合ニ於ケル政府トシテ、大東亞戰爭ハ一層甚ダシクナツテ來ルト云フコトノ豫想モ付イテ居ラヌ答ハナイト思フ、ソレヤ是ヤヲ考ヘマスル時ニ、食糧問題ガ現在ノヤウナ狀態ニナツテ來タ、包米ヲ食ツタリ、玄米ヲ食ハネバイカヌ、食ハセネバナラヌ、何ト云フ情ケナイコトダト思フノデゴザイマス、産業戰士ニ對シテ、ドウゾ私ハ彼等ノ好ム物ヲ食ハシテヤレルモノナラバ、此ノ方法ニ依ツテ必ズナシ得ラレルモノヲ、玄米デ我慢シロ薩摩芋ヲ食ツテヤレ、包米ヲ食ツテヤレト云フコトハ、聊カ食糧政策ヲ御立デニナルコトニ付テ、私ハ非常ナル根本的ノ行違ヒガアリヤセヌカト云フコトヲ思フノデゴザイマスルガ、

併シナガラ豫算總會ニ於テ承リマシテモ、今日デモ政府ノナサレテ居ルコトハ、大體ニ於テ是デ宜イ、是デ押通シテ行クト云フ御意向ノヤウニ伺ツタノデアリマスルガ、之ニ對シマシテ、大臣ハ現在ノ狀態ガ如何ナル原因ニ依ツテ斯ウナツタカ、其ノ主ナルモノ、其ノ主ナル原因ト、サウシテ我ガ國ノ食糧政策ノ見透シニ付テ御教示ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○井野國務大臣 只今樋口君ハ我ガ國ノ食糧事情ガ惡化ノ一途ヲ辿ツテ居ルト云フ御言葉デアリマシタガ、私ハサウハ思ツテ居リマセヌ、惡化ト云フコトハ非常ニ將來ノ悲觀性ヲ意味スルノデアリマスガ、支那事變五年目、大東亞戰爭二年目ノ今日、兎モ角平年作以上ノ作ヲ得タト云フコトハ、決シテ食糧計畫ノ上ニ於テ惡化ノ一途ヲ辿ツテ居ルトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、如何ナル國ニ於キマシテモ、戰爭五年目ニナリマスルト、殆ド生産ハ半減致シマス、然ルニ我ガ國ハ 御稜威ノ下、農民諸君ノ全ク滅死奉公ノ努力カラ、平年作以上ノ作ヲ得タノデアリマス、昨年モ政府トシマシテハ七千万石ト云フ目標ニ致シマシタ、其ノ時樋口君ハソシナ目標ヲ作ツタツテ駄目ダト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、昨年ノ六千七百万石ト云フ二回收穫豫想ハ、兎モ角九州、四國ノアノ災害ヲ考慮ニ入レマシテ尙ホ六千七百万石デアリマス、若シモアノ災害ナカリセバ、七千万石以上ヲ突破シテ居ツタト思フノデアリマス、デアリマスカラ生産計畫ノ上ニ於キマシテハ少シモ齟齬ハナイノデアリマス、然ラバ何故今日食糧ノ狀態ニ於テ外米ニ多少依存スルカ、外米依存ナンカシナクテモ立派ニ國內デヤツ

テ行ケルデヤナイカト云フ御意見モアリマシタ、是ハ私モ出來ルヤウニ致シテ居リマスルガ、從來カラノ生産計畫ヲサウ急ニ倍加スル譯ニハ、内地ノ事情ニ於テモ行カナイノデアリマス、而モ戰爭後消費ノ増加ト云フモノガ非常ニ増大致シテ居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ急激ナル増加ニ對シテ、供給ヲ出來ルダケ多クスルコトニ依ツテ賄ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、勢ヒ多少ノ外米ニ依存シナケレバナラヌ實情デアリマス、隨テ外米ノ輸入モ政府トシテハ出來ルダケノコトヲ致シタノデアリマス、然ルニ本年ハ大東亞戰爭第二年目ヲ迎ヘマシテ、所謂決戰ノ年デアリマスルカラ、第一線ノ將兵ニ思フ存分働イテ貰ヒタイ、サウシテ立派ニ米英ヲ叩キ付ケテ貰ヒタイト云フ氣持カラ、船ハ出來ルダケ第一線ニ割カウデヤナイカ、國民ハ多少生活ノ上ニ窮屈ガアツテモ我慢シヨウデヤナイカト云フ意味ニ於テ、外米ノ輸入モ極力抑制ヲ致サウト考ヘマシタガ故ニ、消費部面ノ上ニ於キマシテ色々工夫ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ此ノ事態ヲ以テ將來ノ食糧ガ不安ナリトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、國民ガ戰時生活ニ耐ヘ忍ブ決意ヲ持ツテ居リマスル以上、政府ノ施策ニ應ジマシテ、適當ニ國民トシテモ食糧問題ニ付テハ政府ヲ信ジ、政府モ亦國民ヲ信ジテヤツテ行キマスレバ、少シモソコニ不安ハナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

○樋口委員 成程惡化ト云ツテハ或ハ言ヒ方ガ惡イカモ知レマセヌガ、窮屈ニナツタコトハ事實デアリマス、ソレカラ昨年ハ七千万石出來タ、事變以來生産ノ維持ハシテ來タ、斯ウ云フコトニ於テ政府ノ計畫ハ

テ行ケルデヤナイカト云フ御意見モアリマシタ、是ハ私モ出來ルヤウニ致シテ居リマスルガ、從來カラノ生産計畫ヲサウ急ニ倍加スル譯ニハ、内地ノ事情ニ於テモ行カナイノデアリマス、而モ戰爭後消費ノ増加ト云フモノガ非常ニ増大致シテ居リマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ急激ナル増加ニ對シテ、供給ヲ出來ルダケ多クスルコトニ依ツテ賄ツテ行クト云フコトニナリマスレバ、勢ヒ多少ノ外米ニ依存シナケレバナラヌ實情デアリマス、隨テ外米ノ輸入モ政府トシテハ出來ルダケノコトヲ致シタノデアリマス、然ルニ本年ハ大東亞戰爭第二年目ヲ迎ヘマシテ、所謂決戰ノ年デアリマスルカラ、第一線ノ將兵ニ思フ存分働イテ貰ヒタイ、サウシテ立派ニ米英ヲ叩キ付ケテ貰ヒタイト云フ氣持カラ、船ハ出來ルダケ第一線ニ割カウデヤナイカ、國民ハ多少生活ノ上ニ窮屈ガアツテモ我慢シヨウデヤナイカト云フ意味ニ於テ、外米ノ輸入モ極力抑制ヲ致サウト考ヘマシタガ故ニ、消費部面ノ上ニ於キマシテ色々工夫ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ此ノ事態ヲ以テ將來ノ食糧ガ不安ナリトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、國民ガ戰時生活ニ耐ヘ忍ブ決意ヲ持ツテ居リマスル以上、政府ノ施策ニ應ジマシテ、適當ニ國民トシテモ食糧問題ニ付テハ政府ヲ信ジ、政府モ亦國民ヲ信ジテヤツテ行キマスレバ、少シモソコニ不安ハナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス

違ハナイト云フコトデアリマス、其ノ通り
七千万石ヤソコラハ出来タノデアリマス、
併シ鬼ニ角モ我が國ノ米ト云フモノハ、天
候サヘ好ケレバ七千万石ヤソコラデハナ
イ、ソレハソレトシテモ、七千万石モ穫レ
タノニ、ナゼ今日コンナニ慌シイコトヲシ
ナケレバナラヌノデアルカ、私ハ今日政府
ノヤラレル所ヲ見ルト、七千万石穫レタモ
ノデアルナラバ、政府ハ自給關係ニ於テ此
ノ七千万石ニ付テ其ノ運用宜シキヲ得ルナ
ラバ、コンナ窮屈ナコトヲセヌデモ、來年
ノ見透シハ付クト云フヤウナコトヲ仰セニ
ナリマシタケレドモ、我が國ノ米ト云フモ
ノハ建國以來ノモノデゴザイマシテ、米ハ
即チ農ノ本デアリ、全ク我等ノ血ト肉ハ米
ニ依ツテ出来、米ハ國家ノ生命デアアルノデ
アリマス、此ノ尊イ米ヲ作ル耕地ガ人口ノ
増加ト共ニソレニ比例シテ殖エテ來テ居リ
マシテ、統計ヲ見マシテモ六千五百万石ナ
リ、七千万石ナリト云フモノハ出来テ居ル
ノデアリマス、而モ此ノ統計ニ現ハレタル
モノタルヤ、農村ノ特異性ト申シマスカ、
或ハ徳川時代ノ藩政ノ苛斂誅求ノ結果、此
ノ統計ニ現ハレマス申告ト云フモノハ、七
俵獲レバ六俵ヲ申告スル、ソレ以上ヲ言フ
モノハ篤農家以上ニハナイノデアリマス、
昨年ハ宜カツタガ、今年ハドウモイケンイ
ト云フコトデ、農家ノ肚デ以テソコニ屈ケ
テ來タモノガ此ノ數字デアアルノデアリマス、
ソレデ只今ハ世界各國ノ例ヲ御引キニナリ
マシタガ、我が國ハ農ヲ以テ本トシテ居ル
國デアリマシテ、世界ノ他ノ國ノ農業經營
トハ全然違フノデアリマス、五百五十万ト
カ六百万トカ云フ農家ガ、全ク獨立自營ノ
本質ノ下ニ之ヲ作ツテ居ル、是等ノ點ニ思

ヒヲ致サズシテ、數字ノ上ダケデ御覽ヲ載
キマス、其ノ政策ニ大ナル間違ヒガ出来
ルト思フノデアリマス、假ニ御計畫ノ七千
百万石出来タト見マシタ所ガ、片方ノ農家
ガ今日米ヲ食ツテ居ル、是ハ全國何レモ先
ヅ以テ否定スベカラザル事實デアリマス、
都會ハ芋ヲ食ヒ、麥ヲ食ヒ、外米ヲ食フ、
私共ハ昨年以來之ヲ心配シタノデゴザイマ
ス、幾ラ穫レテモ農家ガ食込ムト云フコト
ニナレバ是レ位恐シイコトハナイ、世界ノ
廣イコトハ私共ハ知リマセヌガ、例ヲ舉ゲテ
行ケバ「ドイツ」ノ如キデモ南「プロシヤ」ニ於
テ最モ集約農業トセラレル所ガ五十町歩ヲ
最小トスルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リ
マス、是等ノ經濟的農業ト違ヒマシテ、我
ガ國ノ農業ハ企業デハアルケレドモ、精神
的ノ農業デゴザイマシテ、先ヅ以テ自分ノ
食フモノヲ自分デ穫ルト云フ程度ノモノデ、
平均ハ一人ニ六反歩内外ニシカ當リマセ
ヌ、此ノ農家ガ全國的ニ一日五合ヅツ米ヲ
濫費スルトスレバ、優ニ是ハ九百万石乃至
一千万石ヲ食ヒ込ムノデゴザイマス、唯收
穫ガアツタカラト云フノデナク、此ノ米ヲ
十分供出セシメテ、之ヲ消費地ヘ持ツテ來
テ、初メテ私ハ食糧増産ノ全キヲ得タト云
フコトガ出来ルト思フノデアリマス、此ノ
米ヲ農家ガ自らノ消費ニ多數ヲ使ヒ、又濫
費スル、聞ク所ニ依レバ濁酒ヲ造リ、又
米味噌ヲ造ル、或ハ屑米ハ動物ノ飼料ニス
ル、私ハ斯ウ云フコトヲ聞ク度ニ目ノ潰レ
ルヤウナ勿體ナイ感ジガスルノデゴザイマ
ス、是ガ私共ノ昨年憂ヘタ點デゴザイマシ
タ、天候ガ好カラウガ、惡カラウガ、穫レ
タモノヲ大切ニシテ、米ハ一粒デモ無駄ニ
スレバ目ガ潰レルト云フ位農家ハ大切ニシ

テ居ツタノデゴザイマス、ソレヲ今日米ヲ
食フヤウニナツタト云フコトハ、要スルニ
米ガ一番安イト云フコトデゴザイマス、此
ノ値段ヲ此ノ儘デ置イタ時ニハ必ズヤ食
糧政策上非常ニ困ル、斯ウ云フ風ニ米
價ト云フモノガ低物價政策ノ犧牲ニナ
ツテ居ル、犧牲ト云フト語弊ガアルカ
知ラヌガ、一番之ヲ低物價政策ノ恐ロシ
キモノノヤウニ政府ハ見テ居ラレル、
其ノ結果他ノ物ハドン／＼上ツテモ米ダケ
ハ安イ、安イニ依ツテ貴サト云フモノガナ
クナツテシマツテ居ル、又農家ニ於テ之ヲ
ナゼ食フカト言ヘバ、他ニ食フモノガ何モ
アリマセヌ、平常持ツテ居ルモノデアリ、
又安イト云フコトニ依ツテコツチデ使ツテ
シマフ、早ク米ノ相場ヲ他ノモノト鈞合ヲ
取ルヤウニセニヤイカヌト云フコトカラ、
私ハ大臣ニ斯ウ云フ間違ヒガ起リハセヌカ
ト云フ心配カラ尋ネタノデゴザイマス、何
モ米ガ穫レルトカ穫レヌトカ云フンデヤナ
イ、穫レタモノヲ需給ノ關係ヲ宜クシテ、
初メテ食糧政策ト云フモノガ出来ルノデア
リマスカラ、私ハ此ノ値段デハイカヌト云
フコトヲ申上ゲタ、五圓ノ補償金デ非常ニ
喜ンデ出スト云フヤウナ御見解デアリマシ
タガ、其ノ點ヲ私ハ心配シタ、大臣ナリ政
府ナリノ方ニ聞エテ來ルノハ、洵ニ結構デ
ゴザイマス、ト言ヒマセウケレドモ、生産者
自體ガ米ヲ食フ所ヲ見マスト是ハ決シテ有
難ガツテ居ラヌト云フ證據デアアル、ソコデ
私ハ昨年非常ニ之ヲ憂ヘタガ、只今御説ノ
ヤウニ、何モ今困リハセヌ、斯ウ云フ御話
デアリマスガ、都會ニ芋ヲ食ハセナケレバ
イカヌ、代用食ヲ配給シナケレバイカヌト
云フコトニナツテ來タ原因ハ、價格ノ問題

カラデアアル、芋トカ云フモノハ非常ニ腐敗
シ易イモノデ、是ハ都會ノ人ノ代用食ニス
ベキモノデヤナイ、米ガ貴イモノデアアルカ
ラ米ヲ出ス、サウスレバ結局其ノ代用食ヲ
麥ニ取ルトカ、芋ニ取ルトカ云フコトニナ
ツテ來ル、ソレガ斯ウ云フコトニナルト云
フノハ、米ノ價格ガ一番安イト云フコトニ
原因シテ居ルコトハ爭ハレナイ事實デアリ、
是ハ恐ラク全五百万戸ノ意思デアアルト
言ツテ憚ラヌノデゴザイマス、ソレヲ此ノ
儘押通シテ御計畫ヲ御立デニナツテモ、田
舍デ使フ所ノモノヲドウスルカ、又生産者
自ラガ耕作ヲ怠ルノヲ、規則ヤ何カデ止メ
ラレルモノデヤナイ、最モ貴イ米デアアル以
上、私ハ最モ高イノガ當然デアアルト思フ、
假令之ニ二重價格ヲ御用ヒニナリマシテモ、
現在ノ價格ヲ以テ押通シテ行クト云フコト
デハ、如何ニ消費ヲ規正セラレテモ、如何ニ
生産ヲ増加シテモ、其ノ濫費スル所ノモノ、
之ニ依ツテ食ヒ違ヒガ出来テ來ル、我が國
ノ農業ノ經營狀態ハ、ソナナ「ヨーロッパ」諸
國ナドト大イニ趣キヲ異ニシテ居テ、米ヲ
最モ高イモノ、貴イモノト云フ、此處ニ重
點ヲ置イテ、米サヘ確保致シマスレバ、他
ノモノハソレ程ヤカマシク言ハヌデモ、私ハ
我が國ノ食糧問題ハ解決スルト思フ、農家
自ラガ増産シヨウ、自ラ節米シヨウ、自ラ
進ンデ供出シヨウト云フ風ニ仕向ケテ行キ
マスナラバ、五百五十万戸ノ農家デ僅カ五
反ヤ六反ノ平均デアレバ、肥料、勞力ノ不
足、固ヨリ苦痛デアリマスケレドモ、之ヲ
克服スルコトニ付テハ大農式ト違ツテヤリ
易イ所ガアル、同時ニ節米サセルニ付テモ非
常ニ都合ガ好イ、然ルニ現在デハ其ノ反對
ノ結果ヲ來シテ、五百五十万戸ノ米ヲ作ル

農業者ト云フモノガ何トナク力ヲ入レマセ
ヌ、ソコニ持ツテ來テ彼等ガ米ヲ食フ、之
ヲ供出スルト云フコトニナルト隱スヤウニ
スル、斯ウ云フ現狀ヲ其ノ儘ニシテ之ヲ押
通スト云フコトハ、非常ニ間違ヒガ生ジテ
來ル、原因ニナルト思フ、此ノ間カラノ政
府ノ御答辯ヲ伺ヒマシテモ、米ノ値段ハ上
ガナイ、但シ二重價格制ヲ以テデモ云々ト
云フヤウニ言ツテ居ラレル、是ハ消費者ニ
對スル價格ヲ上ゲヌト云フコトニモ聞エ
ルノデアリマスガ、私ガ昨年言ツタノハ、此
ノ米ノ値段ヲ早ク適正ニシナケレバナラヌ
ト云フコトデ申シタノデアリマス、値段ヲ
上ゲヌト言ハレルノハ、消費者ニ對スル低
物價政策トシテ言ハレルコトダト云フ風ニ
私ハ思ツテ居ツタノデアリマスガ、私ノ聽
キ誤リカモ知レナイガ、世間多ク傳ヘル所
ハ、農林省ノ委員會デ政府ハ、米ノ値段ヲ
上ゲル位ナラ出シテ呉レヌデモ宜イト云フ
風ニ言ハレタト聞イテ居ル、若シ夫レ斯ウ
云フ結果デ見ルト、消費者ノ方ノ値段ヲ上
ゲヌノハ、是レ以上二重價格トシテデモ生
産者ノ手取ヲ上ゲヌト云フコトニ是ガナル
コトダト思フガ、是等ニ付キマスル大臣ノ
御意見ヲハツキリシテ、生産者ニ疑惑ヲ持
タセヌヤウニシテ、進ムベキ方向ヲ定メラ
レル必要ガアルト思フ、此ノ點ニ付キマス
ル御所見ヲ一應承ツテ、吾々モ此ノ生産ノ
第一線ニ從事スル指揮指導ノ參考ト致シタ
イト思フノデゴザイマス

○井野國務大臣 樋口君ノ色々米ノ増産ニ
對スル御心配ハ私モ感ヲ同ジウスルノデアリ
マシテ、私トシテモ率直ニ申上ダレバ、農
村ニ出來ルダケ有利ニ米ノ値段モ考ヘ、又
生産ノ増強ノ爲ニ色々ノ施設ヲシテ參リタ

イト云フコトハ、是ハ私トシテハ當然デアリ
マス、併シ政府全體トシテ茲ニ色々考ヘナ
ケレバナラヌ問題ガアルト云フコトヲ各方
面カラ申上ダテ居リマスカラ、ソレガ部分
的ニ或ハ米ノ値ヲ上ゲヌトカ、或ハ二重價
格制度ヲ絕對ニヤラヌトカ、色々ナ風ニ響
カレマスガ、結局私ノ氣持ヲ率直ニ申上ダ
マス、今樋口君ハ、今日農村ガ米ノ收穫量
ニ付テ餘リ實際ノ報告ヲシテ居ナイト云フ
御話デアリマシタガ、併シ私ハ農民ガ噓ヲ
ツクト云フコトハ考ヘタクナイノデアリマ
ス、ヤハリ色々ノ報告等ニ付テハ正直ニ報
告シテ居ラレル、併シソコニ統計上色々ノ
關係モアツテ、全部今日出テ居ル統計ガ農
村ニアル米ノ全統計トモ考ヘテ居リマセヌ、
ソレ以外ノモノモアルトハ思ツテ居リマス、
併シソレハ農民ガ申告ヲ偽ルガ故ニナルノ
デハナクシテ、ソコニ農民ノ申告デナイ色
色統計員等ノ米ノ豫想カラ來ル統計モ集マ
ツテ居ルノデアリマスカラ、隨ツテヤハリ
今日ノ數字ノナ實體ヲ以テ食糧政策ノ基本
トシテ行カケレバナラヌト思ヒマス、ソ
コデ農村ニ於テ米ヲ此ノ儘ニ置イテオクト
食ヒ過ギテシマフ、ダカラ政府ハモツト米
ヲ農村カラ供出サシテ、都會ニ於テ芋ナン
カヲ使ハナイデ處理シテ行ツタラ宜イデハ
ナイイカト云フ御意見デアリマス、今日農村
ニ對シマシテハ政府トシテモ米ノ國家管理
ヲ政シマシタ以上、農民ハ是ダケノ米ヲ當
然食ベテ宜イト云フ數量ヲ示シテ居ルノデ
アリマス、所謂自家用保有米ト云フモノヲ
農村ニ示シテ、是ダケハ農村トシテモ自カ
ラ作ツタモノデアリマスカラ當然食ベテモ
宜シイ、サウシテソレ以外ノモノヲ政府ニ
供出シテ貰ヒタイ、ソレヲ農民以外ノ消費

者ニ政府ハ自カラノ責任ニ於テ分ケテ行ク
ト云フ風ナ制度ヲ今日執ツテ居ルノデアリ
マス、昨年ノ實績ヲ見マシテモ、政府ガ豫
期シテ居リマシタ供出米以上ニ農村ハ自分
ノ自家用米ヲ割イテモ供出シテ居リマス、
數字のニ見マス、ソコニ農村トシテハ相
當ニ政府ノ政策ニ協力シテ、自家用米ヲ他
ノ物ニ換ヘテ、サウシテ米ノ供出ヲ致シテ
居リマス、部分的ニ見レバ無論或ハ供出
米以上ノモノヲ食ベタ所モナイトハ言ヒマ
セヌケレドモ、全體的ニ見レバサウ云フ態
勢ニナツテ居ルノデアリマス、デアリマス
カラ本年度ニ於キマシテモ、大體本年ノ作
柄ニ應ジマシテ供出米ヲ割當テ、サウシテ
目下政府ハ是ガ買上ヲ致シテ居リマスガ、
非常ナ好成绩デアリマス、斯ウ云フ狀態デ
アリマスカラ、農村ニ對シテ決シテ今農村
ガ割當テラレタ以上ノ米ヲドシ／＼食ベテ、
其ノ消費ヲ増加シテ居ルトハ私ハ考ヘテ居
ラナイノデアリマス、併シ農村ニ對シテ然
ラバ米ノ値ヲモツト上ゲテ或ハ自家用保有
米ノ半分モ出シテ、アトハ芋ヤ何カデ農村
ハ賄フヤウニシタラ宜イデハナイイカト云フ
コトモ、是ハ一ツノ案デアリマス、値ヲ上
ゲテ米ヲ多ク取ルト云フコトモ一ツノ方法
デ、是等ノコトニ付テハ色々ノ御意見ヲ私ノ
所ニモ言ツテ參リマス、併シ私ハ今日低物
價政策ト云フモノヲ政府ガ堅持シテ行クコ
トガ大東亞戰爭ヲ勝抜ク上ニ極メテ大切ナ
コトデアル、之ヲ其ノ一端ヲ破レバソコカ
ラ物價政策ト云フモノハ崩レテ來テ、先般
『ドイツ』ガ物價政策ノ破綻カラ結局敗戰ニ
ツタ事例ヲ見マシテモ、是ハ日本ノ今日ノ
國內經濟ニ於テ嚴守シナケレバナラヌ事態
デアルト私ハ思フノデアリマス、隨テ米ノ値

段ヲ上ゲルト云フコトガ總テノ物價ニ大キ
ナ響キヲ與ヘルノデアリマス、隨テ政府ト
シテハ、米トカ、鐵トカ、石炭トカ云フ基
本的ナ物資ハ値上ダハシナイ、其ノ代リ主
産費、或ハ他物價ト比ベテ見テ非常ニ引合
ハヌト云フ場合ニハ、國家ノ補助金、或ハ補
償金ヲ以テ所謂二重價格制度ヲ以テ之ヲ賄
ツテ行クト云フ方針ヲ執ツテ居ル譯デアリ
マス、然ラバ、今日米價ニ付テモツトド
ン助成金ヲ出シタラ宜イデハナイイカト云
フコトモ、是ハ出來レバ吾々モ成ベク多
クノ助成金ヲ出シテ行キタイノデアリマス、
併シ國家ノ財政ニモ限りガアリマス、隨テ
米ノ値段ニ付テ助成金ヲ多クスルコトニ
依ツテ米ヲ引出シテ來ルト云フ、サウ云フ
行キ方ハ、何時カハ行詰ル時代ガ來ルノデ
アリマス、國家ノ財政ニ限りガアリマスカ
ラ、幾ラデモ國家ガ金ヲ出セルト云フナ
ラ是ハドシ／＼ヤルガ宜イト思ヒマスガ、
限リノアル以上ハ或ル所ニ來ルト行詰リガ
來ル、行詰リガ來テカラ今度ソレガ出來ナ
イト云フコトニナレバ、農村ヲ導イテ行ク
上ニ於テ、唯價格ダケデ農村ヲ導イテ行ク
ト云フコトハ、却テ寧ロ日本傳統ノ農村ヲ
墮落セシムルヤウナ嫌ヒガアリハシナイイ
ト云フ心配ヲ私ハ持ツノデアリマス、デア
リマスカラ、農村ニ對シテハ、斯ウ云フ事情
デアル、政府トシテモ出來ルダケノコトハシ
タイノダ、ケレドモ今日ハ斯ウ云フ譯デ出
來ナイノデアルカラ、農民諸君モドウカ此ノ
氣持ヲ能ク買ツテ貰ツテ、サウシテ出來ルダ
ケ増産ニ努メ、又供出ニモ努メテ貰ヒタイト
云フヤウニ、農村ヲ精神的ニ導クコトニ依
リマシテ、從來ノ農村ノ美シサヲ壞サナイ
ヤウニ、サウシテ農民ノ傳統のナ、所謂土

ニ育ミ減私奉公ノ觀念ヲ増進シ居ラ
レル其ノ氣持ヲ私ハ導イテ行キタイト思フ
ノデアリマス、單ナル價格政策ダケ色々
ノ操作ヲシテ行クコトハ、易シイコトデア
リマス、行政官トシテモ、一番容易イ方向デ
アリマス、サウ云フ方向モ無論考ヘテハ行
キマス、政府トシテハ引合ハナイコトヲ無
理ニ農村ニ要請スル譯ニハ參リマセヌカラ、
凡ユル方向カラ考ヘ直スベキハ徐々ニ直シ
テ行キマスケレドモ、思ヒ切ツテソレガ出
來ナイ、樋口君ノ御意見ハ、ソレヲウント
一ツ出シテ、サウシテ農村カラ米ヲ出サセ
テ、農村デハ算盤カラ見テ他ノ物ヲ食ベサ
セテ、サウシテ消費者ノ米ノ値段ヲ緩クシ
タ方ガ宜イノデハナイカト云フ御議論、是
ハ私モ出來レバサウシタイ氣持ハ持ツテ居
リマス、併シソレガ今日ノ國家ノ財政竝ニ
低物價政策ノ見地カラ見マシテ中々出來得
ナイト云フ事情ヲ申上ゲテ御參考ニ供シタ
イト思フノデアリマス

○樋口委員 色々御意見ヲ承リマシタガ、
一寸實情ダケヲ申上ゲテ置キマス、只今ノ
御答辯中ニ、米價ノ上ゲラレナイ事情ニ付
テノ御話ガアリマシタ、又申告ハ正確ナル
モノデアルト云フ御話、私モサウ信ジタイ
ノデアリマス、尙又一昨年不作デアツテモ、
十六年度產ノ米ハ豫期以上ニ供出ヲシタ、
要スルニ農家ハ保有米ヲ供出シテ其ノ數ニ
ナツタト云フ風ニ聞エル、尙且ツ農家ノ消
費ハソレノ規正シテアルカラ、ソレ以上
食ツテハ居ラスト思フト云フ風ニ伺ツタノ
デゴザイマスガ、先ヅ第一ニ昨年豫期以上
ニ出テ來タト云フコトニ付テ、私ハ昨年モ
申上ゲタ積リデアルガ、實ニ米ノ検査員ガ
戸別ニ廻ツテ、盗人シタモノデモ調ベルカ
ノヤウニ、隨分脅威ヲ感ズル取締ヲシテ、
爲ニ一人ナラズ二人マデ、私ノ方デハ其ノ
強壓ノ爲ニ自殺ヲシテ居ルノデゴザイマス、
斯様ナルコトハ恐ラクハ全國其ノ例少カラ
ズト私共ハ思フ、ナゼソコマデ無理シナ
ケレバナラヌカト言ヒマスレバ、農家ノ規
正セラレタルアノ量目ト云フモノハ、到底
ソシナモノハ晝飯一遍ノ辨當デ食ツテシマ
フヤウナ量デアル、他ニ何物モ食ハヌ所ノ一
汁一菜ト云フヤウナ者ガ、米ノミニ依ツテ
是ガ生キテ行ツテアナン數字デ行ケル筈モ
ナシ、サウシテ芋ハ芋デ供出ガ來ル、ア
レハアレデ來ルト云フコトニナツテ居リマ
スガ、アノ規正ヲ以テ若シ農家ニ臨マレ
ナラバ、私ハ農村ノ米產地ニ大ナル衝動ヲ
起スト思フノデアリマス、私本年米產地ヲ
具サニ視察シテ參リマシタ、見ルトマダ寬
大ナ御取廻シガアルニ依ツテ濟ンデ居ルガ、
若シ夫レ之ヲ今言ツタヤウナ死ヌマデ苛酷
ナ調査ノ結果供出ヲサセマシタナラバ、ア
ル米ハ出セマセウケレドモ、ソレデハ農村
ガ生産ニ協力ヲスルト云フコトニハ反對ノ
結果ヲ來スモノデアアルマイカト思フ、洵
ニ検査員ガ心ヲ鬼ニシテ、政府ノ要請ニ我
レガ役目ヲ持ツテ居ルカラ、戸毎ニ廻ツテ
風潰シニシマシテ出サレタ米ガ、昨年ノ數
字デアルト思フノデゴザイマス、中ニハ狡
イ者ハ餘分ニ持ツタデセウケレドモ、正直
ナ者ハ死ナンナラヌヤウナコトニナツテ居
リマス、デアリマスノデ、此ノコトニ付テ
ハ私ハ別ニ議論ヲスルノデアリマセヌガ、
御參考マデニ御承知ヲ願ヒタイ

ソレカラ私一ツ斯ウ云フ風ニ見ルガ、大
臣ノ所見ヲ伺ヒタイ、此ノ食糧ノ統制ノ狀
態ヲ見マス、消費方面ニ對シマシテハ、
實際是デ政府ノ計畫通り旨ク行ツテ居ルト
思フ、私東京ハ參リマシテ各方面ノ飯屋ヲ
覗イテ見ルト、學生ト雖モ、勞働者ト雖モ、
アノ玄米ニ不足ヲ言ツテ居ル者ハ一人モナ
イ、洵ニ私イデラシク思フ、國家今日ノ場
合已ムヲ得ヌトシテ皆我慢ヲシテ、勝タネ
バイケヌト云フ氣持ト、食糧ガ窮迫シテ居
ル此ノ時デアルカラ、玄米ノ飯デモ、包米
ノ飯デモ實ニ感謝ノ氣持ヲ持ツテ居ル所ニ
配給上ニ於ケル政府ノ計畫ハ私ハ稍、徹底シ
テ居ルモノト思フノデゴザイマス、所ガ生
產方面ニナリマス、寧ろ其ノ反對ナ結果
ヲ來シテ居ルノデアリマス、政府ニ於テハ、
供出米ハ今年ノ結果ヲ御覽ニナツテ分ル筈
ダト思フ、大體統計ハ生産總額ガ減ツテ來
テ居ル、初メヨリ順々ニ減ツテ來テ、今ハ
六十何百万石ト云フヤウナコトヲ言ヒ掛ケ
テ來タ、ソレハドウダト云フト、申告ノ上
ニ非常ニ遲疑逡巡シテ居ル虞ガアル、隣ノ
人ノヤウニ死ンデハ困ル、又後カラ何ヲ言
ハレルカモ分ラヌト云フヤウナ點モアリマ
セウシスルカラ、アノ全國ノ生産總額ト云
フモノガ、最初新聞ニ出タヨリ減リ、又少シ
殖エタト言ヒマスガ、ソシナモノデアナイ、
マダウント獲レテ居ルト私ハ見テ居ルノデ
ゴザイマス、丁度收穫ノ時ニ行キマシタガ、
西日本ノ一部ノ被害位ハ僅カナモノデアツ
テ、全ク米作地ハ近年ニナイ豐作デアル、
是コソ私ハ今年ハ皆ニユツクリ食ベテ貰ヘ
ルト云フコトヲ喜ンダ、所ガ其ノ生産額ハ
順次報告ハ少クナツテ參ツタト云フコトハ、
所謂農家ノ消費米ヲ政府ガ過少ニ見積ツテ
ヤツテアリマス、デアリマスカラ、サウ云
フ結果ニナリマスガ、ソレデ私ハドウ考ヘテ
見テモ、是ハ政府ガ確實ナル管理米ト云フ

モノヲ握ルト云フコトヲ考ヘナケレバイカ
ヌト思フ、ソレニハ生産方面ニ對シマシテ、
是ハ生産團體ニ生産方面ノ責任ヲ負ハシテ、
其ノ方法及ビ一切ノコトハ御任セニナツテ、
サウシテソレニ政府ガ協力スルト云フコト
ニシテ戴キマシタナラバ、私ハ是デ完全ニ
確保ガ出來ルモノダト思フ、現在デハ生産
者ニ協力セヨト云フコトデ、私ハソレハ非
常ナル主客顛倒シテ居リハセヌカト云フコ
トヲ思フノデアリマス、吾々皆國民ハ戰ニ
勝タナケレバイカヌ、各ノ職場ハ知ツテ居
ル、知ツテ居ルケレドモ、現在デ見ルト政
府ガ一カラ十マデ其ノ指揮指導ヲシテ居ル、
ダニ依ツテ生産者ニハ責任ガナイ譯デアリ
マス、政府ノ言ハレマシタヤウニヤリマシ
タト言ヘバソレデ濟ンデシマヒマスガ、之
ヲ生産團體ニ政府ハ命令ヲ御出シニナツテ、
例ヘバ米ガ三千五百万石要ル、麥ガ一千
五百万石要ル、或ハ又芋ガ十億貫ナリ、十五
億貫要ルナラバ要ルト云フ數字ヲ計算シテ、
豚何頭、鶏何羽、兎何頭、之ヲ生産團體ニ
生産方面ノ一切御任セニナツテ初メテ私ハ
責任ヲ負フコトニナルト思フノデアリマス
ガ、現在ノ狀態デハ政府ガ増產計畫ヲナシ、
政府自ラ耕作ヲナシ、政府自ラ飼育ヲスル
ト云フヤウナ責任ヲ負ンデ見エルカラ、是
ハ生産團體ガ責任感ト云フモノガ非常ニ薄
イノデアリマス、現在モウ一ツ考ヘナケレ
バイカヌコトハ、イツモノ時ナラバドレダ
ケ抑ヘテモ農業ト云フモノハヤルモノデア
リマス、所ガ今デハ錢儲ケガ幾ラデモ他ニ
アル、是ハ先ヅボノ方ヘドエライ穴ガ開イ
テ居ル、幾ラコツチノ方デヤツテ居ツテモ、
錢儲ケノ方ヘ逃ゲテ行ツテシマフコトガアル、
是ガ農家ノ經濟力ヲ維持シテ來ル、ソレデ

アリマスカラ、純農村へ錢儲ケガ入レバ入ル程、此ノ純農村ハ著シイ變化ヲ心理上ニ來ス、ダニ依ツテ、現在ノヤウナ狀態デイツモノヤウニ農家ノ狀態ヲ見テ居ルト、農家ハ決シテ政府ノ財政上ノ補給ヲ頼マナイト思フ、大ナル災害デモアリマレバ別デアリマスケレドモ、今茲ニ保險ノ案モ出テ居リマスケレドモ、現在ノ農家ノ經濟狀態ノ、勞賃ヲ入レテ來ル方面、其ノ他ノ方面デハ、コンナ一反デ二十圓ヤ三十圓ノ金ハ、全ク頼リニスルト云フ時期デハナイ、ソレデアルカラ、最モ恐ロシイモノハ、米モ食フ、金ガアルカラ米モ食フ、年貢モ出サズニ、ソレモ金デ納メテ行ツテ自分ガ食フ、斯ウ云フコトニナルト云フ虞ガ十分アル、ソレダニ依ツテ、生産團體ニ之ヲ任サレテ、生産團體ガ今度ハ系統的ニ各團體ニソレノ責任額ヲ割ツテ、サウシテ下個人ニ至ツテノ責任ヲ取ツテ、其ノ責任ヲ果スダケノ金ヲ三億圓直カニ政府ガ出スナラバ、一億圓ナリドレダケヲ責任ヲ果ス所ノ助成ヲシテ協力ヲスル、斯ウ致シマスレバ私ハ必ズヤハ出來ルト思フ、如何程アナタノ方デ言ハレテモ、深刻ナルコト、闇取引ノ多イコト、司法大臣モ此ノ頃御述ベニナツテ居ル、協力會議デモ御述ベニナツテ居リマスルガ、一番殖エタノハ食糧ノ闇取引ダト云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、其ノ通りデゴザイマス、恐ラクハ闇ニアラザルハナイト云フマデ來タト云フコトハ、如何ニ此ノ價格、其ノ他ノ矛盾ガ原因ヲナシテ居ルガ、之ヲ止メントシテ止メルコトハ出來ヌ、之ヲ法律デ取締リ、檢舉シタナラバ目的タル所ノ増産ノ反對ノ結果ヲ

來ス、萎縮セシメル虞ガアルノデ、手加減ヲ以テヤル、取締ラズニ置ケバドウナルカト言ヘバ、是ハ又ドウニモ斯ウニモナラヌヤウニナルト云フコトヲ考ヘマシテモ、我が國ノ農村ノ事柄ヲ法律ヲ以テヤルト云フコトガ、抑、私ハ不當ナリ方ダト思フノデゴザイマス、ソレヨリ責任觀念ヲ持タセテ、自ラ進ンデ増産シ、自ラ進ンデ節米シ、自ラ進ンデ出スト云フ風ニ仕向ケテ行ク政策ガ、今日最モ必要ナルコトダト私ハ思フ、ソレニ付テハソレ等ノ一切ノコトハ實際ニ即スルコトデアリマスルカラ、政府ノ方デオヤリニナラズニ、生産團體ニ委セテ、政府ハ之ヲ命令シ、之ヲ監督シ、協力スル、斯ウシテ進ンデ農業報國ノ實ガ直チニ舉ルヤウニシナケレバナラス、法律ノ爲ニヤツタナント云フヤウナコトデハ、國民性ヲ昂揚セシメル譯ニハ行カヌ、法ヲ設ケレバ設ケル程イカヌコトニナツテ來テシマフト思フ、デアリマスルカラ、其ノ點ガ根本問題ダト思フノデゴザイマス、生産方面ニ對スル政府ノ御勞苦ハ私御察シスルケレドモ、何分ニモ千差萬別、我が國ノ如キ殊ニ長イ國デアリ、細イ國デアル、氣候ト云ヒ、風土ト云ヒ、違フノミナラズ、農業ノ狀態ハ國ニ依ツテ違ヒ、郡ニ依ツテ、村ニ依ツテ違ヒ、個々ノ一軒ノ耕作地ダケデモ違ツテ居ル、斯様ナ實情ニ對シテ政府ガ茲ニ一ツノ方針ヲ以テ命令ヲ出サレルト云フコトニ付テハ作レト云フコトダケハ宜イケレドモ、アアヤレ、斯ウヤレデハ、私ハ御骨折ヲ願ツテ却テ效果ノナイコトデアルト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス

○井野國務大臣 當初樋口君ガ實例トシテ御舉ゲニナリマシタ検査員ガ非常ニ苛酷ノ爲ニ不祥ナコトガアツタト云フコトハ、私初メテ伺ヒマシタ、是非一ツ其ノ實例ヲ、今デナクテモ結構デスガ、御知ラセ願ツテ、サウ云フコトガアツテハ相濟マスコトデスカラ、十分ニ私共トシテハサウ云フコトノヤイヤウニ指導シテ參リタイト思ツテ居リマス、又今生産方面ノ増産ヲ期スル爲ニ、生産者自體ニ責任ヲ持タセルト云フコトガ必要デアル、其ノ意味ニ於テ或ハ從來ノ農會ナリ、其ノ他ノ團體ヲシテ責任團體トラシメルコトガ寧ロ宜イノデヤナイカ、政府自ラガ責任ヲ持ツテヤルコトガ却テ千差萬別ノ生産事情ニソグハナイデハナイカト云フ御意見デアリマス、此ノ點モ吾々トシテハ勿論政府ノ力ダケデ總テノ増産計畫ト云フモノハ出來マセヌノデ、今マデデモ農業關係ノ諸團體ノ協力ヲ得マシテ、サウシテ増産ナリ、供出ニ進ンデ居ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ從來ノ農業團體ガ色々ニ分レテ居リマスルカラ、ソレ等ノ指導ヲシ、又農民自體モ是ガ統制ヲ受ケテ行ク上ニ於テ非常ニ區々ニナツテ居リマスノデ、之ヲ今度ハ農業團體ノ統合ニ依リマシテ新農業團體トシテ生レテ參リマスルト、從來ヨリ一層サウ云フ點ニ付テノ協力態勢ハ整フト思フノデアリマス、隨テ今後政府トシマシテモ、新農業團體ヲ十分ニ活用シマシテ、生産ノ昂揚ニ努メル積リデアリマスルガ、唯之ヲ總テ農業團體ノ責任ニシテシマヘ、サウスル方ガ寧ロ増産ガ出來ル、斯ウ言ハレマスガ、食糧問題ダケハドウシテモヤハリ政府ガ責任ヲ持タナイトイカヌト思フノデアリマス、團體ノ責任ダカラ俺ハ知ラス、自分ハ知ラスト云フヤウナ態勢ヲ執

ツテ參リマシテハ、食糧ノ安定ノ上ニ於テ非常ナ間違ヒガ生ジテ來ルノデアリマシテ、食糧問題ニ關スル限りハ政府自體ガ責任ヲ取りマシテ、サウシテ團體ヲシテ自ラ之ニ協力セシメ、又團體ニモ一部ノ責任ハ勿論割カセマスケレドモ、生産ノ全責任ヲ團體ニ負ハセテ、政府ハ唯ソレヲ監督シテ居ルト云フダケデハ、私ハ相濟マヌト思フノデアリマス、隨テ今後此ノ新農業團體ガ出來テ參リマスレバ、從來ヨリハ樋口君ノ御意見ニ近イ進ミ方ニナツテ參リマスルケレドモ、今申シタ通り全責任ヲソコニ預ケルト云フ譯ニハ參ラナイト思ツテ居リマス

○樋口委員 是ハ此ノ程度ニ止メテ置キマス、更ニ御伺ヒ致シマスガ、統制會社ノ問題デアリマスガ、此ノ統制會社ト云フモノガ非常ニ問題ニナツテ居リマス、之ニ付テハ政府デモ能ク御研究ニナツテ居ルト思ヒマスガ、此ノ頃色々委員會ノ應答ヲ聽キマシテモ、此ノ統制會社ガ出來タガ爲ニ從來ヨリ生産者ノ方ガ利益スルヤウニナツタ、斯ウ云フヤウナコトダ、併シナガラ從來ドレダケ儲ケラレテ居ツタト云フコトガ分ラナイニ依ツテ、今ソレガハツキリシタカラ彼此レ問題ガアルノダト云フヤウナ御意思ノヤウニ伺ハレノデアリマス、所ガ是等ニ付キマシテモ、鬼ニモ角ニモ統制會社ダケ餘計ニナツタト云フコトダケハ事實デゴザイマス、サウスルナラバ問屋ヲ廢メルカ、小賣店ヲ廢メルカ、何處カ少シ省略シテ行ケバ宜イガ、此ノ間モ豫算總會デ聽イテ居リマス、松村サンガ食肉統制ノ例ヲ舉ゲテ非常ナ複雑化ヲ言ツテ居ラレタガ、現ニアナタ今日アンナコトヲセヌデモ——統制ヲシヨウトスレバ、何モ強ヒテ斯様ナコトヲセヌデモヤツテ行

ケル、何處カ廢メレバ宜イ、今日マデ中ニ入ツテ居ラナカッタ帝畜、縣畜、郡畜、斯ウ云フモノニ何ノ關係ガアリマスカ、統制會社自體ト云フモノニ付テハ成程ソレモアリマセウケレドモ、畜産組合ナドガ何ノ爲ニ手數料ヲ取ルコトガアラウカ、ソナモノガ中ニ入ツテ何ヲヤツタカ、唯屠殺場デ書イテ書類ヲ送ルダケデ手數料ヲ取ルカラ、皆ガ利益ガアツテモナクテモ、アンナ旨イコトハナイト云フヤウナコトニナル、木炭ノ如キモ、木材ノ如キモ、或ハ薪木ノ如キモ皆サウデアリマス、今マデ隣リヘ最終價格デ賣ツテ居ツタモノヲ、統制デナケレバ賣レナイト云フコトニナツタモノダカラ、隣リヘ薪木ヲ一束賣ルノニモ十錢ノ利益ヲ商人ナリ、其ノ統制階級ニ取ラレナケレバナラス、藥工品ノ如キデモ其ノ通りデアリマス、最終價格デ賣ツテ居ツタモノガ、現地貨車乘價格ト云フコトニナリマスルト、三錢ノ値上ヲシタモノハ藥工品會社ノ利得トナリ、生産者ノ利得ニハ何モナラナイノデアリマス、ダカラ私共ハ稗筵デモ六百萬枚織ラシテ居ルノデアリマスガ、統制會社ガ斯ウ云フコトヲシテ値ヲ下ゲタ、ダガ獎勵前ニハドレダケ値上ヲシテ居ルカ分ラヌ、政府ハ値ヲ御上ゲニナツタ積リデアル、實際ハ現地貨車乘價格ト云フモノヨリ取ラナイ、吾々デ言ヘバ大阪デモ名古屋邊リデモ、今日織ツタモノハ直チニ使用者ノ方面ニ向ケテ居ツタノデアリマスガ、ソレヲ今日ハ藥工品會社ガ出來、統制セラレテ、皆東京ニ一遍指ツテ來テ、ソコデ整理シタ上デナケレバイカヌト云フコトデ、使用者ノ方デモ困ツテ居ラレガ、生産者モ非常ニ是デ利益ヲ落シテシマツテ、現在ニ於テハ

恐ラク二百萬枚モ出來ナイと言ツテ居ル、是等ノ如キモ餘程注意シナイト、農繁期ニナレバ絕對ニ出來マセヌ、此ノ二、三、四年ノ内ニヤラセレバ宜イガ、コンナ狀態デハ何處マデモ力癩ヲ入レテヤラウト云フ人ハ誰モ居マセヌ、漸クニシテ慌テテ獎勵金ヲ出ストカ、何トカ言ヒマスルケレドモ、何モソソナコトヲセヌデモ、幾ラデモ間ニ合ツテ居ツタコトハ、軍隊方面ノ、私ノ方ニ實情ヲ御尋ネニナツテモ分ル、何處カラモ手ヲ付ケサセヌヤウニ組合ノ方デヤツテ居ツタ、之ヲ日藥ガ統制スルト言ヒマシタ爲ニ扱ツテ居ラス、縣販購聯ナドガソレヲ扱ツテ、生産ハ生産團體ガヤツテ居ツタ、生産團體ヲソツチ除ケニシテ、扱フ方ノコトダケ統制ガ確立シテ、其ノ結果ガ生産不足ニナツタコトハ恐ラクハ私ハ全國皆サウデアラウト思フ、ソレハ現在ニ於テ繩ヲ一束買ハウトシテモ買ヘマセヌ、生産ヲセヌモノハドウスルコトモ出來ナイ、私ノ方デモ此ノ頃ハ總會ヲヤツテ何ト勵マシテモ、藥工品會社ニ儲ケラレルト云フヤウナ氣持ガ頭ニアル、統制セラレタラ値ガ上ツテ行ケバ宜イガ、値ガ下ツテ、消費ノ方ハ同ジ價格デ行ツタトシテ見レバ、是ハ誰ノ利得カト言ヘバ統制會社ノ利得デアル、大臣ハ統制會社ガ出來タニ付テ從來農家ガ商人ニ暴利ヲ取ラレテ居ツタモノガ、正シイ計算表ガ分ルカラ、ソレデヤカマシイノダト言ハレルガ、サウ云フ者モアツタカモ知レヌケレドモ私共ノ直接扱ツテ居ル範圍デ見ルト、統制會社ガ出來テ不利不便トナリ、何等利益ヲ得テ居ラヌコトハ確カデゴザイマス、食肉ト云ヒ、薪炭ト云ヒ、木材ト云ヒ、板一枚モ今買ヘマセヌ、恐ラクハ重要ナル

方面スラモ不自由デアリハセヌカ、ダカラ私ハ統制會社ト云フモノハ根本的ニ改正ヲシテ貰ハヌト――問屋、小賣商組合、小賣人、消費者コンナ段階ヲ設ケテ行カヌデモ、時局下或ル程度マデ國家目的ニ副ハセルコトハ出來ルト思フノデアリマス
尙又之ニ付テモウツ聞キタイコトハ、ナゼ統制會社ノ役員ト云フモノニアア云フ大枚ノ俸給ヲ拂ハナケレバナラスカ、是ガ最モ疑惑ヲ持ツ第一ダラウト思フノデアリマス、統制ト云フコトハ國家ノ要請スル目的デアリ、此ノ目的ニ從事スル者ハ、戰地ニ動員セラレタモ同様デアルト考ヘナケレバナラス、隨テサウ云フ心掛ケデナケレバナラス、前ニ自分ガ俸給ヲ取ツテ居ツタトスルナラバ、ソレヨリ少ク行クト云フコトガ當然デアルト思フ、凡ソ人ヲ使フ者ハ自ラ給料ヲ下ゲテ行クト云フコトガ道デアリ、徳川時代カラ皆サウデアアル、徳川モ澤山收入ノアル大名ハ何等重要ナ位置ニハ使ツテ居リマセヌ、指導、指揮スル所ノ者ハ必ズ碌ガ少クシテアル、ソコニツノ權威ガアルノデアリマス、然ルニ現在ノヤウニナゼアンナニ高イ俸給ヲ拂ハナケレバナラスカ、國家今日ノ場合、一家ヲ顧ミズ、血ト肉トヲ捧ゲテ第一線ニ立ツテ居ル將兵モ、國家目的ニ對シテ統制モ同ジク重要事トスル重要事デアアル、之ニ從事スル人ガナゼ斯ウ云フ莫大ナル給料ヲ取ツテ、又政府之ヲ認メナケレバナラスカ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

メテハ參ツテ來テ居リマス、併シ今日統制會社或ハ統制機關ト云フモノハ作ラナイデ済ムナラ本當ハ私モ作リタクナイノデアリマス、唯物ガ足りナクナツテ來テ、而モ需要ガウント殖エテ來タ、サウスルト今マデノヤウニ自由經濟時代ノ儘ニ放ツテ置キマスト、大事ナ所ニ大事ナ物ガ行カナイ、結局大事デナイ所ニ闇相場、或ハ其ノ他ノ緣故關係デドウシテモ流レテ行ク、コソデ統制ト云フコトガ必要ダト云フコトヲ各方面カラ要請セラレテ、政府トシテモ茲ニ或ル意味ニ於テ已ムヲ得ズ統制機關ヲ作ツテ行ク譯デアリマス、デアリマスカラ、其ノ統制機關ガ出來マシタ結果、生産者カラ見マスト云フト、自由經濟時代ニ、自分ノ思フ所ニ賣ツテ、而モ金モ早く入ルシ、色々物ガ少クナツテ來テ需要ガ多クナツテ來レバ、買フ方ガドウシテモ苦心シマスカラ、賣ル方ハ非常ニ有利ダ、是ハ放ツテ置ケバ必ズサウデアリマス、併シサウ行カナイ事情ガアル、ト云フノハ、今申シタ通り、重點的ナ配給ガ出來マセヌカラ、已ムヲ得ズ茲ニツノ統制機關ヲ作ツテ來タノデアリマスカラ、作ル方カラ見ルト、固ヨリ自由經濟時代ヨリ窮屈デアアルコトハ當然デアリマス、唯此ノ間豫算總會デ手數料ノ點ニ付テ申上ゲタノハ、例ヘバ畜産ノ例ヲ御舉ゲニナリマシタカラソレヲ申上ゲタノデス、從來ノヤウニ家畜商ニ或ル意味ニ於テ叩カレテ買ハレテ居ツタ農民カラ見レバ、ビツチリシ手數料ヲ拂フコトニ依ツテ寧ロ公正ナル取引ニナツタ方ガ、其ノ點ハ得ナ點モアルト云フコトヲ申上ゲタ、ソレハ全部ノ國策會社ガ從來ヨリ生産者ニ取ツテ有利ダト云フコトヲ申上ゲタ譯デハナイノデアリマス、

隨テ今申上ダタ通り、生産者カラ見レバ自由經濟時代ヨリ今日ハ窮屈デアル、又得デナイ所モアルト云フコトハ爭ハレナイ事實ダラウト思ヒマス、然ラバ生産者ノ爲ニ之ヲ止メタラドウカト云フト、ソレハ今申シタ通りノ事情デ止メラレトナイト云フ所カラ、已ムヲ得ズ斯ウ云ツタ行キ方ヲ執ツテ居ルノデアリマス、隨テ國策會社ナリ、統制機關ノ運用ニ付キマシテハ、國モ出來ルダケ監督シテ、嚴正ナル行キ方ヲシナケレバ、カス、手數料ガ多イ爲ニ農民ニ生産ノ氣魄ヲ衰ヘサセルト云フヤウナコトガアツテハナラヌト云フコトデ、手數料ノ問題ニシロ、又經營ノ問題ニシロ、國ハ色々苦勞ヲシテ居ルノデアリマス、ケレドモ、何分ニモマダ各機關共ニ生レ出タバカリデアリマスカラ、中々吾々ノ思フヤウニ行カナイ點モアルノデアリマス、併シ漸次改善ニ努力ハ致シテ來テ居リマス、又重役等ノ報酬ニ付キマシテモ、民間ノ人ヲ成ベクニ充テタイト云フ方針デ吾々ハ進ンデ來テ居リマスガ、現在民間ノ會社ニ居ツタ人ガサウ云フ統制會社ニ來マスト云フト、却テ報酬ハ下ツテ居リマス、決シテ上ツテ居リマセス、唯役人ガ其處ニ行ツタ時ニ從來ノ報酬ヨリ多クナツテ居ル事例ガ多イノデアリマスガ、是ハ私共モ極力サウナリナイヤウニ抑ヘテ行カケレバナラス、唯民間ノ人ト役人トガ同ジ會社ニ居テ、非常ニソコニ又收入ノ差ガ多イト云フコトモ仕事ノ上ニ於テ差障リガアルモノデアリマスカラ、ソコニ或ル程度ノ均衡ヲ保ツテ行クト云フコトニナリマスカラ、役人ノ方ガ兎角多少高イ報酬ヲ取ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併シ是ハ役人ヲ無理ニ其處ニ押込ムト云フ

コトニ於テ大キナ弊害ガアルノデ、役人デモ有能ナ者デ、會社自體ガ欲スル者デアリマスレバ、多少高イ報酬ヲ出シテモ良イ人ヲヤツタ方ガ宜イノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ今ノ制度決シテ惡クナイノデアリマスガ、唯役人ノ古手ヲ無理ニソコニ押込ム、サウシテ高給ヲ其ノ統制會社デ食マセルト云フコトハ、是ハ極力抑ヘテ行カケレバナラスト思ヒマス、隨テ最近ニ於キマシテ私ハ色々ノ統制會社ガ出來テ參リマスケレドモ、役人ノ所謂古手ヲ入レルト云フコトハ、絕對ニ避ケサセテ來テ居リマス、サウ云ツタヤウナ行キ方デ段々改善シテ行クヨリ此ノ問題ハ致シ方ガナイト考ヘテ居リマス

○樋口委員 最モ大切ナコトハ、統制ヲシ

ナケレバナラスダケニ私ハ此ノ統制ト云フコトニ付テハ餘程政府ハ適切ナル御考究ヲナサイマセヌト、漸次改善スルト言ツテ居ラレルヤウナ現在ノ國情デハナイト思フ、私ハ色々民間カラノ注意モアルト思フガ、政府ハソレヲ實行スル上ニ於テ非常ニ遲疑逡巡スル嫌ヒヲ見ルノデゴザイマス、是ハ色々責任ノ上デサモアルベキコトダトハ思ヒマスケレドモ、凡ソ統制ナドト云フ國策ニ從事スル者ハ、他ノ會社ニ於テ或ハ民間デ多大ナル報酬ヲ取ツテ居タ人デモ、私ハ其ノ人ノ人材ヨリモ精神ト云フモノヲ國民ニ示サナケレバイカヌト思フ、統制ニ服從セシメルニハ範ヲ示ス、ソレニハ是マデハ十萬、百萬取ツテ居ツタガ、俺ハ無給デ一ツヤルゾト云フ人コソ私ハ統制ニ適當スル人物デナイカト思フノデアリマス、假令政府ガサウ云フ心配ヲセラレテモ、ソレハ御無用デアル、無用デアルノミナラズ、ソレ

ハ自分ガ統制ノ重任ヲ果ス上ニ非常ナ支障ニナルト言ツテ之ヲ斷ハルノガ、私ハ統制ヲ強化シ、人ヲ指導スル所以ダト思フノデゴザイマス、上ノ人ガ何萬圓取ツテ居ルト云フヤウナコトヲ七五三ト言ツテ新聞ニモ書イテ居ル、ソナコトデハ下ノ國民ハ政府ニ統制ト云フコトニ付テ果シテ此ノ實ヲ舉ゲウツト云フ本當ノ誠意ガアルカドウカ疑ヒ、皆統制會社ト政府ト混同シナケレバナラスト云フ風ニマデ見エル、又昨日マデ知事ヲシテ居ツテ、減私奉公ヲ說イテ居ツタ人ガ、今度統制會社ヘ入ツタガ爲ニ、何萬圓ト云フ俸給ニ自分ガ甘シズルト云フヤウナコトニ付テモ、ソレハ適當ナ器デナイト人ガ思ヒハセヌカト思フノデアリマス、凡ソ國家ノ統制指導ノ大幹部、此ノ人コソ其ノ統制ノ精神ヲ吞込シ、其ノ統制會社ト一ツニナツテ、統制國策ノ實行ノ爲ニ國民ヲ納得セシメルヤウナ人デナケレバナラス、サウ云フ人ヲ選ブコトガ主ナル點デナケレバナラスト思フノデゴザイマス、現在デ見マスト、世間ハドウダト云フト、事變ガ始マツタ當時商工省ニ參リ、又農林省ニ參リマシテ、卓ヲ叩イテ當業者ハ我等ノ死活問題ダト云フコトヲ喧シク言ツタ、近頃ハ商工省ヘ參リマシテモ、農林省ヘ參ツテモ、此ノ統制會社ノ人達、又其ノ業ニ携ハル有力ナル人達ハ、晩ハ料亭デ飯ヲ食ハレル、斯ウ云フヤウナコトデ話ガ圓滿ニ行ツテ、事ガナクナツタコトハ結構デアリマスガ、私共之ヲ見ルト、彼等專業ナル人ノ知識ト云フモノハ、此ノ方面ニ掛ケタラ政府ノ一般行政ニ携ハル者ノ知識ト別箇ノ問題デアツテ、直グニ政府ノ意向ヲ見テ取ツテ、宜シイ、政府ハ事實ニ暗イ、斯ウ持ツテ行ケ

バ政府モ跟イテ來ルト云フノデ、今日役人ト爭ツテ居ルヨリハソレガ宜シイコトデアル、サウヤリナサイト言ツテ、寧ロ役人ノ言フガ儘ニ之ヲ取扱ツテ行ケバ宜イト云フ風ニ出テ、結局政府ノ馬ニ乗ツテ舵ヲ取ツテ、今日斯ウナツタノハ政府ガヤツタンダ、斯ウ云フヤウナ狀態ニ立至ツテ居ルト見ルノデゴザイマス、今日ヤラレルコトハ、此ノ頃ノ種苗統制ノコトニ付テモ私ハサウ思ツテ居ル、アンナ一粒萬倍ノ容易ナラヌモノヲ、統制シテ全國ヲ七ツノ商人ニ渡スナドト云フコトハ、無定見ト言フカ、冒險ト言フカ、是レ位危ナイ藝當ハナイト思ヒマス、農業ニ關聯スル統制ト云フコトハ商賣ノ統制ヨリモモツト注意ヲ拂ハナケレバナラス、ナゼイカヌカト云フト、農業ハ本當ニ農業ニ從事シテ居ル人間ニ俟タナケレバナラス、之ヲ納得セシメネバイカヌモノデアラ、今マデ縣廳マデモ行ツタコトハナイ、況ヤ本省近所ニ來タコトハ勿論ナイ、講演ナドヲ承ハル位ノコトデアル、此ノ主ダツタ人ガ本省デアラウガ、何處デアラウガ、何處ヘデモ行ツテ自分ノ意見ハ何處マデモ徹底的ニ之ヲ主張スル、デアリマスカラ、動モスルト誤ラレル虞ガ彼等ノ口ヲ聽イテヤルトアルノデゴザイマス、農村ヲ御廻リニナツタ時ニハ、成程默々トシテ涙グマシク協力的ニ見エルデセウガ、實際ノコトハ彼等ノ家庭ヘ入ツテ初メテ分ルコトデアリマス、此ノ言ハザル所ノ農、音ノセザル聲ヲ聽ク所ニ政治ノ最モ大切味ガアル、殊ニ農村ノコトニ對シテハ一層是等ニ注意ヲシテ戴カナケレバナラス、ソレニ付キマシテ統制以前ニ於テ利益ヲ商人ガ壟斷シテ居ツタ此ノ一面ダケヲ見レバ、

成程商人ガ惡イノデアルケレドモ、生産ト消費トノ間ニ介在シテ來タ商人、是ノ活動ニ依ツテ今日ノ産業ハ私ハ發達シテ來タノダト思フ、此ノ一點デ見マス、唯利益ヲ壟斷シテ居ツタコトダケヲ見テ、商人ヲ何處マデモ排撃スルト云フコトハ、牛ノ角ヲ恐レテ之ヲ斬ツテ殺スト同ジヤウナモノデヤナイカ、商人ニハ商人ノ特長ガアリマス、之ヲ活カシテ行クト云フ所ニ於テソコデ初メテ物ノ運用ガ付イテ行ク、ソレヲソツチ除ケニシテ、素人バカリヲ集メテ、ヤレ統制トカ何トカ言ハレルカラ、實地ニ即セザルコトガ多々益、起ツテ來テ、今日モ命令、明日モ通牒、明後日モ協議會、講演トヤラレルカラ、何モヤルコトガ出來ズシテ、幹部ハソレニ忙殺セラレテ指導、指示ヲスルト云フ暇ガナイ、又假ニ技術的ノ指示ヲナサツタトテ、農民ニ十分協力スルト云フ心構ヘガナカツタラバ、向フヲ向イテ居ル奴ニドレダケ技術的ノ指導ヲシタ所デハ、ハタキ目ガナイ、ニ依ツテ私ハ統制ニ付テハ今少シ——大臣ノ御説ハ尤モト聽キマス、アナタノ方カラ見レバ、御尤モデアリマスガ、私ノ方カラ見ルト洵ニ危檢至極ニ感ズルノデアリマス、ドウゾ此ノ點ハ更ニ御檢討ヲ願ヒタイ

モウ一ツ肥料ノコトニ付テ伺ヒマス、肥料ガ足ラヌコトモ生産ノ上ニ影響スルノデアリマスガ、先ツ堆肥ヲ以テ主ナルモノトシナケレバナラス、堆肥増産ト云フコトニ付テ今少シ政府ガ本腰ヲ入レテヤツテ戴キマスナラバ、我が國ハ僅カ一割八分カソコラノ耕地デ、八割以上ノ所ハ山林原野デアアル此ノ山林原野ヲ利用シテ堆肥生産ニモウ少シ力ヲ入レテ戴キマスナラバ大變宜イト

思ヒマス、私ガ汽車ニ乗ツテアノ山野ヲ眺メル時ニ此ノ隣酸加里ノ足ラヌ時ニアノ雜草ガ刈ラズニ捨テテアルト云フコトハ、色事情ハアリマセウ、之ニハ必ズ經濟問題ガ携ハツテ居ルモノト思フガ、尙又精神的ニモ一ツ進メテ戴カナケレバナラス、之ニ付キマシテ一番問題ハ、草ヲ先ヅウント刈ラセルコトデ、草デモ何デモ、百草千柴肥料ナラザルハナシト云ツテ、何デモ肥料ニナルノデアアル、サウシテ今其ノ肥料ニ缺乏シテ來テ居ルノデアリマス、先程モ御話ガアリ、又貴族院ノ方デ御述ベニナツタ所ヲ讀ンデ見テモ、今年ハ昨年ノ豐作ノ後、地方ガ減退シテ居リハシナイカト云フコトハ、其ノ通りデアリマス、併シナガラ之ヲ補給スル途ハ幾ラデモアル、尙ホ又茲ニ近頃玄米食ガ喧シク言ハレマスガ、是モ極メテ結構デアリマス、ケレドモ有畜者トカ、都會ノ人ハ非常ニ困リハセヌカ、是等ニ對スル何カ對策モアルデアラウト思ヒマスルガ、モウ少シク堆肥増産ニ力ヲ致シ、畜類及ビ山野ノ十分ニ當メ盡スト云フコトニ付テノ何等カノ方策ハナイモノデアリマセウカ、之ヲ最後トシテ私ノ質問ヲ終リマス

○井野國務大臣 只今樋口君ノ御述ベニナリマシタ肥料對策、是ハ私全ク同感デアリマス、今日販賣肥料ノ足りナイ場合ニ於キマシテ、自給肥料ヲ出來ルダケ増産シテ、之ヲ補ツテ參ルト云フコトニ付キマシテ、極力政府トシテモ是ガ指導督勵ニ當ツテ居ルノデアリマス、隨テ山野ノ草ノ刈入レ、之ニ付キマシテハ極力獎勵モ致シテ居リマスガ、何分ニモ努力ガ非常ニ不足シテ居ル今日デアリマスカラ、思フヤウナ増産ハ出來ナイノデアリマス、併シ昨年デモ自給肥料

デ十億萬貫ノ増産ガ出來テ居リマス、是等ハ今樋口君ノ御述ベニナリマシタ方向ニ向ツテ政府トシテモ極力努力致シタ結果デアアルノデアリマシテ、今後益々サウ云ツタ山野ノ草木ノ自給肥料化ト云フ問題ニ付テハ努力致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○樋口委員 色々長々シイ質問ヲシテ恐縮デアリマシタガ、私ノ質問ハ御尋ネセントデ御尋ネヲ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、一番重大ナルコトハ實情ニ即スルト云フコトガ一番重大ナルコトデアリ、生産者ノ心理上デヤウウ洵ニ能ク協力ガ出來テ居ル、ドウモ生産ノ方面ノミガ旨ク行カヌト云フノハ、ソコニ實情ニ即セザルモノガアルト云フコトヲ、十分認識ヲ願ハヌト、農村ガ時局ニ對シテ非認識ダト云フ罪ヲ被セラレルト、是ハ結果ニ於テ一層惡クナツテ來ル虞ガアルノデアリマス、先程モ申シマシタガ、私ハ本年穗ノ出タ時ニ米產地ヲ悉ク廻ハツテ參リマシタガ、其ノ當時各地ノ狀況ヲ聽キマシテモ皆同ジデアリマス、政府カラ來タトカ何トカ言ヘバ實情ハ言ヒマセヌ、産業團體ガ統合セラレテ來マスガ、是モ只今ドウアデヴトモ私ハ贊成スル者デアリマス、一歩現狀ヲ打破スルト云フコトニ付テ私ハ贊成ヲ致シマスルガ、生産方面ニ政府ガ餘リ十分研究シテ戴キタイト思フノデアリマス、私ハ農會長ト致シマシテ喧シク言ツテ居ルガ、私ガ言ツタノデハ却テヤリマセヌ、彼等ノ責任ニナルトヤルノデアリマス、アヤレ、斯ウヤレト云フノデハナク、是ダケノモノヲ獲ラナケレバナラスゾト言ヘバ、

太郎兵衛ハ太郎兵衛、權助ハ權助デ考ヘルノデゴザイマスガ、斯ウヤレ、アヤレト云フ式ダト、其ノ命令ニ從ツタト云フダケデ、生産ノ責任ハ負ハヌノデアリマス、デアリマスカラ、從來ノ方針モ宜イガ、今日ノ場合ハ萬民悉ク責任ヲ負ハネバナラス時デアリマスカラ、ドウゾ一ツ淳朴ナル農村ニ國家ノ重要ナル食糧確保ノ使命ヲ負ハシテ戴キタイ、ソコデ初メテ農民ハ自ラ増産シ、自ラ節米ヲシ、自ラ都市ヘ出シテ、初メテ元ノ位置ニ復シテ見テ、田舎デ副食物ヲ食ベ、サウシテ都會ニハ腐敗セザル物、運送ニ便利ナ物、米麥等ヲ出ス、今ハ全ク主客顛倒シテ、指導モ政府デヤルト云フ、ソレカラ出スベキ物ハ食ツテシマフ、出セヌヤウナ芋ヤンカラ持ツテ來ル、ソレガ何處ニ一般的ノ間違ヒガアルカ知ラヌガ、兎ニ角間違ツテ居ル、ソレダカラ之ヲ生産團體ニ御任セラ願ヘレバ、甘藷ナラバ九州ノ者ニ食ハセルトカ、馬鈴薯ナラバ關東地方ノ者ニ食ハセルトカ、或ハ混合食トシテヤラセルトカ、節米ヲヤラセルトカ、強イテ都會ニ持ツテ來ナクデモヤレル、現在野菜ガナイト云フコトモ、都會デ野菜ヲ米ノ代リニ食ツテシマフ、ダカラ野菜ハ一汁一菜デハナイ、今ハ主食糧ノ補給ニシテシマツテ居ル、大根、蕪、葱、何モアリマセヌ、片ツ端カラ食ツテシマフ、斯ウ云フヤウニ都市ノ人ガ、米ガ足ラヌ、麥ガナイ、芋ガナイカラト云ツテ野菜マデ食ツテシマフト云フヤウナ譯デ、是デハ私ハ食糧事情ハ解決シナイト思フ、ドウゾ此ノ點ニ付テ更ニ御檢討ヲ願ヒマス、尙ホ又詳細ノコトハ愚案モアリマスガ、ソレハ又何レ申上ゲルコトニシタイト思ヒマスガ、ドウゾ統制會社デモ

全力ヲ擧ゲテ、先ヅソレヲ検討シテ戴クコトガ私ハ根本問題ダト思フノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ何卒一段ノ御考究ヲ御願ヒ致シタイト存ズルノデゴザイマス

○矢部委員 只今ノ樋口サンノ問題ニ關聯シタ問題デ極ク簡單ニ……

○泉委員 實ハ理事ノ申合せミタイナコトデ、成テ關聯質問ナシニ順次ヤラシテ行カウト云フコトデ話合ヒヲシタ譯デゴザイマスカラ、關聯質問デシタラ本當ニ關聯シタコトダケニシテ……

○池田委員長 只今御聽キノ通り、理事諸君ノ御打合せハ成ベク關聯質問ハ御遠慮願ヒタイト云フコトデスガ、極メテ簡單デスカ、サウシテ直接關係ガアリマスカ

○矢部委員 極ク簡單デス——實ハ先程樋口サンカラ色々述べラレタ米價ノ問題デアリマス、是ハ農業保險法ニ直接ノ關聯ハアリマセヌガ、間接ニ關聯ガアリマスカラ御伺ヒシタイト思ヒマス、只今御質問ガアリ、御答辯ガアツタノデ、大體大臣ノ御考ヘモ分ツタノデゴザイマスガ、唯私ハ此ノ際現在ノ米價ヲ決メタ基準ヲ變更スル必要ニ迫ラレテ居ルノデハナイカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ實ハ私ノ縣ニ於キマシテ米價ヲ決メマス基準ノ最モ重要ナル基礎トナル生産費ヲ調査シテ參リマシテ——

是ハ自作、小作、自小作ト三段階ニ分ケテ調査シマシタガ、大體ニ於テ現在ノ公定價格ノ上ニ於テ計算シマシテモ生産費ヲ割ル、或ハ極ク好ク行ツタモノデモ生産費カスノ状態ニナツテ居ル、是デ以テ今日ノ米價ヲ此ノ儘ニシテ置クト云フコトハ、物價ヲ決メマス上カラ妥當デアラカドウカ、之ニ付テ一ツ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、尙

ホ一ツ簡單ニ御參考マデニ申上ゲマスガ、今日米價ノ問題ガ相當農村ニモ言ハレテ居リマス、又同僚議員ノ間ニモ色々米價ノ問題ニ付テハ御議論ガアリマス、ソレデ實際ニ於テ今日ノ農家ガドウ云フ經濟狀態ニアル烟作地帯ノ農家ガドウ云フ經濟狀態ニアルカト云フコトヲ調べテ見マシタラ、私ノ縣ニ關スル限りニ於テハ、米作農家ハ自作農、小作農、自小作農、凡ユル段階ヲ通ジマシテ何レモ赤字デアル、一年ノ經濟狀態ハ收入支出ヲ計算シマスト赤字デアル、或ハ赤字デナイトシテモ、極ク僅カノ收益デアル、本當ニ働ク農業者一人ニ付テ百圓位ノ收益シカ上ツテ居ナイ、是ハ極ク成績ノ好イ者ガサウデアリマス、然ルニ烟作地帯ニ於キマシテハソレト大イニ趣キヲ異ニシマシテ、三倍位ノ收益ガ上ツテ居ル、斯ウ云フ實際ノ狀態ガ現ハレテ居ルノデアリマス、

農林省ニ於テモ既ニ統計上ノコトハ實際御分リノコトト思ヒマスルガ、斯ウ云フ觀點カラ見マシテ、ドウシテモ今日ノ米價ヲ變更スルト云フコトハ出來ナイモノデアアルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 米ノ價格ノ問題ハ度々申上ゲテ居リマスルカラ、私ノ氣持ハ能ク御分リ願ヘルト思フノデアリマス、唯是ガ生産費ノ計算ノ基礎ヲドウ考ヘルカ、例ヘバ今日ノ米ノ生産費ハ中庸生産費デ出來テ居リマスガ、是ガ所ニ依ツテハ中庸生産費デ賄ヘナイ米作地モアルノデアリマス、サウ云フ所デハ今日ノ生産費ヲ價ハウトシテモ結局價ヘナイト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ基準ヲドウスルカト云フコトニ付テハ、政府デモ色々研究シテ居リマ

ス、此ノ生産費ノ基礎ヲ何處ニ持ツテ行クカト云フコトニ付テハ研究シテ居リマスガ、然ラバ中庸生産費ヲドウ變ヘテ行クカト云フコトニ付テハマダ結論ヲ得テ居リマセヌ、隨デ是カラモ研究ハシテ行カナケレバナラスト思ツテ居リマス

○矢部委員 宜シウゴザイマス

○池田委員長 ソレデハ通告ニ依リマシテ今度ハ滿井君ニ御願ヒ致シマス

○滿井委員 大臣ハ午後出ラレナイサウデアリマスカラ、私數項目アリマスノデ、一項毎ニ御尋ネラシ御答ヘヲ得タイト思ヒマシタガ、先ニ總括的ニ大臣ニ御尋ネサシテ戴キタイト思ヒマス、サウシテ残りマシタ分ハ項目毎ニ午後當局ノ御方ニ御尋ネサシテ戴クコトニ御願ヒ致シマス

先ヅ第一ニ農林大臣ニ現在ノ農林行政ノ輔弼ハ是デ宜イト御考ヘニナツテ居ラレルカドウカト云フコトヲ御尋ネ致シマス、其ノ御答ヘヲ待チマシテカラ……

○井野國務大臣 私モ大命ヲ拜シマシテカラ一年有餘ニナルノデアリマスガ、極力農林行政ノ爲ニハ盡シテ居ル積リデアリマス、隨テ是デ宜イカドウカト云フ御尋ネデ、自分デ完全ニヤツテ居ルトハ無論申シマセヌガ、出來ルダケノ「ベスト」ヲ盡シテ居ルト云フ信念ハ持ツテ居リマス

○滿井委員 憲法政治ノ立場上議會ガ積極爲有ニ其ノ機能ヲ發動シナケレバ、眞ノ農林行政ノ實行ト云フモノハ完璧ヲ期シ難イト思ヒマスガ、大臣ノ今ノ御心構ヘデハ、大體ニ於テ非常ニ能クヤラレテ居ルヤウナ御自信ノヤウデゴザイマスガ、以下質問等ヲ通ジテ一般國民ノ實情ナリ、吾々ノ考ヘナリニ對シテ本當ニ誠意ヲ以テ耳ヲ傾ケテ之

ヲ採リ入レラレル雅量ト御心構ヘガオアリデゴザイマセウカ

○井野國務大臣 私ハ自分ノ職責ヲ全ウシマス上ニ於キマシテ、極力皆サンノ御意見ハ採リ入レル決心ヲ持ツテ居リマス、隨テ議會ヲ通ジマシテハ勿論デアリマスルシ、議會ヲ通ジマセヌデモ、個人々々ニ私ノ所ニオイデ戴キマシテ、色々御意見ヲ戴ケレバ、出來ルダケ其ノ御意見見副フヤウニシテ居リマス、併シ出來ナイ事情モ色々ゴザイマスカラ、總テガ出來ナイカラ、ソレデハ意見ヲ受入レヌト云フヤウナコトヲ御考ヘ願ツテハ困リマスケレドモ、誠意ヲ以テ御意見ヲ受入レルニ各カデナイコトハ申上ゲテ置キマス

○滿井委員 實ハ私共ハ議會外ハ固ヨリノコト、議會ニ於キマシテモ申上ゲルコトスラ無駄デハナイカト思ツテ居ツタノデアリマス、ソコデ現在ノ行政輔弼ノ狀態デ、是デ耳ヲ傾ケル餘地ガ全クナイト云フ御心持デアラナラバ、ソレデハ御辭メニナツテハ如何デアリマスカト云フコトヲ一言申上ゲタイト思ヒマスガ、全クサウデハナイ、多餘地ガアルト云フヤウナ御答ヘデゴザイマスカラ、ソコデ御辭メニナツテハト云フ氣持ハアリマシテモ、ソレヲ強ヒテ申上ゲル所マデハマダ行ツテナイヤウニ思ヒマス、ソコデ今カラ私ガ申上ゲル質問ヲ通ジテ國民ノ實情ヤ、一般國民ノ考ヘ等ヲ御酌ミ取リ下サイマシテ、斯ウモシタラ本當ニ一億一體デ戰力増強ガ出來ハセヌカト云フ、本當ニ國家ヲ救フ中心問題ニ觸レマシテ、大臣ハ時間ガオアリデゴザイマセヌカラ、局長以下ノ方々デシツカリト誠意誠心御聽キ下サルヤウニ、午後ノ質問ニ耳ヲ御傾ケ下

サルコトヲ御希望致シマシテ、午前ノ質問ハ是デ打切ラシテ戴キマス

○井野國務大臣 満井君ノ極メテ御親切ナル御忠告ニ對シマシテハ私モ能ク伺ツテ居リマス、場合ニ依ツタラ辭職シタラ宜イデヤナイカト云フ御氣持モ私ハ伺ツテ居リマス、併シ今ノ時代ハドウモ自分分ダケ勝手ニ辭メラレナイ時代デアリマスルシ、斯ウ云フ時代ニハ自分トシテモ一身ヲ賭シテモ色々仕事ヲシナケレバナラヌ時代デアリマスカラ、何處ガハツキリ惡イカト云フコトガ分レバ私モ色々責任ヲ持タナケレバナリマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ意味デ實ハ自分ノ職責ニ盡シテ居ルノデアリマス、満井君ニハ日外木材問題ニ付キマシテオイデラ願ツテ、吾々ノ惡イ所ガアレバ直スト云フコトヲ申上ゲテ御懇談申上ゲタノデアリマス、ソレデ私ガ色々其ノ時ニ斯ウ云ツタ事情デアアル、アア云ツタ事情デアルト云フコトヲ申上ゲタラ、ソレデ御分リデアツタト實ハ私ハ思ツテ居ツタノデアリマス、其ノ後オイデニナリマセヌカラ、ソレデ實ハ満井君ハ私ノ言フコトヲ能ク聽イテ下サツタモノ、斯ウ思ツテ居リマシタカラ、實ハ今マデ辭職勸告ヲ受ケルコトモナイト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、尙ホ午後能ク御議論ヲ伺ヒマシテ、自分トシテノ考ヘモ述ベタイト思ヒマス

○満井委員 今大臣カラ、私ガ大臣ヲ訪ネシマシタ時ノコトガ出マシタカラ申上ゲマスガ、實情ト、書類ノ調査ノ上ニ出マシタ統計トノ見解ノ相違デアルコトヲ一應其ノ時申上ゲテ、大臣ハ机上ノ報告ニ信頼ヲ置カレテ居ルガ、政治ハ現場デアルベキモノデアツテ、吾々ガ實情ヲ見ルト、今ヤ國家經濟

ハ崩壊シツツアルト云フコトヲダメヲ押シテ申上ゲテ歸ツタ答デアリマス、其ノ後手紙ヲ通ジテ度々其ノ實情ノ一端ヲ申上ゲタ答デアリマス、併シソレ等ニ付キマシテハ打切リマシテ、午後具體的ノ問題ヲ御尋ネ致シマス

○泉委員 モウ十二時デモゴザイマスカラ、暫時休憩セラレシコトヲ望ミマス

○池田委員長 ソレデハ暫時休憩ヲ致シマシテ、一時カラ再開ヲスルコトニ致シマス、尙ホ午後モ農林大臣ハ出來ルダケ出席スルト言ツテ居ラレマスカラ、御都合ガ付ク限り出席スルト云フ御話デアリマスカラ、其ノオ積リデ……ソレデハ是デ休憩致シマス

正午休憩

午後一時十四分開議

○池田委員長 午前ニ引續キ再開致シマス——満井君

○満井委員 私人質問ハ食糧品ト木材ニ關シテデアリマスガ、木材ノ方ハ後日ニ讓ラシテ戴キマシテ、食糧品關係ノ方ヲ數項目質問サセテ戴キタイト存ジマス、只今農村經濟ハ非常ナル行詰リニ直面シテ居ルヤウニ、吾々ハ觀察致シマスガ、其ノ由ツテ來ル要點ハ何處ニアルカト云フト、第一ハ價格問題、第二ハ生産、販賣、供出等ノ機構ノ問題、第三ニハ計畫統制經濟ノ誘導ノ内容ガ本質的ニ適切デアルカドウカト云フ問題、大體此ノ三ツニ分ケテ考ヘラレルト思フノデアリマス

先づ第一項目ノ價格ノ問題カラ伺ヒマスガ、一番大切ナ米ノ價格ニ付テ政府ノ御意圖、殊ニ今日大臣ノ言ハレマシタ所ヲ判斷

致シマス、今後ニ於テ米價ヲ上ゲル御意思ハ全クナイカノヤウニ思ヒマスガ、政府ハ左様ニ御考ヘデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ先ヅ伺ヒタイト存ジマス

○石黑政府委員 現在米價ヲ引上ゲル意思ハナイカト云フ御質問デゴザイマスガ、引上ゲル意思ハ現在ゴザイマセヌ

○満井委員 只今農林次官モサウ仰シヤイマスガ、大臣モ米價ヲ是レ以上上ゲルト低物價政策ガ壞ハレ、農村ノ者ガ墮落ヲスルト言ハレマスガ、斯様ナ政府ノ認識ハ實情ニ即シテ居リマセヌカラ、根本的ニ改メラレル必要ガアルト考ヘマス、時間ガアリマセヌノデ極ク簡單ニ申シマスガ、其ノ理由ハ極メテ明白デアリマシテ、現在ノ米ノ價格ヲ以テシテハ農村經濟ハ立チ行キマセヌ、例ヘバ一反ニ付テ能ク出來ル所デ七俵トシテ、一俵二十二圓トスレバ一反ガ百五十四圓デアリマス、是ハ中部地方ノ統計デアリマスガ、九州方面ノ豐カナ所デハ一反ニハ俵トシテ、一俵二十二圓デ百七十六圓、是ガ大體最高ノヤウデアリマス、瘦セタ所デハ六俵ト見テ、二十二圓デ百三十二圓デアリマス、然ルニ米ノ代リニ白菜ヲ作リマス、一株三十五錢ノ大キイ株ガ、一坪ニ十株出來タトシテ、一反步デハ千五百圓ニナリマス、是ハ土地ノ比較的肥エテ居ル所デアリマス、モウ少シ瘦セテ居ル所ヲ取リマシテ、一株二十五錢ノ株ガ一坪ニ十株出來タト致シマシテモ、七百五十圓ハ大丈夫上ルノデアリマス、斯様ナ「バランス」ニ置イテオイト、野菜ヲ作ルナ、米ヲ作レト言ハレテモ、百姓ノ感激ハ湧カヌノデアリマス、然ラバ米ヲ止メテ野菜ダケデモフンダンニ出テ來ルヤウニナルカト申シマス、斯様ナ有利ナ

野菜ガ現状ニ於テハ不自由デアリマス、其ノ理由ハ野菜ノ販賣供出ノ機構ガ一元的ニ握ラレテ居ルト云フ點ニアルト思ヒマスガ、價格ダケカラ申シマス、米ノ方ガ非常ニ拘束ヲ受ケテ居ルコトハ確カデアリマス是ト「バランス」ヲ保ツベク農村ニ賣付ケラレル色々ノ肥料、其ノ他ノ品物ニ對スル支拂ヒハ現金デ高ク取上ゲラレテ居リマス爲ニ、到底農村經濟ハ米ヲ作ツテ居ツタノデハ持テナイノデアリマス、更ニ其ノ上ニ考慮シナケレバナラヌコトハ玄米食ノ強要、其ノ他ノ理由カラ糠ヲ農村ニ與ヘナイノデアリマス、玄米ノ儘デ出サセマス爲ニ農村デハ肥料ガナク、飼料ガナイ、之ヲ正確ニ換算シマスト一俵ニ付テ約二圓ノ缺損デ、是ハ農村ガ只デ都市カラ取ラレテ居ルヤウナ條件ニナリマス、サウシテ糠ノ搾リ粕デア

ル脂ノ脱ケタ肥料ヲ無理ニ賣付ケラレテ居ル、斯ウ云フ始末デアリマス、米ダケヲ繞リマシテモ、農村經濟ハ價格引上ゲヲ大幅ニヤルニアラズンバ絶對ニ増産ハ不可能デアルト吾々ハ見テ居リマスガ、是デモ農林當局ハ米ノ價格ヲ上ゲル云フコトニ付テ根本的ナ御反省ハオヤリニナリマセヌデセウカ

○石黑政府委員 只今満井君ノ御述ベニナリマシタ色々ノ事例ノ具體的ナ事柄ニ付キマシテハ姑ク措キマシテ、御説ノ如ク今日農村ニ於キマシテ、主要ノ食糧タル米麥ノ價格ト、其ノ他ノ農産物或ハ蔬菜デアルトカ、或ハ果物類デアルトカ、左様ナモノノ價格トノ間ノ不均衡ノ問題、或ハ其ノ他各種ノ勤勞ニ服スル場合ノ報酬トノ均衡ノ問題、是等ノモノガ今日農村ニ於ケル一ツノ大キナ悩ミデアルト云フコトニ付キマシ

テハ、私共モ御説同様或ハ農村ノ方々ト共ニ深く苦シンデ居ルノデアリマス、是ハ全ク事實デゴザイマス、就キマシテハ、此ノ價格ノ關係ニ付キマシテモ色々ト苦心ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、先程モ此ノ米價格ヲ引上ゲルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、例ヘバ、石十數圓上ゲタ所ノデ、消費者ニ取ツテハ月ニ幾ラ位ノコトデハナイカト云フヤウナ色々ノ御説モアルノデゴザイマス、併シナガラ今日政府ガ此ノ戰爭遂行ノ爲ニ低物價政策ヲ堅持致シテ居リマスガ、是ハマア全般的ナ一ツノ政策トシテハドウシテモ左様デナケレバナラヌカト思フノデゴザイマスガ、而モ狀況ハ、此ノ低物價政策ヲ遂行スルニ付テ、色々ト逆條件ノアルコトモ亦得ナイノデアリマス、其ノ間ニアリマシテ、今日戰爭遂行上必要ナル低物價政策ヲ遂行スルコト云フコトノ具體的ナ手段ト致シマシテハ、一ツニハ茲ニ根幹的ナ重要物資ノ價格ニ付テ、其ノ安定ヲ圖ルト云フヤウナコトガ必要ニナツテ參リマシテ、自然米ノ如キモノガ其ノ物資トシテ取上ゲラレテ參ルノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ、具體的ナ數字ノ差ガ消費者ニ及ボス具體的ナ影響ト云フヤウナ事柄ノミヲ見ルコトガ出來ナイノデアリマシテ、ヤハリソコニ物價政策全般ニ及ボス所ノ心理的影響ト云フヤウナモノヲ根幹的ナ物資ニ付テハヤハリ考ヘナケレバナラナイト云フ風ニ、現在政府ハ見テ居ル譯デアリマス、左様ナ觀點カラ致シマシテ、米ノ價格ノ如キモノハ其ノ點ニ於キマシテ制約ヲ受ケルノデアリマス、此ノ間ニ處シマシテ、政府トシテハ如何ナル方策ヲ執ルカト云フコトニ付キマシテハ、從來カラヤツ

テ居リマス所ヲ申述ベマスレバ、生産ノ獎勵金ヲ交付スルコトカ、或ハ細カイ點ニ付キマシテ、食糧特別會計ノ取扱上努メテ生産農家ノ爲ヲ圖ツテ參ルトカ、或ハ又廣ク、主トシテ米ノ生産ヲ致シマスル所ノ水田耕作ニ對シマシテ各般ノ助成ノ措置ヲ講ズルトカ、或ハ土地ノ改良ノコトデアルトカ、其ノ他各種ノ點ニ付キマシテ、努メテ茲ニ助成ノ方途ヲ講ズル、又今回モ農業保險ノ如キ制度ニ付キマシテ、國家ガソコニ助成ノ新ナル方策ニ出テ居ルノデアリマス、是等各種ノ方法ニ依リマシテ、今後モ米作ノ獎勵、増産ノ達成ニ向ツテ進ンデ參ラナケレバナラナイノデアリマスガ、今後モ農村各方面ノ指導者ノ方々ト共ニ吾々ト致シマシテモ色々ト一ツ方法ヲ講ジマシテ、増産ニ遺憾ナク、又農村トシテ、農家トシテ立派ニ立ツテ行キマシヤウニ今後漸次努メテ參リタイト考ヘル次第デアリマス

○滿井委員 低物價政策ト全般ノ財政經濟政策ノ根本方針上米ノ値段ガ上ゲラレナイト云フ御答辯ノヤウニ承リマシタガ、其ノ點ヲ根本的ニ解決シマス爲ニハ、米價ノ問題カラシテモ現在ノ如キ窮屈ナ低物價政策ヲ此ノ儘堅持シテ行カレルコトハ、寧ロ國家經濟ヲ實質ニ於テ破綻スルモノデアルト私ハ思フノデアリマス、當局ノ言ハレル所ハ、經濟政策ヲ財政上ノ主トシテ金融經濟のナ面ノ破壞ヲ惧レテ居ラレヤウデアリマシタガ、低物價政策ヲ不必要ナ程度ニ堅持サレマスコトハ、物價ノ本質ニ對シテ腰ヲ碎ケサセルヤウニナルノデハナイカ、斯ウ私共ハ見テ居リマス、ゾコデ本當ノ意味ノ農村經濟、國家食糧品經濟ノ意味カラシマシテ、此ノ際從來ノ動向ヤ從來ノ御立場等ニ

四ハレルコトナシニ、政府當局トシテハ虚心坦懷ニ過去ノ動向ヲ切替ヘラレテ、私共ノ御質問申上ゲルヤウナ點ニ付テ、十分考慮ヲ拂ハレルダケノ雅量ト申シマスカ、御用意ハアリマセヌデセウカ

○石黒政府委員 一口ニ申シマスレバ、主要食糧ノ増産ノ爲ノ問題ト云フコトニ付キマシテハ、私共モ凡ユル觀點カラ必ズシモ形而的ナ一ツノ觀念ニ因ハレルト云フヤウナコトナク、凡ユル觀點カラ實情ニ即スルヤウニ進ンデ參リタイト云フコトハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ價格ノ問題ハ全般ニ互リ非常ナ難カシイ問題デゴザイマシテ、色々ト考ヘ方ガアル譯デゴザイマスガ、政府ノ斯ノ如キ戰時經濟ノ運營上ノ根本的ナ問題ニ付キマシテハ、ソコニヤハリ政府トシテハ一貫シタ纏ツタ考ヘ方ニ出テ行クト云フコトガ必要デアラウト思ヒマス、濫リニ色々ノ考ヘ方カラ彼此レノコトヲ考ヘルト云フコトハ、研究トシテハ、政府部内ニ於ケル吾々トシテハ出來得ルノデアリマスケレドモ、兎ニ角政府ノ方策トシテハソコニ一貫シタモノガナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス

○滿井委員 ドウモ農林次官ノ御答辯ハ私満足致シ兼ねマスノデゴザイマスガ、結局スルニ、大臣ハ先程大イニ誠意ヲ以テ聞カレル餘地ガアルヤウニ申サレマシタガ、米價問題ヲ繞リテハ國民ノ實情ヤ國民ノ總意ノ存スル所ヲ聽カレル餘地ハ只今ノ御答辯ニ於テハナイモノト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ少クモ私ノ選舉區及ビ私ノ個人的ニ接觸シテ居リマスル幾十ノ國民ヲ代表シテ茲ニ政府ノ米價對策ハ根本的ニ落第デアルト云フコトヲ申上ゲマス、其ノ次

ニ農産物ノ供出販賣等ノ機構ニ付テデゴザイマスガ、是ガ餘リニ一元的ニ統制強化サレテ居リマスコトノ爲ニ、實ニ國民ハ生産増強ノ意欲ヲ失ヒツツアルノデアリマス、一例ヲ申シマスルト、微細ナ野菜類ニ至ルマデ非常ニ嚴格ニ極メ付ケラレマス爲ニ、到底増産ノ意欲ガ湧イテ居ラヌノデアリマス、此ノ販賣供出ノ一元的強化ヲ緩和シテ、國民ガ喜ンデ作レルヤウニ、又必要ナモノヲ必要ナ所ニ買出シニ行ケルヤウニ、賣出シニ行ケルヤウニ工夫シテ、從來ノ計畫統制經濟ノ根本觀念ヲ改メラレル誠意ガ農林當局ニオアリデゴザイマセウカ

○石黒政府委員 主トシテ蔬菜類ノ供出、或ハ販賣機構ニ付テノ御話ト承リマシタガ、ソレニ付テ申上ゲマス、御承知ノ如ク大體ニ於テ蔬菜ハ或ル程度從來ニ比較致シマシテ減産ノ傾向ガゴザイマス、又季節的ノ調節モ中々ムヅカシイノガ、左様ナ事態ニ於テハ起ツテ參ルノデアリマス、殊ニ最近ニ於キマシテハ、輸送其ノ他ノ關係ガゴザイマシテ、茲ニ限ラレタル生産供出ノ物資ヲ如何ニ消費者ニ對シテ最モ適正ニ配給スルカト云フコトガ大都市等ニ於テハ一ツノ大キナ問題デアルトモ御承知ノ通りデゴザイマス、此ノ間ニ處シマシテ、農林省トシテハ從來消費地ニ於ケル消費者ニ對スル配給ノ適正ニ參ルヤウニト云フコトガ主トシテノ目標トサレマシテ、此ノ蔬菜類ニ付テハ、販賣供出ノ機構ニ付テノ統制ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、併シ地方ノ極メテ小都市等ニ付キマシテハ、必ズシモ左様ナ同ジコトヲヤルト云フ方針デモナク致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ間大都市ニ對スル供出配給ノ機構ニ微ヒマシテ、往々ニシテ

地方等ニ於テ如何カト思ハレルヤウナ地區

ニ於テマデ是同ジヤウナ形ヲ執ツテ居
ル、其ノコトノ爲ニ却テ其ノ間非常ナ支障
ヲ來シテ居ルコト云フヤウナ實例、又ソレヲ
改善サレタト云フヤウナ實例モアルノデア
リマス、勿論、茲ニ供出或ハ販賣ニ付テ或
ル種ノ統制ヲ加ヘマス、ソレガ一カラ十
マデ總テ利便バカリヲ與ヘルノデハナイノ
デアリマシテ、御話ノ通り、生産者ニシテ
見レバ、供出ヲスルノニ一々或ル種ノ制限ヲ受
ケルト云フヤウナコトデアリマシテ、其ノ
間色々ト不自然ガ起ツテ來ル、吾々ト致シ
マシテモ好マシクナイヤウナ結果モアルノ
デアリマス、此ノ間ニ處シマシテ成ベク適
正ナ結果ヲ得ラレルヤウニト云フノデ、從
來カラ大都市ニ於テモ或ル種ノ例外ノ方途
ヲ認メテ、統制ノ實際的運轉ニ遺憾ノナイ
ヤウニ圖ツテ參ツタノデアリマスガ、併シ
又皆様ノ御批判ハ中々區々デアリマシテ、
最近ニ於テモサウ云フ例外的ナ緩和ノ處置
ノ如キハモウ止メテ、絶對統制ヲ行ケト云
フヤウナ激シイ意見ヲサレル方面モアリマ
ス、カト思フト、又一面ニ於テ、モツト
自由ニシタラ自然ニ出テ來ハセヌカト云
フヤウナ御意見モアリマス、ソレノ御
御意見ニ付テハ、吾々トシテハ御話ノアル
毎ニ常ニ十分色々ト考ヘテ居リマスシ、其
ノ間漸次適正ヲ期シタイト思ツテ居ルノデ
アリマスガ、先程モ申シマシタヤウニ、全國
一律一體、何處ニデモ同ジヤウナコトヲヤ
ラウトハ決シテ考ヘテ居ラナイノデアリマ
ス、併シ實際ニ於テハ、ソレガ地方ニ依リ
マシテ、或ハ所ニ依リ、行過ギノヤウナコ
トガナイトモ限リマセヌノデ、是等ニ付キ
マシテハ漸次實情ニ副フヤウニ改善ヲ圖ツ

テ參リタイト考ヘテ居リマス

○滿井委員 各府縣ニ依ツテ多少ノ手加減
ノ違フ所ガアルカモ知レマセヌガ、大體全
國のニ私ノ接觸シテ調査シタ範圍ニ依ル
ト、農林當局ノ御指令ニ基イテ現在實行シ
ツツアル配給供出ノ非常ナ強行的ナ一元化
ト云フモノハ、明カニ農民ノ生産意欲、販
賣意欲ヲ殆ド根柢的ニ破壊シテ居リマス、
日本ハ雨ノ多イ土地ノ肥エタ國デアリマシ
テ、蔬菜類ノ如キハ不自由スルヤウナ國デ
ハナイノデアリマス、然ルニ現狀ハ此ノ通
リデアル、是ハ明カニ農林當局ノ思想ノ中
ニ、一元的ニ計畫統制經濟ヲヤレバ、机上
ノ計算通り物が出テ來ルヤウナ誤ツタ經濟
觀念ヲ御持チニナツテ居ラレテ、ソレヲ實
行ニ移シテ居ル弊害デアルト私共見ルノデ
アリマス、農林省ハオ上手デゴザイマシテ、
非常ニ御答辯ガ巧妙デ、此ノ場限リデ消エ
込ムヤウナ御答辯ヲナサルノデ、私共頼リ
ナク思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ、其ノ主務
局ノ局長ノ御方ニハ、今日マデヤツテ來タ
ヤウナ所謂一元的ナ統制計畫經濟デ銃後ノ
食糧問題ヲ増強シツツ、戰爭ニ勝抜ク信念
ガオアリデアアルカドウカ、ナイトスレバ、
豫ネテ民間ニモ聲ノアルヤウナ精神要素ヲ
活カス所ノ、生キタ精神の誘導統制ニ方針
ヲ切り替ヘル御反省ガアルカナイカ、的確
ニ伺ヒタイノデアリマス

○石黒政府委員 主務局長ト云フ御言葉ガ
アリマシタガ、一應私カラ申上ゲマス、私
共ノ考ヘト致シマシテハ、觀念的ニ單ニ所
謂一元統制トカ、統制機構ト云フヤウナモ
ノデ總テノモノガ片付クトハ考ヘテ居リマセ
ヌ、御話ノ通り、人ノ精神の方面ト云フモノ
ハ勿論考慮致サナケレバナリマセヌ、又殊
ニ農林關係物資ニ付テハ、御承知ノ通り生
産者モ殆ド全國ニ互ツテ非常ニ廣汎デアリ、
其ノ消費者ノ範圍モ亦非常ニ廣イト云フヤ
ウナコトヨリ、是ハソレノ人々ノ生活
ニ關聯スル所ガ非常ニ多イノデアリマス、
隨ヒマシテ是ガ重工業上ノ重要物資ノ配給
統制ト云フヤウナモノトハ、御説ノ通りソ
コニ非常ニ違ツタモノノアルコトハ私モ感
ズルノデアリマス、ソコデ例ヘバ今ノ蔬菜
ノコトニ付キマシテモ、必ズシモ一元的ナ
強硬ナヤリ方ト云フヤウナコトハ考ヘテ居
リマセヌ、色々ナ情勢ニ應ジテ、其ノ間ニ
適正ヲ圖リタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次
第デゴザイマス

○池田委員長 農政局長御答辯ガアリマスカ
○石井(英)政府委員 今ノ御話ハ、専ラ集荷
關係ノ御話ト思ヒマスノデ、ソレハ私共ノ
局ノ主管デハナイモノデアリマスカラ、ド
ウカト思ヒマスガ……
○滿井委員 ソレデハ次ノ質問ヲサセテ戴
キマス
只今ノ農林次官ノ御答辯ニ多少各府縣
デ取捨選擇シテ適切ニオヤリニナルト云
フ御答ガゴザイマシタガ、ソレデハ實情ヲ
申上ゲマセウ、例ヘバ一例ヲ福岡縣ニ取
ト、八幡ノ製鐵所ガアレダケノ鐵產業ヲ以
テ數十万ノ工員ヲ擁シテ居リマスガ、之ニ
必要ナル野菜ヲ思フ所ニ買ヒニ行クコトガ
出來ヌ、隣リノ宮崎縣ヤ大分縣デハ腐ツテ
居ルガ、福岡縣ガハ足りナイ、而モ福岡縣
ノ内部ニ於テスラ南ノ方ノ久留米、南方ニ
ハ餘ツテ居ルガ、其處ヘ買ヒニ行クコトガ
出來ナイデ、八幡ノ區域ハ北九州ノ一部、
小倉ノ區域ハ是ダケト云フ風ニ、縣ガ割附
ケテシマツテ居ル爲ニ國防産業デアアル八幡
ノ製鐵所ハ、工員ニ野菜ヲ食ハスノニ非常
ナ不自由ヲ感ジテ居ル、サウ云フ狀態ノ所
ニ、八幡ノ野菜ガアリマセヌカラ、百姓ガ
賣リニ出ル、所ガ經濟警察ガ其ノ値段ヲ調
ベテ、統制値段ヨリ高ク賣ツタト云フノデ
留置シテシマツタ、理由ヲ聞クト、水ヲ含
ンデ居ル折ハ重サガアツタケレドモ、斯ウ
ヤツテ仕入レテ賣リニ來ル内ニ、段々干涸
ビテ來テ重サガ減ルカラ、其ノ減ツタ分ダ
ケハ、利益ハナイケレドモ、最初買ウタ値
段ニ辻褄ヲ合ハセル爲ニ、重サニ對シテ幾ラ
カヅツ高クナルヤウニ賣ツタノデ、別ニ違
反シタノデハナイト言ウタラ、ソナハ馬鹿
ナコトハナイ、銃後ノ者ハ此ノ際戰列部隊ガ
死ヲ賭シテ戰ツテ居ル其ノ心デナゼヤラヌ
カ、此ノ非國民ガト言ハレタモノゾカラ、
ビツクリシテ、正直ナオ爺サンナモノデスカ
ラ、警察ノ裏ノ山ニ入ツテ首ヲ縊ツテ自殺
シタト云フ話ガアル、(笑聲)是ハ笑ヒゴトデハ
ナイ、其ノ次ニハ門司ニ野菜ヲ賣リニ來タ
所ノ百姓ノ若イ細君ガ、野菜ヲ賣ツテ居ル、
賣ツテハナラヌノニ何デ賣ツタカト云フノ
デ、販賣供出ノ徑路ガ違フ上ニ、多少値段モ
違フト云フノデ、警察ニ留置サレタ、留置サ
レテ細君ガ言ヒマスノニハ、ドウモ家ニ嬰
兒ガ居ツテ乳ガ張リマスカラ、私モ長ク留
メテレルナラバ、子供ヲ呼ンデ乳ヲ吞マサ
シテ呉レ、斯ウ言ツタサウデアリマス、サウシ
タラ、貴様戰列部隊ハ戰死シテヤツテ居ル
時ニ、銃後デソナ横着ナコトヲ言フ、第
五列ミタイナモノダト云フ譯デ、ウント虐
メラレテ、左様ナ贅澤ヲ言フナラオ前ノオ
ヤデモ一緒ニ入レテヤルゾト言ツタサウデ
アリマス、サウシタラ細君ハ、實ハ私ノ主
人ハ南洋デ今戰爭シテ居マス、御喚ビニナ

ラレモ戦列ニ出テ居ツテ、此處ニハ居リマセスト云フコトヲ申上ゲタ、私ハ留守ノ家庭ヲ守ル爲ニ、此ノ野菜ヲ自由ニ賣ラシテ呉レナケレバ、家庭生活ガ持テヌノダト云フコトヲ申上ゲタサウデアリマスガ、サウシタラ初メテ警察ガ、額ヲ反ケテ歸ラセテ下サツタ、斯ウ云フ事實モアルノデアリマス、又更ニ一例ヲ舉ゲマス、福岡縣ノ企救郡ノ東谷村ト云フ所デ起ツタ事實デアリマスガ、馬鈴薯ヲ供出シロト云フノデ供出シタ所ガ、假ニ三俵出シタ内ニ俵ハ腐ラシテ、一俵残ツタノヲ取リニ來イ、斯ウ云フコトニナツタ、ソレハ一軒ダケデナク、何軒モサウ云フ光景ニアル、大體三分ノ二ハ腐ラシタサウデアリマス、取リニ行ツタ所ガ、其ノ値段ヲ呉レズニ、腐レ掛ケタ所ノ残りノモノダケ持ツテ歸ラサレテ、責任ハ遂ニ供出販賣ノ組合側ノ方ガ負フコトナシニ、百姓ノ方ガ負フコトニナツタ、サウ云フ光景デ百姓ガ政府ヲ怨シテ居ル所ニ、更ニ麥ヲ出セト云フコトニナツテ、縣ノ役人ガ取リニ來タ、サウシタラ前回ノ馬鈴薯ノ値段カラ始メテ附ケテ呉レ、斯ウ言ヒマス、私ハ馬鈴薯ニ關係スル者デナイ、上司ノ命令デ以テ麥ヲ出サセル爲ニ來タノダカラ出セ、イヤ馬鈴薯ノ値段カラ解決シテ呉レナケレバ麥ハ出サナイ、何ヲ言フカ、出セト云ツタラ出セ、出サスト云フナラ警察ニ言ツテ出サセル、斯ウ云フヤウニナツテ、強權デ壓迫ニ掛リマシタカラ、其處ニ居リマシタ村ノ者ガ、何ヲ計フカト云フノデイキリ立ツテ、縣カラ來タ才役人ヲ袋叩キニシサウナニツタガ、マアノト有メル人ガアツテ、縣ノ役人ハ這々ノ態デ歸ツテ行カレタ、斯ウ云フ事實ガアルノデアリマス、

是ハ一葉落チテ天下ノ秋ヲ知ルベシ、霜ヲ履ンデ堅氷至ルヲ知ルベキデ、今ヤ全國的ニ斯様ナ動向ヲ迎リツツ國民ハ農林行政ノ一大失策ニ對シテ痛憤措ク能ハザル思ヒヲ抱イテ居ルノデアリマス、是ハ何處カラ來ルカト言ヒマス、机上デ計算スルト、數字通りニ押附ケテ行ケバ、經濟ハ理想通り増強出來ルカノヤウニ誤解ニナツテ居ラレル點カラ來ルノデハナイカ、事實ノ經濟ト云フモノハ現場ニ於テ見ナケレバナラヌノデアリマス、其ノ現場ガ増強スル前ニ、先ヅ農村ノ國民ノ氣持ノ中ニ、次ノ増產ヲ魂ノ世界ニ生ミ出サナクテハナラヌノデアリマス、現下ノ農林省デオヤリニナル一元のナ強硬ナ統制計畫經濟ハ、出來上ツタ數字ノモノヲ割振ルコトニ汲々トシテ居ラレマシテ、次ノ作附ニ於テ増產ヲ導クヤウニ農村人ノ魂ノ中ニ未來ノ増產ヲ誘導スル熱意ガ缺ケテ居ルノデアリマス、此ノ點ヲ根本的ニ御反省ニナツテ、大臣、次官、局長、上下ヲ通ジテ總理大臣ノ言ハレマスヤウニオヤリニナル御意思ガアリマスカ、アリマセヌカ

○石黒政府委員 只今滿井サシカラ色々ノ洵ニ數カハシイヤウナ事例ノ御話ガゴザイマシタガ、私ハソレハ何カ間違ヒデアツテ、左様ナコトハナイデハナイカト云フ位ニ考ヘルノデアリマス、御承知ノヤウニ現在大消費地方ニ於ケル蔬菜ニ付キマシテハ已ムナク色々ノ配給上ノ統制ヲ致シテ居リマスケレドモ、其ノ間ニアリマシテ、ヤハリ之ニ付テモ色々非難ガアリマス、アリナガラモ尙且ツ或ル程度ノ行商ヲ認メタリ、又或ル程度賣出シニ行コトヲ認メタリシテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ随分色々御批判モアリマシテ、或ル時期ニ於キマシテハ

外部ノ方カラモウスツカリ止メテ貫ヒタイ、止メナケレバ是ハドウモ宜シクナイト云フ位ナ御意見モアリマシタガ、現在致シテ居リマス、何カソコニ實際上ノ話ノ中ニ齟齬ガアルノデハナイカト云フ位ニ私ハ思フノデアリマス、馬鈴薯ノ腐ツタ御話ガゴザイマシタガ、是ハ實際問題トシマシテ、例ヘバ北九州邊リノ馬鈴薯ニ付キマシテハ、丁年天候其ノ他ノ關係カラ昨年アタリ色々左様ナ事例モアツタヤウデゴザイマス、或ル簡易ナ保藏ノ方法ヲ講ズレバソレモ避ケ得ルノニ、其ノ方法ガ講ゼラレナカツタ、ソレニ付テハ勿論指導ノ至ラヌ點モアツタ譯デアリマスガ、左様ナ事例ガアリマシタヤウナ譯デ、是ハ洵ニ遺憾デアリマシテ、左様ナコトノ繰返サレナイヤウニ、今後殊ニ芋類ニ付キマシテハ主要食糧ノ補填食糧トシマシテ大イニ増產ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、其ノ間ニ非常ニ腐リ易イモノデスカラ難カシイノデアリマスガ、農家ト共々ニ成ベク之ヲ一ツ有效ニ利用スルヤウニ、又其ノ觀點カラ致シマシテ何カ巧ク考ヘ得ル點ガアリマシタナラバ、新タナル考慮モ加ヘテ見タイト云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマス

總理ノ御話ノヤウニヤルカト云フヤウナ御話ガ最後ニアリマシタガ、勿論總理大臣ノ方針ニ依ツテ吾々モヤツテ居ル譯デアリマシテ、總理ノ御考ヘノ通りニヤリタイト思ツテ居リマス

○滿井委員 時間ガアリマセヌノデ、意ヲ盡クシ兼ねマスカラ項目ダケデヤラシテ戴キマス、總理大臣ハ國民ノ創意工夫ヲ助長スルヤウニ大イニ國民ヲ信頼シ、國民ト一體デヤル、斯ウ仰セラレテ、洵ニ國民トシテ吾々感激シテ居ルノデアリマス、然ルニ現下ノ經濟統制ノ實情ハ全ク總理大臣ノ言フ所ト事實ガ反スルノデアリマス、其ノ責任ハ舉ゲテ農林大臣以下當局ニ在ルモノト吾々ハ考ヘル、總理大臣ニハ責任ガナイト思フ、監督指導ノ責任ハアルデアリマセウガ、主トシテ主務省、主務局ノ官吏ノ御方ガ具體的ノ責任ヲ執ラナケレバ去ラヌト思ツテ居リマス、此ノ點カラ今私共ハ農林當局ノ責任ト云フモノヲ非常ニ重大視シテ居リマス、今日ハ木材ノ質問ハ致シマセヌガ、食糧品ダケニ付テ考ヘテ見マシテモ、農林行政ハ明カニ大失敗デアリマス、國民ヲシテ是程憤懣ヲ懷カセ、場合ニ依ツテハ大變ナ事態ニマデ、經濟ノ腰砕ケニナリハシナイカト云フヤウナ風ニ、ソレカラ或ハ社會不安のナト云フヤウナコトモ杞憂セラレヤウナ狀態ニ持ツテ來タ責任ハ何トシテモ農林當局ガ負ハナケレバナラナイ、然ルニ其ノ點ニ付キマシテ大臣ハ、午前ニ虛心坦懷誠意ヲ以テ聽クト言ハレマスルガ、私申上ゲルコトハ大變不本意デアリマスガ、農林次官ハ非常ニ人格圓滿ナ御方デ、御折衝ガオ上手デアリマス爲ニ、動モスルト此處ダケノ押シ問答デ、モウアレデ言ヒ括メタカラ宜カツタト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトヲ憂慮セラレルノデアリマス、モウ少シ一國ノ政治ヲ輔弼スル所ノ官僚ノ御方々ハ中心問題ニ觸レテ事實ヲ檢討シナケレバナラヌ、何カノ間違ヒト云フコトヲ苟クモ代議士ガ此處デ言ヒマセヌ、必要ナラバサウ云フ事實ヲ持ツテ來タ本人達ヲ連レテ來デモ宜シイノデアリマス、間違ヒハナイノデアリマス、的確ナ事實ヲ押ヘテ申シテ居ルノデアリマス、左様ナコト

ヲ耳ヲ掩ウテ鈴ヲ盜ムヤウナ言廻シ方デ、
國政ヲ責任免レシテ行カウト云フコトデハ、
ソレハ一時官僚ハ首ハ繋ガレマセウ、内閣
モ延命ハ致シマセウ、併シ其ノ後ニ來ルベ
キ經濟ノ腰砕ケカラ、祖國ガ遂ニ戰爭ヲ勝
抜ク爲ニ、日本ハ國體ガ良イカラ負ケハシ
マセヌガ、勝抜ク爲ニ、非常ナ豫期セザル
所ノ混亂ト難關ヲ切抜ケナケレバナラナイ
ヤウニナツタ其ノ時ニナツテ、責任ヲ追及
シテモモウオ終ヒナシデアリマス、事實吾
吾ハ潮先ヲ見テ居ルノデアリマス、政治ハ
机ノ上ノ統計デハイケナイ、出來上ツタ統
計ヨリモ、應デドウ云フ統計ガ出來上ツテ
來ルカト云フ潮先ヲ見ナケレバナラス、今
水ガアツテモ退潮ニナルノカ、今水ガ是ダ
ケシカナイガ、滿潮ニナツテ居ルカ、其ノ
農民ノ氣持ノ中ニ將來ハ滿潮ニナリツツア
ルカ、退潮ニナリツツアルカト云フヤウナ
コトヲ見ルヤウナ、未來ノ農村ヲ今誘導シ
テ、農村民ヲ其ノヤウナ氣持ニ導クヤウ、
農林當局ノ御誠意ヲ望ムモノデアリマス、午
前ニ大臣ハ政府ハ國民ヲ信ジ、國民ガ政府
ヲ信ジテ行キサヘスレバ食糧對策ハ大丈夫
ダト言ハレマシタガ、政府ハ國民ヲ御信ジ
ニナツテナイト思ヒマス、此ノ度出サレタ
所ノ諸法案ヲ見マシテモ、恰モ國民ヲ罪人
扱ヒセラレルヤウニ出來テ居ル、現ニ行ハ
レツツアリマス統制ヲ見マシテモ、一々經
濟警察ガ付イテ國民ヲ捕虜扱ヒニシテ居ル、
又國民ハ左様ナ實情ニ於キマシテ政府ヲ信
賴シテナイノデアリマス、信賴シテナイガ、
ソレヲ口ニ出スト壓迫ガ來マス爲ニ、默々
トシテ其ノ鬱憤ヲ何カノ形デ出シテ居ル、
ソレガドウ現ハレテ來ルカト云フト、國體
ガ良イノデスカラ、政府ハ國體ニ反逆ハ出

來マセヌ、ソコデ國民ハ無抵抗ノ消極的ナ、
詰リ自己満足ト云ヒマス、自己更生ノ途
ニ逃レテ居ルノデアリマス、其ノ結果小作
人ハ今ヤ米ヲ作ルコトヲ止メテ、段々土地
ヲ地主ニ返シ、地主ハ田ノ草ガ取レナクナ
ツテ、植付ガ出來ナクナツテ、大困リデア
リマス、サウ云フ傾向ガ全國的デアリマス、
ソレダカラ近所ニ工場ガアリマシタリ、他
ノ事業ガアリマス所ノ農村人ハ、ドシ／＼
ト其ノ方ニ勞力ヲ流シテ居リマス、サウシ
タ結果鞭ウツヤウニシテ極メ付ケテヤリマ
シテモ、事實増産ト云フモノハ出來ナイノ
デハナイカト云フコトヲ私ハ非常ニ憂慮シ
マス、其ノ結果社會不安ニマデ今ヤ行ク虞
ガアルノデハナイカト云フコトヲ私獨力ニ
憂慮シテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ點
カラ此ノ際一々細カイ質問ハ、モウ私ニ與
ヘラレタ時間ガナクナリマシタカラ止メサ
シテ戴キマス
唯一ツ最後ニモウ一應念ノ爲ニ伺ツテ置
キマスガ、大體農林省デモ、其ノ他商工省
デモ、現在ノ政府御當局ノ御考ヘヲオヤリ
ニナル所カラ私ハ推察ヲ致シマスルト、經
濟ト云フモノハ五ニ五ヲ加ヘルト十二ナル
ト云ツタヤウナ計算ヅクメデ、非常ニ「ロシ
ヤ」ノ唯物主義者デモ考ヘルヤウナ御考
ヘ方ノ經濟通念ヲ御持チヂヤナイカト思フ
ノデアリマス、事實ノ經濟ハサウデナイノ
デアリマス、五ニ五ヲ加ヘテ百ガ出來ルノ
デアリマス、ソレハ精神力カラ出テ來ルノ
デアリマス、今茲ニ一粒ノ米ガナクツテモ、
一粒ガ一粒サヘアレバ、ソレガ今年ノ秋時ニ
ハ一粒カラ百粒ニナルト云フコトヲ豫定ガ
出來ルノデアリマス、今茲ニ百粒アリマシ
テモ、百姓ガ植付ケテ怠リ、田草ヲ取ラナ

カツタラ、今年ノ秋ニハ一粒モナイ結果ニ
ナル、隨ヒマシテ今アル數字、今出テ來テ
居ル統計ト云フモノヲ基礎ニシテ割振ルコ
トヲヤルヤウナ計畫經濟ヲ根本的ニ切替ヘ
テ、精神要素カラ未來ノモノノ姿ヲ大キク
建設シテ行ク精神的誘導ノ増産經濟ニ踏込
マレル爲ニ、御當局ガ本當ニ虚心坦懷ニ國
政ヲ國民ト共ニ輔弼シテ行ク御考ヘニオナ
リニナツテ戴クコトハ出來ナイノデアリマ
スカ、ソレガ出來ナイトナルト吾々ハモウ
政府ニ對スル期待ト云フモノヲ失ハナケレ
バナラスノデアリマス、此ノ點ヲハツ
キリト御答辯ヲ戴キタイノデアリマス
○池田委員長 此ノ機會ニ次官ニ一寸申上
ゲマスガ、滿井君ノ質問ニ對シ滿井君ノ例
ヲ舉ゲラレタコトハソレハ何カノ間違ヒデ
アラウト云フヤウナコトハ釋明ラシテ置カ
レタ方ガ適當ダラウト思ヒマス
○石黑政府委員 只今ノ滿井君ノ精神的
要素、殊ニ將來ノ發展ト云フコトヲ考ヘテ
共々ニ考ヘル用意ハナイカト云フ御質問ニ
對シマシテハ、是ハ全ク私共本當ニ左様ニ
考ヘテ居リマス、其ノコトヲ申上ゲテ置キ
タイト思ヒマス
ソレカラ先程滿井君ノ御話ノコトニ付
テ私が申シマシタ趣旨ハ、今委員長カラノ
御注意マデモナク、實ハ私ハ言外ノ意味ヲ
申シタノデアリマス、滿井君ガ如何ニ事
實ニシタ所デ、マサカソナナコトハアリ得
マイト云フ、兎ニ角洵ニ聽クニ堪ヘナイコ
トデアルカラ、私ハサウ申シタノデアリマ
ス
ソレカラ先程カラモ申上ゲテ居リマス通
リニ、農林關係ノコトニ限リマセヌ、總テ
全國ニ從來カラ見マスト餘程變ツタ今日ノ

戰時下ニ於ケル各種ノ經濟政策ヲ施行シテ
行キマス上ニハ、中々實際ノ實情ニ合フヤ
ウニ色々ノ施策ガ滲透スルノガ困難デアリ
マシテ、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ非常
ニ苦慮致シテ居リマス、又實際色々ノ御注
意ヲ聽キマシテモ、マア何ダツテサウ云フ
コトニナツタララウト云フ位ニ、吾々ト
シテモ御同感ノ感ジヲ持ツヤウナ例モアル
ノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハ官ト
民トヲ問ハズ、兎ニ角今日ノ如キ事態ニ即
シテ此ノ總力戰下ニ於ケル國力結集ノ體制
ノ下ニ於ケル色々ノ施策ノ圓滑ナ運營ト云
フコトニドウシテモ是ハ慣熟シテ行カナケ
レバナラナイト思フノデアリマス、慣熟ス
ル上ニ於テ常ニ時間的ナ一ツノ經過ガアリ
マシタリ、或ハ又實際ノヤリ方ニ於テ十分
ナラザル點ガアリマシタリ致シマスコトニ
付キマシテハ、吾々ハ色々ト實際ノ例ヲ伺
フニ伴ヒマシテ、ソコニ適當ナル處置ヲ講
ジ得ルモノニ付テハ處置ヲ講ジテ行キタイ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ具體的ニ
申ス譯ニモ參リマセヌガ、或ル大都市ノ如
キハ其ノ大都市ノ近郊ニ或ル一ツノ時局關
係ノ工場ガ出來タ爲ニ、其ノ大都市ノ一箇
月半分位ノ蔬菜ノ生産ガ止ツタト云フ例モ
アルノデアリマス、是ハ恐ラクサウ云フコト
ハ一般市民ハ知ラナイト思フノデアリマス
ガ、事實サウ云フコトガアリマシテ、例ヘ
バ茲ニ一ツゴソツト一ツノ供給源ガ落チテ
居ル、斯様ナ事態ニ對處致シマス場合ニ於
テ、出來ル限り輸送其ノ他ノ都合ガ付キマ
スレバ、廣ク外カラモ蔬菜ノ供給ヲ圖リ、
或ハ近傍ニ於テ蔬菜ノ増産ヲ圖ル、色々
リマスケレドモ、ソコニヤハリ自ラ供給ノ數
量ニ或ル限度ガ出來ルト云フヤウナコトモ

起ルノデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ、是ハ所謂平等主義ト云フヤウナコトハ採ラナイノデアリマス、併シ比較的足ラナケレバ足ラナイモノヲ皆ガ奪ヒ合ヒラシタノデハ大變デアル、ソコデ何トカオ互ニ持合ツテ、限ラレタル數量ヲ以テ或ル一時

的ニハ凌イデ行カナケレバナラヌト云フヤウナコトモ起ルノデアリマシテ、左様ナ場合ニ付キマシテ、實情ニ副フヤウニト云フノデ、色々ト配給ノ統制等モ行ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトニ付キマシテハソレゾレ色々ト必ズシモ一般的ニハ知ラレナイ事情モアルノデゴザイマス、併シナガラ同時ニ吾々ト致シマシテハ、御話ノ通り、一般ノ人心、或ハ精神の要素ト云フヤウナモノハ、殊ニ

我が國ニ於キマシテハ重要ナ要素デアリマシテ、總デノ經濟ト云フモノハ、殊ニ今日ノ場合ニ於テサウ云フ要素ガ入ラナイデ巧ク進ンデ行クモノハナイ譯デアリマス、是等ノコトニ付キマシテハ、最後ニ御質問ノ點ニ付テハ全ク御同感デゴザイマス、能ク

時局ノ實情ヲ認識シテ、國民全般ニ認識シテ貰フコトモ一ツノ必要ナルコトデアリマスガ、又同時ニ中々是デ狀況モ複雑デアリマシテ、之ニ對處スル最善ノ策ト云フモノヲ執ル積リデモ、ツイソコニ又巧ク參ラナイデ居ルト云フヤウナコトモアリマスノデ、サウ云フヤウナコトニ付テハ御話ノヤウナ點ニ付テ十分戒心ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス

○滿井委員 時間ガ來マシタカラモウ一ツダケ伺ヒマス、縣「ブロック」ヲ非常ニ強ク締メラレテ居リマス爲ニ、農産諸品ノ配給供出ガ圓滑ヲ缺イテ、國家的ニ見マシテモ、一方デ腐ツテ、一方デ苦シンデ居リマス、

又農村人カラ見マシテモ折角作ツタモノガ金ニナラズニ、經濟的ニ破綻ヲシテ居リマスカラ、縣「ブロック」ダケハ是非撤廢ヲシテ戴キタイト思ヒマスガ、之ニ對シテ撤廢ヲナサル御意思ハアリマセヌデセウカ

○石黒政府委員 縣「ブロック」ト云フコトハ隨分前カラ言ハレテ居リマスノデ、人ニ依リマシテ其ノ言葉ノ中ニ含マセテ居ラレル觀念ガ色々違フノデアリマシテ、一概ニ一寸申シ兼ネルノデアリマスガ、先ヅ以テ府縣ニ依ル區劃的ナ行政ト云フモノヲ食糧關係其ノ他ニ付テ撤廢スルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ全國のナ一ツノ取扱ノ出來ルモノモ依ツテハゴザイマスガ、殊ニ生産者ノ非常ニ多イ、消費者ノ非常ニ多イト云フヤウナモノニ付テハドウシテモ或ル部分々々ノ區劃的ナ考ヘ方ト云フモノハ已ムヲ得ナイデハナイカ、是ハ平常ニ於テ必ズシモ理想的ナ方法デハゴザイマセヌガ、例ヘバ今東京市ニ於キマシテ隣組單位ノ蔬菜ノ配給登錄制ヲヤツテ居ル、アレモ一ツノ區劃々々ヲ作ツテ居ルヤリ方デアリマス、併シナガラ府縣「ブロック」ト云フモノハ、府縣内ダケニ物ヲ溜込ンデ、他ノコトハ構ハナイト云フヤウナ、サウ云フ觀念ト致シマスレバ、是ハ勿論打破致サナケレバナリマセヌシ、又私共ト致シマシテハ、ヤリ方ノ上手下手ハアリマスケレドモ、過去ハイザ知ラズ、今日ニ於キマシテハ、殊ニ一般必需品ニ付キマシテ、府縣ニ於テ其ノ管内ノ爲ニ故ラ餘所ヘ出サヌト云フヤウナコトハモウナイノデハナイカト云フ風

ニ考ヘテ居リマス、併シナガラ若シ左様ナ實情ガアリマスナラバ、左様ナコトノナイヤウニ、私共ノ方トシマシテハ府縣ニ對シテ十分指導致シタイト思ツテ居リマシテ、之ニ付テハ十一月ノ地方長官ノ會議ノ時ニモ、農林大臣カラ、特ニ今日ノ場合ニ於キマシテ、或ル地方ガ管内ニ於テ物ノ充足ヲ圖ツテ、管内ノ治安成レリトシテ満足スルヤウナコトデアツタナラバ、是ハ今日ノ時局ノ認識ヲ缺クモノダ、サウシテ職責ヲ盡シタト思フノハ時局ノ認識ヲ缺クモノダ、全國のナ考ヘ方ヲ、シナケレバナラヌノダト云フコトヲ特ニ強ク申シマシタヤウナ次第デゴザイマス

○滿井委員 最後ニ、大臣ガ居ラレマセヌカラ、次官カラ篤ト大臣ニ次ノコトヲ申上ガテ戴キマシテ、午前ノ質問ノ續キトシテノ私ノ御願ヒヲ打切りト致シマス

第一ニハ、米價問題ニ付キマシテハ、農林當局ノ御説明ヤ御意思ニハ私ハ絕對ニ承服シ兼ネマス、一俵ガ二十二圓デゴザイマシテ、假ニ今大臣アタリガ赤坂デ宴會ヲヤラレタトシマシタナラバ、恐ラク一食ニ十五圓、二十圓ハ吹ツ飛ンデシマフト思ヒマス、米一俵一寸ノ間ニ飲ンデ食ウテシマフコトニナルノデアリマス、狀袋一束買ヒマシテモ、少シ質ノ良イモノハ米一升分デアリマス、斯様ニシテ農村ヲ破壊ニ追込ム以外ノ何モノデモナイ、斯様ナコトデ増産ヲヤレト云フコトハ、言フベクシテ行ハレナイコトデアリマスカラ、米其ノ他農産諸品ノ申デ必要ナモノノ價格ノ大幅引上ガト云フモノヲ斷行サレル必要ノアルコトヲ切ニ申上ゲマス

其ノ次ニハ、只今ノ御説明デ、縣「ブロック」ハ色々解釋ノ仕樣ガアルヤウデアリマスガ、私ノ申シマス縣「ブロック」ハ一々縣當局ノ御指圖ヲ受ケ、御許シヲ得ナケレバ、

馬鈴薯一ツモ、里芋一ツモ縣外ニ持ツテ出ルコトガ出來ナイ、左様ナ狀態ニ於キマシテハ、假令其ノ統制指導ガ適切デアル場合ニ於テモ、敏活、圓滑ト云フ上ニ於テ實際ノ經濟ニ合ハヌ、況ヤソレガ許可ヲシナイト云フコトニナリマシタカラ、益、以テイケナイ、ダカラ行政單位ノ縣ヲ中心トシテ經濟活動ヲ律スル所ノ縣「ブロック」制ノ思想ト動キヲ根本的ニ切替ヘテ戴キタイノデアリマス

其ノ次ニハ、米トカ麥トカ云フ重要ナルモノハ致シ方ナイト致シマシテ、野菜類、其ノ他農産諸品ノ中ノ細カイモノハ、農民ノ自由ニ思フ値段デ、欲スル場所ト時期ニ於テ賣ツテ宜イヤウニシテ戴キタイノデアリマス、又都市生活者モ必要ナ時期ト場所ニ於テ賣出シニ行ツテ、オ互ニ賣ル方ト買

フ方トノ間ニ成リ立ツタ協定ノ値段ニ於テ買取ツテ來ルヤウニ、是ハ統制ヲウント緩和シテ戴キタイノデアリマス、サウスレバキツト澤山出テ來ル、其ノ次ニハ農民全體ニ對スル行政ノ行キ方ガ、今回ノ農集團體法案ヲ見マシテモ、其ノ他ノ法案ヲ見マシテモ、非常ニ嚴シク極メ付ケテ居ルヤウデアリマスカラ、從來デサヘ苦シカッタノガ益、苦シクナリマスカラ、斯様ナ狀態デハ農民段々事業ヲ失ヒマシテハ、農村ハ萎縮スル以外ニ、増産ノ餘地ハナイト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ根本的ナ御反省ヲ遊バサレマシテ、今後ノ行政指導ノ御實行ノ上ニ於キマシテ、農村人ヲシテモウ少シ手足ヲ緩メテ働カセルヤウナ情ケノ政治ノ御工夫ヲナサルコトニ付テ切ニ私ハ大臣ニ申入レタイノデアリマス

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

其ノ次ニ都市カラ農村ニ賣付ケマス品物ノ値段ガ高ク、其ノ品物ノ質ガ惡クテ、農

村ニハ耐ヘ難イ苦シミニナツテ居リマスカラ、此ノ點ニ付キマシテ適正ナ御修正ガシテ戴キタイノデアリマス、以上ヲ通ジマシテ、今回出サレマシタ政府法案ダケデハ到底此ノ價格問題、其ノ他農村經濟ノ解決ガ出來ナイト思ヒマスカラ、實ハ私共ノ方デ米價ヲ上ゲル決議デモ出シタラト云フヤウナ個人的ノ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、ソレ等ノ議會活動ハ一國一體ノ現在ノ議會ノ事情ニ於キマシテ、吾々個人的ノ意思デハ中々盛リ上リハ許サレナイ、梗塞狀態ニアリマス爲ニ、此ノ席上カラ當局ニ御願ヒ申シテ置キマス、今後ノ統制指導、行政ノ實行上ニ於カレマシテ、願ハクハ此ノ法案其ノ他ニ於テ解決シテ居ナイ所ニ寧ロ却テ重大ナ「ポイント」ガアリマスルガ故ニ、是等指摘シマシタ諸點ヲドシ／＼ト政府ノ責任ノ範圍ニ於テ御實行遊バサレマスヤウニ、特ニ大臣ニ御傳ヘテ願ヒタウゴザイマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○池田委員長 ソレデハ満井君ノ御質問ハ濟ミマシタカラ、豫テ御通告ノ野村君ニ發言ヲ許シマス

○野村委員 私ハ蠶繭價格ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマス、總テノ物價ガ今騰貴ノ趨勢ニアリマシテ、尙ホ農産品ノ價格ガ漸次適正ヲ保ツツアリマスガ、唯只今モ御話ノ通り米價ト蠶繭價ダケガ据置ニサレテ居ル狀況デアリマス、而モ米ノ價格ニ付テハ、昨年二重價格制ニ依ツテ生産者ニ獎勵金ヲ交付スルコト云フコトニ依ツテ幾分緩和シタ、又價格ノ適正ヲ圖ツタト政府ハ御考ヘニナツテ居リマセウガ、併シナガラ今日ニ於テハ不十分デアル、斯様ニ斷ズル者デアリマス、ソレ等ニ付テハ只今満井サン

カラ縷々御述ベニナツタ通りデアリマスガ、私ハ此ノ米價ニ關シマシテハ豫算總會、或ハ吾々ノ同僚ニ依ツテ色々委員會ニ於テ御話ニナツテ居リマスカラ省略シマスガ、唯蠶繭價格ガ米價ト同ジヤウニ据置サレテ居ルト云フコトハ洵ニ慨歎ニ堪ヘナイノデアリマス、只今繭ノ値段ハ、蠶絲統制株式會社ガ買入レル價格ハ六十掛デアリマス、之ヲ一貫ノ値段ニ直シテ見マス、八圓四十錢ト云フコトニナルノデアリマス、而シテ之ニ獎勵金ガ二十錢加ハリマスカラ八圓六十錢ノ計算ニナルカト存ズルノデアリマス、爾ガ致シマシテ此ノ蠶繭ノ一貫目ニ對スル生産費ハドウナツテ居ルカト申シマス、政府或ハ農會等ニ依ツテ調査シタモノハ、昭和十七年度ニ於テ十圓八十一錢トナツテ居ルヤウデアリマス、爾ガ致シマスト生産費ヨリ一貫目ノ價格ガ二圓二十一錢低クナツテ居ルヤウデアリマス、斯様ナ狀況デアリマスカラ、農民ハ此ノ割ノ惡イ、又採算ノ採レナイ養蠶ノ段々縮少シ、廢止シテ行クト云フ狀況デアリマス、之ヲ統計ニ依ツテ見マス、此處ニモ載ツテ居ルヤウデアリマスガ、大體此ノ五、六年間ノ動向ヲ見マス、養蠶戸數ニ於テモ殆ド數十萬戸ノ減、反別ニ於テハ十數万町歩ノ減、隨テ產繭額ニ於テハ數千萬貫ノ減少ヲ見テ居ル、斯様ナ狀況デアリマス、而モ政府ガ昨年目標ヲ立テテ各府縣ニ此ノ確保ヲ獎勵致シタモノデアリマスガ、其ノ目標額ニモ足ラザルコトガ尙ホ遠イノデアリマス、サウシテ本年モ亦澤山ノ目標額ヲ各府縣ニ通牒サレテ居ルヤウデアリマス、今ノ狀況デアルトスルナラバ、此ノ產繭確保ハ絕對ニ出來ナイ、斯様ニ私ハ信ズル者デア

リマス、今日此ノ繭ハ纖維資源ノ全クナナルモノデアリ、而モ此ノ東亞共榮圈ニ於ケル纖維資源トシテハ最モ重大ナルモノト思フノデアリマス、而モ只今マデノ繭ト云フモノハ、大體高級生絲ヲ製造スル、斯ウ云フコトニアツタノデアリマスガ、今日ノ所ハ短纖維トシテ所謂大衆向ノ纖維資源ト相成ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、斯様ナ最重要ナル所ノ此ノ絲ヲ採ル所謂產繭ヲ確保スルト云フコトニ於テハ、ドウシテモ値段ヲ今少シ是正スルニアラズンバ、是ハ絕對確保ハ出來ナイト云フコトヲ思フモノデアリマス、色々政府ニ於テモ事情ハゴザイマセウガ、此ノ場合思ヒ切ツテ此ノ値段ノ是正ヲ斷行サレンコトヲ希望スルモノデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居リマセウカ

○石黒政府委員 養蠶ノ最近ノ狀況其ノ他ニ照シマシテ、色々最近問題ガゴザイマス、今日ノ儘デハ御話ノ如ク或ル定量ノ生産ノ確保モ困難デハナイカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、業界ノ皆サン方ト共ニ私共モ色々考慮致シテ居ル點ゴザイマス、唯價格ノコトハドウスルカト御質問ニナリマシタモ、十分色々考究致シタイト云フコト以上ニハ御答ヘテ致シ兼ねマス

○野村委員 價格ニ付テハ次官ハドウモ答辯シキタイト云フコトデアリマス、成程之ニ付テハ農林大臣デナケレバ、責任アル御答辯ハ出來ナイト思ヒマス、此ノ問題ハ何レ大臣ノ御出席ヲ願ツテ御答辯ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ニ飼料對策ニ關スル件ヲ御尋ネ致シマス、只今米ノ自給自足ト云フヤウナ觀點カラ、玄米食或ハ二分搗キ、或ハ五分搗キト

云ツタヤウナコトニ、政府或ハ翼賛會ヲ以テ國民ニ呼ビ掛ケテ居ラレマス、洵ニ結構ナリト存ズルノデアリマス、之ニ依ツテ得ル所ノ節米ハ蓋シ數百萬石ニナルト思フノデアリマス、洵ニ是ハ機宜ニ適シタルモノデアラウカト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ問題ガ家畜ノ飼料ニ影響スルコトヲ又思ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、又是ガ却テ逆效果ヲ示ス場合ガナイデハナイカト云フコトモ亦心配サレルノデアリマス、只今家畜ノ飼料ト致シマシテハ、燕麥トカ、或ハ麥類、或ハ糠、斯ウ云フモノニ頼ツテ居ルノデアリマスケレドモ此ノ糠ガ全クナクナル、又減少スルコト云フコトニ依ツテ、或ハ麥ト云フモノヲ飼料トシテ用ヒルト云フコトニナルトカ、又ハ其ノ量ガ多量ニナリハシナイカ、左様致シマスナラバ折角自給自足ノ建前カラヤリマスコトガ、却テ逆效果ヲ示スコトニナルノデハナイカト云フコトヲ心配スルモノデアリマス、而モ次官ハ「ラジオ」ヲ通ジ、或ハ色々方面ニ於テ此ノ飼料對策ハ十分研究シテ居ル、立派ニ考ヘガアルト仰セラレテ居ルヤウデアリマス、此ノ場合は等ニ付テ具體的ニ御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 御話ノ如ク國民食糧ノ確保ノ諸施策ノ觀點カラソレガ延イテ飼料ニ及ンデ參ルト云フコトハ全ク左様ゴザイマシテ、其ノ間ノ關係ニ付キマシテハ私ノ方ト致シマシタモノ色々考慮致シテ居ル點ゴザイマス、併シナガラ之ニ對スル對策ト致シマシテハ、一面ニ於キマシテ滿洲、其ノ他ノ方面カラ努メテ輸送其ノ他ノ許ス限リ、又先方ノ供出ガ出來ル限リニ於キマシテ飼料用ノ農産物ノ流入ヲ圖ツテ、努メテ

其ノ數量ヲ多ク致ス、ソレカラ又國內ニ於キマシテモ色々ト飼料ニ使ヒ得ベクシテ、從來カラ必ズシモ十分使ハレテ居ラナイト云フヤウナモノヲ茲ニ動員致シマシテ、飼料ノ補填ヲ圖ル、又一面ニ於キマシテハ農家其ノ他ノ家畜ヲ養ハレル方面ニ於キマシテ、例ヘバ肥料ノ段々ニ窮屈化スルニ從ヒマシテ、自給肥料ノ増産ヲ圖ルト同ジヤウニ、飼料ノ方面ニ於テモ努メテ増産ヲ圖ツテ戴キ、尙且ツ足ラザル向キニ付キマシテハ、一口ニ家畜ト申シマシテモ大家畜、小家畜、又其ノ繁殖ニ付テモ相當ニ暇ノ掛ルモノト、比較的繁殖ノ容易ナモノガゴザイマス、斯ウ云フ家畜類ニ對シマシテ絕對繁殖ヲ必要トスルヤウナモノハ努メテ之ヲ育成シマスト同時ニ、比較的又繁殖ヲ回復シヨウト思ヘバ容易ニ出來ルヤウナモノニ對シテハ或ル程度此ノ際多少ノ制約ヲ致シマシテモ已ムラ得ナイト云フヤウナ風ニ、家畜ノ種類ニ依リマシテ是ガ保護育成ニテノ方針ヲ區別致シマシテ、最近ノ飼料ノ實情ニ即スルヤウニ措置シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○野村委員 成程外地カラ飼料ヲ輸入スル、又農民ノ自力ニ依ツテ之ヲ補フト云フ御話ガアリマスガ、唯私共ノ心配致シマスルノハ麥ノ問題デアリマス、先達テ政府カラ麥ノ供出ニ付テ非常ニ盛シニ縣ニ呼ビ掛ケラレ、縣ハ又縣農會ニ、又農會ハ農民ニ呼ビ掛ケテ供出ヲ要請シタノデアリマス、此ノ場合麥ガドウシテモ家畜ノ飼料トシテ之ヲ殘シテ置カナケレバナラナイ、斯ウ云フヤウナ譯合デ、ドウシテモ十分ナ麥ノ供出ヲ齎ツタ例ガアルノデアリマス、而モ其ノ飼料ガ愈、窮窟ニ相成ルト云フコトニナリマスルト、尙

ホ一層麥類ヲ飼料ニ消費スル、斯ウ云フ傾向ヲ生シデ來ハシナイカト思フノデアリマス、是等ノ事例ニ付テハ十分御當局ハ御承知ノ筈デアルト思ヒマスガ、此ノ點ハ十分ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス——木材ニ付テハ本日質問出來ナイ譯デスネ

○池田委員長 木材ハ食糧ノ關係トコンガラカリマスノデ、他日ニ御願ヒシマス

○野村委員 私人質問ハ是デ終リマス

○池田委員長 野村君ノ質問ハ濟ミマシタカラ豫テノ御通告順ニ依ツテ矢部君ノ發言ヲ許シマス

○矢部委員 只今マデ米價問題ヲ中心トシタ農業政策ニ付テ色々御話ガアツタノデスガ、私ハ直接ニ此ノ法案ニ關係シタ問題ニ付テ御質問申上ゲタイト思ヒマス、今度ノ農業保險ノ改正ノ一要點ハ保險金額ノ増額、是ガ中心ニナツテ色々政策ガ行ハレテ居ルノデスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、私共ハ多年農業團體ト致シマシテ要望シタ問題デアリマス、其ノ保險金額ノ値上ゲノ類ハ吾々ノ企圖シタ所ニハ達シナイノデアリマスケレドモ、兎ニ角農林當局ガ御骨折リニナツタコトニ對シテハ感謝ヲ致ス者デアリマス、只今マデ各同僚諸君ノ御話ニナツタ米價竝ニ主要食糧ノ價格ノ問題ハ此ノ保險ノ事業ニ大キナ關係ヲ持ツテ居ルト私ハ痛切ニ感ズルノデアリマス、若シモ政府當局ノ言ハル通り、米價ヲ中心トシタ農產物ノ價格ノ問題ガ、吾々ノ希望スル所ニ解決ガ得ラレナイト云フ事情ニアルトシタナラバ、此ノ保險事業ト云フモノハ益、強化シテ、サウシテ保險施設ニ依ツテ農民ガ受ケタ所ノ不慮ノ災難ニ付テ、其ノ經濟ヲ緩和シ、生活ヲ安定セシムルト云フコトニ將來

重點ヲ置クベキモノト思フノデアリマス、隨テ私ノ特ニ農林大臣ニ御尋ネ致シタイト思ヒマスコトハ、米價問題ト、米價ヲ中心トシタ農產物價問題ニ關聯シテ保險政策ヲ更ニ一段ト強化スル御考ヘガアルカドウカト云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

ソレカラ第二ノ問題ハ今度ノ改正ニ依リマシテ保險金ガ増額スル、隨テ保險料ヲ増加シナケレバナラス、然ルニ其ノ保險料ハ之ヲ農民ガ負擔スル——無論一部ハ國庫ノ負擔ニナルヤウニナツテ居リマスガ、農民ガ之ヲ負擔スルト云フコトニナルノデアアルカドウカ、之ヲ一ツハツキリ伺ヒタイト思フ、昨年保險料ノ値上ゲニ付テハ全國的ニ大キナ問題ヲ起シタコトハ御承知ノ通りデアリマス、若シモ保險金ガ上ツタガ爲ニ更ニ今度保險料ガ幾分デモ上ルト云フコトデアラナラバ、折角保險金ガ上ツテモ農民ニハ何等ノ恩恵ガナイト云フコトニナルノデゴザイマス、政府ハ此ノ保險料ノ増額ニ付テハ全部國庫ガ負擔ヲ致シマシテ、農民ニ更ニ負擔ヲ掛ケナイト云フ御方針デアアルカドウカ、其ノ點ヲ一ツハツキリ伺ヒタイト思フノデアリマス

○石黒政府委員 農業ノ發展、農家ノ生活改善、或ハ健全ナル農村ノ人口ト云フコトニ付キマシテハ、凡ユル方面カラ今後政府ト致シマシテ施策ヲ講ジテ参ラナケレバナラヌト存ジマス、其ノ一ツノ方法トシマシテ農業保險ノ制度ノ運営ノ如キモ、勿論重要ナ方策ト考ヘラレマス、其ノ意味ニ於キマシテ將來ニ互ツテ今度ノ制度ガ絕對ニ一番良イ方法デアルト云フヤウナコトハ、必ズシモ考ヘナイノデアリマシテ、將來更ニ

改善スベキモノガアレバ又改善モ加ヘテ行ツテ然ルベキモノト考ヘルノデアリマス、價格問題ニ致シマシテモ、是ハ勿論色々ヤハリ考慮研究ヲ遂ゲテ參ルベキモノト考ヘテ居リマス

所デ第二點ト致シマシテ、保險金ノ上ツタノニ付テ保險料ガ上ツタカドウカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ勿論其ノ保險金ノ上リマシタ割合ニ於テ保險料ガ上ツテ居ラナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、唯若シ現在ノ保險料ヨリモ絕對ニ上ラナイカト云フ御質問デゴザイマスレバ、是ハ何ト申シマシテモ保險金ノ割合ガ倍以上ニ上ツテ居リマス、之ニ對シマシテ政府ガ相當ニ助成ヲ致シテハ居リマスガ、又一面ニ於テ保險組合ノ保險制度ヲ一層其ノ基礎ヲ確實ニ致シマス爲ニ、御承知ノヤウニ被害ノ統計關係ナドモ相當ニ確カナモノニ致シテ居リマス、彼此レ致シマシテ、是ハ其ノ地方ノ狀況ニ應ジマシテ色々違フノデアリマスガ、從來カラ比較的掛金ノ少イト云フ方面ニ付テハ多少上ツテ參ル、又地方ニ依リマシテハ從來カラ非常ニ高イト云フヤウナ所ニ付テハ割合ニ上ラナイ、或ハ上ツテ居ラス、具體的ニハ能ク存ジマセヌガ、場合ニ依ツタラ下ルト云フヤウナコトモアルカモ存ジマセヌガ、兎ニモ角ニモ全般ニ均シテ申セバ、茲ニ是ダケ保險金ガ上リマシタシ、又保險制度ヲ一層確實ニ致シマス云フヤウナ關係——御承知ノヤウニ從來ノ此ノ保險制度ハ大體皆赤字續キニナツテ居リマス、是等ノ點ト關聯致シマシテ、多少上ルトコトハ已ムラ得ナイカト考ヘテ居リマス、尙ホ此ノ點ニ付キマシテハ農政局長カラ申上ゲルコトニ致シマス

○石井(英)政府委員 保險金額ノ引上ニ伴

ヒマシテ、各農會ノ負擔スル保險料ノ部分ガ現在ヨリモ増額サレカドウカ、斯ウ云フ御尋ネト考ヘマス、大體ノ結果ニ付キマシテハ、只今次官カラ御答辯ノアツタ通りデアリマスガ、御承知ノ通り各地域ニ互リマシテ、ソレノ料率ガ異ナリマスシ、今度改正ヲ實行致シマスニ付テハ、更ニ其ノ基礎タル被害ノ率ノ算定ノ期間ハ延長致シタイト考ヘテ居リマスノデ、實際ノ結果ニ於キマシテ各地方々々如何ナル結果ニナリマスカハ、モウ少シヤツテ見マセストハツキリ致サナイノデアリマス、隨テ個々ノ事例トシテ必ズドウナルカト云フコトヲ申上ゲルコトハ困難ナノデアリマス、大觀致シマシテ、多少現在ヨリモ上ルト云フコトニナルデヤナイカト考ヘテ居リマス、唯併シ今度ノ國庫負擔金ノ決定方法ハ、御承知ノ通り超過累進ノニナツテ居リマスノデ、比較的保險料ノ額ノ高イ所ハ國庫負擔金ノ率ガ多クナル、斯ウ云フヤリ方ヲシテ居リマスカラ、現在ヨリモ負擔ガ増ニナル部分ト云フモノハ合理的ニ均ラサレノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、先ヅ大局論トシテハ國庫負擔ト云フモノガゴザイマスクレドモ、尙且ツ幾分現在ヨリモ保險料ガ上ル所ガアル、斯ウ云フ風ニ御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○矢部委員 大體了解シマシタガ、此ノ保險料ノ問題ハ、額ハ今ノ所ノ御分リニナラヌト申サレカラ、批判ハ出來マセスノデスガ、其ノ額ニ依リマシテハ、相當實際問題ガアルト思フ、御承知ノ通り、昨年保險料ヲ全國的ニ値上シマシテ、從來ノ保險料ノ二倍乃至三倍ニ上ツタ所ガアル、其ノ際ニ農林當局ハ必ズ保險金ヲ此ノ次ノ議會ニ上

ゲルノデアアル、隨テ保險料ハ先ヅ以テ今度ハ上ゲナイノデアルト云フヤウナ御方針ヲ闡明シテ居ルヤウニ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、今度保險金ヲ上ゲタガ故ニ、又保險料ガ上ルト云フコトニナリマス、農業方面ニ色々問題ガ起ルデヤナイカト心配スルノデアリマス、此ノ點ハ實際ニ御決メニナル場合ニ於テハ、兎ニ角民間カラ徵集スル保險料ハ上ゲナイト云フ御方針デ御願ヒシタイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、殊ニ御承知ト思ヒマスガ、現在ノ農業保險ノ保險料ノ實際ノ拂込ハ、多ク農會ノ會費ニ於テ賄ツテ居ル町村ガ多イノデアリマス、而モ其ノ農會ノ經理ノ實體ヲ見マス、農會費ノ三割ハ保險料ニナツテ居ルノデアリマス、是レ以上保險料ヲ上ゲルト云フコトニナリマス、農會ノ經理ト云フコトニ非常困難ヲ來スト云フ實情ニアルト云フコトモ、一寸御含ミヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラ尙ホモウ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマスコトハ、此ノ改正ノ第一條ニ依リマシテ、今度強制加入ノ途ガ開ケル譯デアリマス、是亦農業團體方面ニ於テモ要望シタ問題デアリマスノデ、無論ハ結構ノコトデアリマスガ、唯實際問題ト致シマシテ、今マデ強制加入シナカツタ農會ハ、多クハ災害ガ多クテ保險料ガ非常ニ高イ村デアアル、或ハ殆ド災害ガナクテ農業保險ノ必要ヲ餘リ認メナカツタト云フヤウナ村ガ多ク殘ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ村ニ對シマシテ今度ハ強制的ニ加入ヲ命ズルト言ヒマシテモ、命令ヲ聽カバ宜イノデスガ、中々命令ヲ聽カナカツタト云フ場合ニハドウ云フ風ニ處置スルカ、此ノ法文ヲ見マスルト、

唯加入ヲ命ズルコトヲ得ト云フノト、ソレニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得ト云フダケデアアルノデアリマスガ、此ノ第一條ノ第一項並ニ第二項ノ末文ニ付キマシテ、モウ少シハツキリシタ御考ヘヲ此ノ際ニ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツ農政局長ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマスノハ、是ハ法文ニハアリマセヌガ、御承知ノ通り保險ヲ實際ニ運營スル場合ニ、異常災害ノ場合ニ、此ノ七割ハ所謂保險金トシテ聯合會カラ參リマスケレドモ、アトノ三割ト云フモノハドウシテモ郡ノ保險組合ガ負擔シナケレバナラス、其ノ三割負擔ノ爲ニ大キナ災害ノ際ニ、何處ノ組合モ困ツテ居ルト云フ實情デアアルノデアリマス、其ノ際ニ於キマシテハ、昨年、一昨年、其ノ前ノ年アタリニ大キナ災害ガアリマシタ場合ハ、各方面デ三割負擔ノ爲ニ惱ミマシテ、國庫助成ノ運動ヲシタ實例ガアルノデアリマスガ、アア云フコトヲ今後大災害ガアツタ場合ニ繰返スト云フコトハ、民間トシマシテモ、官トシマシテモ困ル問題ダト思ヒマス、之ヲ根本的ニ解決スル方法ハナイモノデゴザイマセウカ、異常災害ノ場合ハ全額國庫ニ於テ何トカ負擔スルト云フヤウナ方法ガナイモノデセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石井(英)政府委員 御尋ネノ點ニ御答ヘ申上ゲマス、前ニ保險料ノ引上ゲノ爲ニ生産者ノ負擔増ニナル關係ニ付テノ御希望ガゴザイマシタガ、ソレニ關聯シテ一言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、此ノ保險料ガ今回ノ國庫負擔ノ結果ニ依リマシテ尙且ツ多少ノ増額ヲスルカト云フコトハ、是ハ全般的ニ致シ方ノナイ關係ニナツテ居ルノデアリマス、唯コゴデ從來ノ沿革カラ考ヘマシテ改メテノ増額ト云フモノガ問題ニナルト云フ御事情ハ地方々々ニ依ツテ吾々モ諒承致スノデアリマスクレドモ、其ノ負擔増ノ程度ニ依リマシテ各農會ニ於カレテハ今度ノ改正ノ趣旨ヲ十分諒得セラレヤウナ方法ヲ講ジマシテ、多少ノ増額ニ付テドウスウト云フコトノナイヤウニ、農會方面トモ十分連絡ヲ取ツテ此ノ制度ガ圓滑ニ實行セラレマスヤウニ吾々トシテハ努力シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、唯實際問題ト致シマシテ、其ノ増額ノ程度如何ニ依リマシテハ、ソレノ地方ノ實情ヲ見テ適宜ノ措置ヲ講ズルト云フ、其ノ點ノ考慮ダケハ致スコトニ致シマシテ、大局的ニハ協力的ニ此ノ制度ヲ成立タセルコトニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレカラ町村農會ニ對シマスル強制ノ方法デアリマスガ、是ハ「命令ノ定ムル所ニ依リ」トゴザイマシテ、何レ之ニ關スル施行ノ關係法令ヲ出ス積リデ居ルノデアリマス、其ノ中デ明瞭ニ致シタイト考ヘテ居リマスルガ、大體吾々トシテハ其ノ命令ガアリマシタ場合ニ、市町村農會ガ共濟事業ヲ開始致シマセヌ場合ニハ、行政官廳ニ於テ共濟規定ト云フモノヲ作成致シマシテ、其ノ共濟事業開始ノ日ヲ指定シテ、之ヲ一般ニ告示スルコトニ致シマスルト、共濟規定ヲ作成致シマスレバ、其ノ規定ノ日カラ當然ニ共濟事業開始ト云フコトガ行ハレルヤウニ相成ルノデアリマス、法令上左様ナ措置ヲ執リマシテ、最後ノ締括リヲ付ケタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテモ吾々ノ方ト致シマシテハ、此

ノ趣旨ノ普及徹底ニ依リマシテ、豫テ農業團體側トシテハ、全國農民ノ全體的ナル共濟施設ヲ確立シヨウト云フ意味ニ於テ、此ノ強制規定ノ要望モアツタノデアリマスルカラ、其ノ根本ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、其ノ普及徹底ニ努メ、指導上ノ問題トシテ此ノ問題ヲ解決致シタイ、サウシテ此ノ強制命令ト云フヤウナコトニ至ルヤウナコトハ、極力之ヲ避ケテ参リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ保險組合聯合會ナリ、農業保險組合ナリノ自己ノ負擔ニ於テ始末シナケレバナラヌ部分ニ付テ、何等カ其ノ都度問題ノ起ラヌヤウナ方法ヲ講ズル餘地ガナイカ、斯ウ云フ御尋ネデアリマスルガ、此ノ點ハ今回ノ保險金額ノ引上げニ伴フ保險料ノ増加ニ依リマシテ、各組合ナリ聯合會ナリノ資金造成ノ幅ト云フモノガ非常ニ廣クナツテ参ルト考ヘルノデアリマス、隨テ其ノ被害發生ノ時期竝ニ頻度ニ依ツテ自ラ異リマスケレドモ、大局的ニ考ヘマスルト保險料ノ増額ガアリ、ソレニ對スル國庫ノ一部負擔ト云フモノガアルノデアリマスカラ、支拂ニ充ツベキ資金ヲ造成スル力ト云フモノハ今後ニ於テハ非常ニ増大スルノデハナカラウカ、又必ズ増大スルト云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、デアリマスカラ過去ニ於ケルガ如ク、災害ガ起リマシタ都度非常ニドウスウト云フコトハ、今後ニ於テハ從來ヨリモ減少シテ來ルデアラウト云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、御承知ノ通り從來ハ保險法制定直後カラ頻々ト非常ナ災害ヲ受ケマシタ爲ニ、アア云フ經理上ノ困難ヲ生ジタ譯デアリマス、アア云フ不幸ナ場合ニ於キマシテハ何トモ已ムヲ得ナイノデアリマスケレドモ、先ヅ

大體從來ノ被害狀態カラ考ヘマスケレバ、今回ノ制度ノ改正ニ依リマシテ相當資金造成ノ餘力ガ殖エテ參ル、隨テ從來ノ如キ困難ハ避ケルコトガ出來ルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先ヅ此ノ制度ニ依リマシテ實行致シ、其ノ經過ヲ見マシテ十分考ヘタイト思フノデアリマス

○矢部委員 最後ノ御答ヘニ付テ一寸私マダ吞込メナイノデスガ、寧ろ保險金額ノ増額ニ依リマシテ、非常ナ災害ガアツタ場合ニハ所謂不足金額ハ多クナルノデハナイカト思フ、サウ云フ結果ニナリマセヌデセウカ、今マデ米ニ例ヘテ見レバ二十圓ノ保險金デアツタモノガ、今度四十五圓、此ノ三割ノ不足額ト云フモノガ寧ろ多クナル、所謂赤字ノ支拂ニ一層悩ムノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ一寸農政局長ノ御話ト私ハ逆ナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマスノデ、此ノ點心配スルノデアリマス

○石井(英)政府委員 只今ノ御尋ネノ點ハ保險金額ガ増額サレテ居リマスルカラ、災害ガ起ツタ場合ニ支拂フベキ額ト云フモノハ從來ヨリモ殖エルコトハ當然御説ノ通りデアリマス、ソコデ此ノ改正ヲ實施致シマシテ、ドノ程度經ツテカラ左様ナ災害ガ起ツテ來ルダラウカト云フコトニ依リマシテ、自ラ組合ノ經理上困難ガアルカ、困難ガナイカト云フコトガ決マツテ參ル問題ト思フノデアリマス、理想的ナコトヲ申シマスレバ、玆ニ相當ナ基金ヲ積ンデ此ノ事業ヲ開始スレバ宜シイ譯デアリマスケレドモ、サウ云フコトデナクシテ、年々收入致シマスル保險料ヲ積立テテ、ソレニ依ツテ長イ間ノ災害ヲ均シテ共濟シテ行カウト云フコトデア

リマスカラ、此ノ制度ヲ改正致シマシテ直後ニ相當ノ被害ニ見舞ハレルト云フコトニナレバ、ソコニ非常ナ困難ガ生ズル、斯ウ云フ譯デアリマス、ケレドモ一方ニ於テ保險料收入ガ増大シテ參ル譯デアリマスカラ、其ノ災害ガ相當期間ヲ置イテ來ルコトニナリマスレバ、ソコニ從來ヨリモ餘力ガ殖エテ來ル、斯ウ云フコトニナラウト思フノデアリマス、尙ホ此ノ三割負擔ト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ農民ノ自主的ノ共濟ト云フコトヲ根本ノ趣旨ニ致シテ居ルノデアリマスカラ、生産者ノ方ノ負擔ト云フモノハ飽クマデモ存置シテ行クノガ適當デアラウ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岡本(馬)委員 本朝來委員各位カラ農村問題ニ付キ、殊ニ食糧問題ニ付キマシテ段々有效ナル御質疑ガアリマシタカラ、成ベク私ハ重複シナイ程度デ當局ノ御意見ノアル所ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、農業保險ヲ制定致シマシタノガ昭和十三年デ、丁度四箇年ト云フモノヲ實施シタノデアリマス、偕テ其ノ實施致シマシタ跡ヲ公平ニ冷靜ニ考ヘテ見ル必要ガ先ヅ以テアルト私ハ思フノデアリマス、固ヨリ斯ウ云フ新規ノ仕事ヲ目論ミマシテヤルコトニ付キマシテハ、勿論政府ト致シマシテモ、又地方ノ私共ト致シマシテモ見透シノ付カナイコトハ是ハ當然デアリマス、併シナガラ私共ハ農業指導ニ三十有餘年間終始一貫參畫シテ居ル者デアリマスガ、農業保險制度ガ出來マシテ、其ノ後我ガ縣内ノ農業者ヲ農業保險組合ニ加入スルニ非常ナル苦心ヲシタノデアリマス、私ハ今マデ農業指導ヲ致シマシテ色々ナ問題ヲ擔當シテ指導致シマシタガ、農業

保險位加入ニ困難ヲシタコトハアリマセヌ固ヨリ現行制度ハ吾々ガ農業保險ヲ制定スル最モ重點ニ遠ザカツタ關係モアリマセウ、殊ニ其ノ内容ヲ一々申上ゲマスコトハ避ケマスガ、不備ナ點、或ハ遺憾ナ點ガ澤山アリマス、併シナガラ今回ノ改正ニ依リマシテソレ等ノ不備ノ點、缺陷ノ點ヲ十分ニ政府ノ御當局ハ慎重ニ御研究下サイマシテ、或ル程度ノ調節ヲシ、或ル程度ノ緩和ヲ圖ラレマシタカラ、今後ノ農業保險ノ運営ハ從來ヨリハ相當農民ハ關心ヲ持ツモノト私ハ確信スル一人デアリマス、併シナガラ玆ニ特ニ當局ノ御意見ヲ伺ツテ置キタイノハ、桑ヲ對象トスル保險ノ問題デアリマス、桑ハ御承知ノ通り桑其ノモノヲ對象トシテ養蠶ガ飼育シ經營ヲスルモノデアリマセヌノデ、其ノ桑ノ葉ヲ蠶ニ食ハシテ、蠶ガ繭ヲ成形シ、其ノ繭ガ初メテ市場價值ガアルノデアリマス、桑其ノモノヲ對象トスル保險ハ今日ノ時代トシタラ最早後レテ居ルノデハナイカト私ハ思フ、言ヒ換ヘテ見レバ、蠶作ヲ對象トスルモノニ仕向ケナクテハナラヌデヤナイカト私ハ痛切ニ考ヘル一人デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、過グル十三年ノ法案ヲ提出サレタ場合ニ於キマシテ、慥カ七十三議會ダト思ヒマスガ、其ノ時分ニハ養蠶業ニ相當造詣ガアリ經驗ノアル議員諸君カラ、桑其ノモノヲ對象トスル保險ヨリハ、蠶作ヲ對象トシタ保險ニシテハドウカト云フ強イ要望ガアツタト私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、所デ今回ノ提案モ私ハ必ズヤ政府御當局ハ桑ヲ對象トスル保險デナクシテ、蠶作ヲ目標トスル保險ニ致シテ提案セラレルモノダト云フヤウニ心算カニ期待シテ居ツタノデアリマス、ソ

レガ反スルヤウナコトニナツテ居リマス、勿論今回ノ改正案ハ、桑ノ損害評價ガ十圓ノモノガ二十圓ニ上リマシカラ、是ハ相當養蠶家ノ經營ヲ安定スル譯デアリマスケレドモ、元來之ヲ能ク仔細ニ檢討致シマス、桑其ノモノノ損害評價ハ極メテ困難デアリマス、私ハ實際縣ノ會長トシテ桑ノ凍害ノ損害ノ調査ト云フモノハ實ニ困難ナモノダト思ヒマス、困難ナ點ガアルカラ茲ニ色々損害評價ヲシテ政府ニ要望シ、聯合會ガ處理スル上ニ於テ非常ナ困難性ガアルノデアリマス、政府ニ於カレマシテモ保險ノ赤字ハ必ズヤ桑ノ凍害ニ罹ル損害評價ガ多大原因ヲシテ居ルト私ハ信ズル者デアリマス、此ノ點ニ付テ御當局ハドウ考ヘルカ、之ヲ先ヅ承ツテ置キタイ、ソレカラ序デニ申シマスガ、最早蠶作ヲ對象トスル保險ニ仕向ケテ行カネバナラスト云フ實情ニ迫ツテ居リマスルコトハ御存ジノ通りデアリマス、蠶絲、養蠶業ノ問題ハ總テ終始一貫統制シマシタ、御承知ノ通り蠶絲ノ統制、產繭ノ總テノ計畫指導ニ依リ其ノ產繭ハ處理統制シテヤルト云フヤウニ一大革新セラレタ、是ハ勿論御當局ガ熱心ニ二、三年間努力セラレタ結果デ、洵ニアア云フヤウナ機構ニ一貫シタト云フコトヲ私ハ非常ニ喜ブ一人デアリマス、此ノ統制機關ガピツタリト出來マシタ以上ハ、蠶作ニ對スル損害評價ハ其ノ機關ヲ通ジテヤルノハ容易ニ出來ルト思ヒマス、寧ロ私ニ言ハセレバ桑ノ凍害ノ損害評價ヨリハ、蠶作ノ損害評價ノ方ガ容易ニ出來得ルト私ハ確信シマス、若シ御當局ガ蠶作ニ向ツテ農業保險ヲ今後運營スルト云フ目標ニ御變ヘ下サルナラバ、保險金ノ掛金ニ於キマシテモ、現在改正法案

ノ内容ニ付キマシテモ、日本蠶糸統制株式會社カラ受入レテ保險金ノ一部ヲ負擔サスト云フコトニナツテ居リマス、又日本蠶糸統制株式會社ハ違作ニ對スル補償制度ト云フヤウナモノヲ拵ヘテ、團體ノ方ヘ流シテヤルト云フコトモアルノデス、サウ云フヤウナモノヲ總テ纏メマシテ、違作ニ對スル損害ノ補償ト云フヤウナ金モ、桑ニ對スル保險ノ收入金モ皆合ハシテ保險組合ニ一貫シタモノニシテヤルナラバ、左程保險金ハ高ク上ゲズシテ、運營ニ支障ノナイ都合ノ宜イモノニナリハセヌカト私ハ確信シテ居リマス、若シ幸ニ御當局ガ今後ニ於キマシテ桑ヲ對象トセズシテ、此ノ蠶作ヲ對象トシテ保險運營ヲ仕向ケテ行クト云フヤウナ氣持ニナレバ、養蠶家ハ洵ニ喜ンデ満足スルモノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、斯様ナコトハ甚ダ失禮デスケレドモ、實際私共ハ始終縣内ニ居リマシテ、其ノ問題ニ當面致シマシテ苦シンデ居ル次第デアリマス故ニ、私共ノ意思ノアル所ヲ十分御察味御研究下サイマシテ、出來得ル限り蠶作ニ向ツテ保險制度ヲ進展セシムルト云フヤウナコトニ仕向ケテ戴キタイノデアリマスガ、先ヅ以テ當局者ノ御意見ヲ十分ニ承ツテ置キタイト存ジマス

○石井(英)政府委員 只今ノ御意見ノ點、御趣旨ハ能ク諒承ヲ致シマシタ、桑ダケノ保險ト云フコトデハ、養蠶ト云フモノニ對スル共濟制度トシテ考ヘテ見タナラバ、途中デ止マツテ居ル制度デハナイカ、更ニ突進シテ蠶作ト云フモノヲ對象ニシテノ共濟的ノ制度ト云フモノヲ考フベキデハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ニ付キマシテハ吾々モ全く御同感ニ考ヘテ居ルノデアリマス、養蠶ノ立場カラ申シマスルナラバ、桑ノ保險ノミナラズ、蠶作ト云フモノニ付テ共濟的ノ制度ヲ必要トスルコトハ其ノ通りト考ヘルノデアリマス、只今御話ノ中ニモアリマシタ通り、日本蠶絲統制株式會社ハ此ノ蠶作補償ト云フヤウナ意味ニ於テノ經費ノ一部ヲ出シテ居ル譯デアリマス、アノ制度ヲ、蠶作補償ト云フ意味ニ於テ制度的ニモウ少シツカリシタモノニスルト云フコトノ必要、ソレト此ノ農業保險ト云フモノヲ嚙合セテ適當ナ制度ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フ點ハ吾々トシテハ今後十分考ヘテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス、唯其ノ場合ニ於テ吾々トシテ考ヘナケレバナラス點ハ、此ノ農業保險ハ御承知ノ通り自然災害ニ對スル保險ト云フコトヲ根本ノ趣旨ニ致シテ居ル譯デアリマスガ、蠶作ニ對スル共濟ナリ、保險ナリト云フコトニナリマスルコト、ソコニ蠶種ニ基因シテ不作ガ生ジタルモノナリヤ、或ハ飼育上ノ技術ニ關聯シテ左様ナ違作ヲ生ジタルモノナリヤト云フヤウナ點ニ付テ、之ヲ制度的ニ固メマスカ場合ニマダ研究ノ盡シテ居ラヌ部分ガ非常ニ多イノデアリマス、デアリマスカラ、蠶作ヲ對象トスル共濟事業ヲ實行スル場合ニ於テ、之ヲ農業保險ノ對象トシテ取扱フガ宜シイカ、或ハ桑葉ノ保險ト云フモノヲモ含メテ蠶作ノ共濟制度トシテ又別途ノ趣旨ニ於テ固メルノガ宜シイカト云フヤウナ點ニ付テモ、今後十分研究ヲ致シテ見ナケレバナラス、左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ御趣旨ニ付キマシテハ此ノ蠶作ヲ對象トスル共濟制度ノ確立ト云フコトニ付テハ、十分研究ヲシテ適當ナ方法ヲ考ヘテ見タイ、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス

○岡本(馬)委員 幸ヒニ蠶作ヲ對象トシテ今後ノ養蠶業ノ振興ヲ圖ツテ見タイト云フ當局ノ御熱意ノアルコトニ付キマシテハ私ハ感謝致シマスガ、要ハ從來ノ養蠶絲、養蠶業ノ振興致シテ參リマシタ今日マデノ道程ヲ靜カニ考ヘテ見マスレバ、政府ニ於カレマシテモソレノ技術者ナリ、指導者ナリガ終始一貫專門的ニ研究シテ居リマスカラ、資料ハ相當澤山アラウト私ハ思ヒマス、又民間ニ於キマシテモ、ソレノ技術者ナリ、指導者ナリガ專門的ニ研究シテ居ラレハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウナ識見者ガアツテ、シツクリト御研究下サレバ、私ハ斯ウ云フ問題ハ容易ニ解決ノ出來得ルモノダト思ヒマス、サウ云フコトヲ特ニ御聽取ヲ願ヒタイ、質問ハソレデ大體打切りタイト思ヒマスガ、此ノ際特ニ食糧關係ニ付キマシテ誰モマダ御質問シテ居ラスヤウデアリマスカラ、簡單ニモウ一ツ御尋シテ置キタイ、多年問題デアリマシタ、農業諸團體モ今回統合ノ機運ガ醸成致シマシタコトハ、私ハ國家ノ爲ニ頗ル慶賀ニ堪ヘヌ次第デアリマス、此ノ農業團體ヲ統合致シマシテ、今後ノ實際ノ仕事ヲ運營セシムルニ於テハ容易ナラザルモノガ多アルト思ヒマスガ、就中會計經理ノコトニ付キマシテ、一言當局ノ意ノアル所ヲ御聽キシテ置キタイト存ジマス、元來農會方面ハ大部分ノ金ガ國庫ノ助成、縣費ノ助成ニ依リマシテ指導ヲ擔任シテ居リマス、大部分今日ノ各府縣ノ農會ト云フモノハ、斯様ナ經理ニ依ツテ指導ヲシテ居リマス、併シナガラ農會ノ指導部面ニ對スル所ノ不足額ヲ全部各府縣ノ貸貸價格ニ依ツテ徵收シテ居ルト

云フコトハ御存ジノ通りデアリマス、所デ農業會トナリマシテ、指導部、經濟部ト或ル程度ノ部署ヲ分ケマシテ一體化スル指導ニハナラウト存ジマスルガ、此ノ經濟、會計ト云フ方面ニ付キマシテ考ヘテ見マスト、今後一層考ヘル必要ガアルト申シマス

本日此ノ機會ニ於キマシテ一應御意見ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○石黒政府委員 只今ノ御話洵ニ御尤モデゴザイマシテ、現在ニ於テ蔬菜或ハ更ニ果物ト云フヤウナ方面ガ非常ニ收益關係モ宜シイ、サウ云フ關係ノ下ニ於キマシテ團體ノ經費等ノ負擔關係ニモ之ヲ織込ダラドウカト云フ御話 實ハ今ノ御話ト全然同様デハゴザイマセヌケレドモ、大體ノ根本的趣旨ニ於テハ同ジヤウナコトモ私共實ハ色々考ヘテ居リマスノデ、尙ホ今ノ御話ノ點モ十分採リ入レマシテ今後運營ニ付テノ處置ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

○岡本(馬)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○池田委員長 ソレデハ御通告ニ依ツテ松岡秀夫君

○松岡(秀)委員 私人質問致シタイト云フ一點ハ前質問者ニ依ツテ大體質問サレテ居リマスカラ、簡明ニ致シマス、只今農林省當局ノ御答辯ニ依リマスルト、米價ノ改訂ハ絕對罷リナラス、繭ノ價格ハ引上ゲナイト云フコトヲ御答辯ナサツテ居リマスルガ、此ノ聲ヲ聞キマスルト、農民ハ非常ニ落膽スルノデハナイカト考ヘラレマス、常ニ農林御當局ノ米價、繭ニ對スル御意見ヲ承ルト現狀維持ト云フコトニ決マツテ居ルノデアリマス、是デハ米ノ生産増強、繭ノ生産増強ト云フコトニハ非常ニ支障ノアルコトト存ズルノデアリマス、若シ農民ダケニ精神昂揚ヲ以テ増産ニ當レト云フコトデアツタナラバ、是ハ他ノ業者ニ對シテモサウ云フヤウナ觀念ヲ以テ臨マナケレバナラスト、斯ウ考ヘラレマス、然ルニ吾々ノ作ツテ居リマス繭、米ハ或ル限度ニ止メラレテ

置キマシテ、吾々ガ使用スル所ノ物資ニ對シマシテハ、原價計算ヲ以テ逐年引上ゲラレマシテ、其ノ物價指數ニ於テモ見ラレル通り、米價ナルモノハ一番最低位ニ置カレテ居ルコトハ明カナコトデアリマス、先程農林當局ノ御答辯ニ依リマス、他ノ物價ト配合セト云フコトガアリマシタガ、他ノ物價ガ指數ヲ以テ現ハスナラバ、米ノ指數ヨリモ上ツテ居ルト云フコトニナレバ、ヤハリソレマデ持ツテ行クコトハ當然ノ理窟デハナイカト思フノデアリマス、又米ト他ノ農產物トノ釣合ニ於キマシテモ非常ニ格差ガアルノデアリマス、此ノ格差ガアルト云フコトハ、即チ公定價格ヲ御決定ナサル所ノ時期ガ異ツテ居ルト云フコトデハナイカト思フ、米ハ數年前ニ決定サレタ公定價格ニ依リ、又蔬菜ノ如キハ最近ニ於テ決定サレタ公定價格ニ依ルモノデアリマシテ、米作ヲ厭ツテ蔬菜ノ方ヘ行クト云フヤウナ傾キガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテヤハリ同ジ農作物關係ニ於キマスル價格ニ於キマシテモ、時期ヲ一定シテ公定價格ヲ御決定ナサル御意思アリヤナシヤ、是ガ一ツデアリマス、尙ホ此ノ價格問題ニ關聯致シマシテ、最近統制會社ノ設立ガ相當アルヤウデアリマス、曩ニハ日本蠶糸統制會社ノ設立ヲ見、只今デハ米ニ對シマシテハ食糧營團ナルモノガ設立サレテ居リマス、サウシテ蠶糸統制會社ニ於キマスル手數料ヲ見マスルト、十貫ノ生絲ニ對シマスル手數料ハ百五十二圓ト聞イテ居リマスガ、昭和十七年度ニ於キマスル同統制會社ガ儲ケタ金ガ大體資本金ト同額ニナツテ居ルト云フヤウナ莫大ナル儲ケ方ヲヤツテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトガ農

民ノ心理狀態ニ及ボス影響ガドレ位強イカト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカ若シ又御考ヘニナツテ居ルトスレバ、蠶糸統制會社ノ手數料百五十二圓ヲ壓縮致シマシテ、之ヲ農民ニ還元スル御意思アリヤナシヤ、是ハ會社ニ關スルコトデアリマスカラ、會社ガシナイト言ヘバソレマデダト仰シヤルカモ知レマセヌガ、農林御當局ノ御指圖ニ依ツテ是ハドウニカナルノデハナイカト考ヘラレマス、尙ホ私ハ繭ノ値ヲ上ゲテ呉レト云フコトヨリモ、サウ云フ農家ニ還元シテヤルト云フコトニ依ツテ、繭ノ値ガ引上ゲラレテ行クノデハナイカト考ヘラレマス、尙ホ繭ノ檢定方法ニ付キマシテ非常ニ矛盾ガ多イノデアリマシテ、繭ノ檢定方法ニ於キマスル價格決定ハ、大體ニ於テ絲量デ行クヤウデアリマス、併シ現在ニ於キマシテハ其ノ副產物タル副蠶絲及ビ蠅ノ價格ト云フモノガ非常ニ加ヘラレテ來テ居リマス、是ハ誰ガ儲ケルカト言ヘバ、是ハ要スルニ製絲家ガ儲ケテ居ル、絲量デ取引サレテ、其ノ副產物ニ付テノ割戻シガ農民ニナイト云フコトハ、是ハ繭檢定方法ノ誤リデハナイカ、此ノ繭檢定方法ノ改正ヲ要スルカ、ドウカ、檢定方法ヲ改正致シマシテ、繭ノ價格ガ上ゲラレナイトスレバ、其ノ方面デ農民ニ割戻シヲスルト云フヤウナコトハ出來ナイモノデアアルカドウカト云フコトデアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイノハ、農民ガ現在マデ死力ヲ盡シテ戰ヒ、即チ耕作ニ從事シテ居ルト云フコトハ、全ク涙グマシイコトデアリマス、此ノ反面ニ於キマシテ、農民ガ使用シテ居ル資材ト致シマス、所謂日常使用スル所ノ勞働服ノ如キハ、洵ニ配給ガ

ノ經濟ト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、農家ノ農產物價格、全體カラ眺メテ見マスルト、米麥ヨリハ蔬菜、園藝方面ニ力ヲ入レ、又サウ云フ地帯ノモノガ相當收入ガ多イノデアリマス、收入ノ多イ農業者ハ現在負擔ガ非常ニ輕クナツテ居リマス賃賃價格ノ低イ、詰リ畦畔地帯、山間地帯ヲ開墾シタモノニ園藝地帯トシテ織込シテ居ルモノガ多イノデアリマス、サウ云フ所ハ園藝ニシテモ、蔬菜ニシテモ、農會ト致シマシテハ園藝指導ハドンドンヤツテ居ルガ、費用ハ比較的徴收シテ居ラス、斯ウ云フコトカラ眺メテ見マスト、今後ノ農業會ハ賃賃價格ニ依ツテ一部ハ負擔サスガ農產物ノ供出ニ依ル販賣斡旋ノ價格ノ一部分ヲ指導費ニ織込シテヤルト云フコトガ極メテ必要ダト思フ、サウ云フコトヲ私ハ常々仕事ヲ取扱ツテ居ル所カラ考ヘテ、又今日ノ農家經濟全體カラ考ヘテ見マシテ特ニ痛切ニ感ジテ居ル者デアリマス、定メシ當局ニ於カレマシテモ其ノ點ハ十分御考慮下サツテ居ルト存ジマスガ、幸ヒニ

○岡本(馬)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○池田委員長 ソレデハ御通告ニ依ツテ松岡秀夫君

○松岡(秀)委員 私人質問致シタイト云フ一點ハ前質問者ニ依ツテ大體質問サレテ居リマスカラ、簡明ニ致シマス、只今農林省當局ノ御答辯ニ依リマスルト、米價ノ改訂ハ絕對罷リナラス、繭ノ價格ハ引上ゲナイト云フコトヲ御答辯ナサツテ居リマスルガ、此ノ聲ヲ聞キマスルト、農民ハ非常ニ落膽スルノデハナイカト考ヘラレマス、常ニ農林御當局ノ米價、繭ニ對スル御意見ヲ承ルト現狀維持ト云フコトニ決マツテ居ルノデアリマス、是デハ米ノ生産増強、繭ノ生産増強ト云フコトニハ非常ニ支障ノアルコトト存ズルノデアリマス、若シ農民ダケニ精神昂揚ヲ以テ増産ニ當レト云フコトデアツタナラバ、是ハ他ノ業者ニ對シテモサウ云フヤウナ觀念ヲ以テ臨マナケレバナラスト、斯ウ考ヘラレマス、然ルニ吾々ノ作ツテ居リマス繭、米ハ或ル限度ニ止メラレテ

置キマシテ、吾々ガ使用スル所ノ物資ニ對シマシテハ、原價計算ヲ以テ逐年引上ゲラレマシテ、其ノ物價指數ニ於テモ見ラレル通り、米價ナルモノハ一番最低位ニ置カレテ居ルコトハ明カナコトデアリマス、先程農林當局ノ御答辯ニ依リマス、他ノ物價ト配合セト云フコトガアリマシタガ、他ノ物價ガ指數ヲ以テ現ハスナラバ、米ノ指數ヨリモ上ツテ居ルト云フコトニナレバ、ヤハリソレマデ持ツテ行クコトハ當然ノ理窟デハナイカト思フノデアリマス、又米ト他ノ農產物トノ釣合ニ於キマシテモ非常ニ格差ガアルノデアリマス、此ノ格差ガアルト云フコトハ、即チ公定價格ヲ御決定ナサル所ノ時期ガ異ツテ居ルト云フコトデハナイカト思フ、米ハ數年前ニ決定サレタ公定價格ニ依リ、又蔬菜ノ如キハ最近ニ於テ決定サレタ公定價格ニ依ルモノデアリマシテ、米作ヲ厭ツテ蔬菜ノ方ヘ行クト云フヤウナ傾キガアルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテヤハリ同ジ農作物關係ニ於キマスル價格ニ於キマシテモ、時期ヲ一定シテ公定價格ヲ御決定ナサル御意思アリヤナシヤ、是ガ一ツデアリマス、尙ホ此ノ價格問題ニ關聯致シマシテ、最近統制會社ノ設立ガ相當アルヤウデアリマス、曩ニハ日本蠶糸統制會社ノ設立ヲ見、只今デハ米ニ對シマシテハ食糧營團ナルモノガ設立サレテ居リマス、サウシテ蠶糸統制會社ニ於キマスル手數料ヲ見マスルト、十貫ノ生絲ニ對シマスル手數料ハ百五十二圓ト聞イテ居リマスガ、昭和十七年度ニ於キマスル同統制會社ガ儲ケタ金ガ大體資本金ト同額ニナツテ居ルト云フヤウナ莫大ナル儲ケ方ヲヤツテ居リマス、斯ウ云フヤウナコトガ農

民ノ心理狀態ニ及ボス影響ガドレ位強イカト云フコトヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカ若シ又御考ヘニナツテ居ルトスレバ、蠶糸統制會社ノ手數料百五十二圓ヲ壓縮致シマシテ、之ヲ農民ニ還元スル御意思アリヤナシヤ、是ハ會社ニ關スルコトデアリマスカラ、會社ガシナイト言ヘバソレマデダト仰シヤルカモ知レマセヌガ、農林御當局ノ御指圖ニ依ツテ是ハドウニカナルノデハナイカト考ヘラレマス、尙ホ私ハ繭ノ値ヲ上ゲテ呉レト云フコトヨリモ、サウ云フ農家ニ還元シテヤルト云フコトニ依ツテ、繭ノ値ガ引上ゲラレテ行クノデハナイカト考ヘラレマス、尙ホ繭ノ檢定方法ニ付キマシテ非常ニ矛盾ガ多イノデアリマシテ、繭ノ檢定方法ニ於キマスル價格決定ハ、大體ニ於テ絲量デ行クヤウデアリマス、併シ現在ニ於キマシテハ其ノ副產物タル副蠶絲及ビ蠅ノ價格ト云フモノガ非常ニ加ヘラレテ來テ居リマス、是ハ誰ガ儲ケルカト言ヘバ、是ハ要スルニ製絲家ガ儲ケテ居ル、絲量デ取引サレテ、其ノ副產物ニ付テノ割戻シガ農民ニナイト云フコトハ、是ハ繭檢定方法ノ誤リデハナイカ、此ノ繭檢定方法ノ改正ヲ要スルカ、ドウカ、檢定方法ヲ改正致シマシテ、繭ノ價格ガ上ゲラレナイトスレバ、其ノ方面デ農民ニ割戻シヲスルト云フヤウナコトハ出來ナイモノデアアルカドウカト云フコトデアリマス

次ニ御伺ヒ致シタイノハ、農民ガ現在マデ死力ヲ盡シテ戰ヒ、即チ耕作ニ從事シテ居ルト云フコトハ、全ク涙グマシイコトデアリマス、此ノ反面ニ於キマシテ、農民ガ使用シテ居ル資材ト致シマス、所謂日常使用スル所ノ勞働服ノ如キハ、洵ニ配給ガ

貧弱デアリマス、例へば地下足袋ニ致シマシテモ、勞働服ニ致シマシテモ、モウ既ニ使用スルコトが出来ナイマデニ立至ツテ居リマス、然ルニ是等ノ配給ノ昨年度カラ點數ヲ以テ制限サレマス結果、非常ナル苦痛ガアルノダラウト思ヒマス、又價格ガ非常ニ高イ爲ニ手ニ入ラス、今マデノ米、爾ヲ賣ツテ居ツタ値段カラ致シマス、相當高イ、是等ヲ入手スル爲ニ非常ニ高イ金ヲ出サナケレバナラヌト云フコトデ、農民ノ今着テ居リマス作業服ナルモノハ、モウ使用ニ堪ヘナイ程度ニ行ツテ居リマスケレドモ、ソレデモ我慢シテ居ルノデアリマスカラ、出來ルダケ之ヲ早く補給シテヤツテ、氣分的ニモ農耕ニ從事サセルヤウニシテ戴キタイ、是ハ其ノ次ノ點デアリマス

尙ホ現在ニ於キマスル玄米食ノ獎勵ノ結果、家畜ニ對スル飼料ガ漸減シテ參リマシタ、即チ軍用保護馬等ニ於キマスル榮養ガ段々行届カナクナツテ參リマシタ、此ノ軍用保護馬ノ飼育ト云フコトニ付キマシテハ、農民ガ本當ニ注意ヲ怠ラズニヤツテ居ルノデアリマス、其ノ飼料ガナクナツテ行ク爲ニ、馬ハ段々瘠セテ參リマス、又此ノ乳牛ノ乳ノ出ガ惡クナルト云フ結果モ出テ來ハシナイカト憂フル者デアリマス、ソコデ私ハ玄米食ヲ獎勵シテ、玄米ニ依ル蛋白ヲ攝ルカ、家畜ヲ通シテ蛋白ヲ攝ルカ、何レガ效果のナリヤト云フコトニ付キマシテ御伺ヒシタイノデアリマス

次ニ農業保險ニ付キマシテ、是ハ本問題デアリマス、特ニ御質問致シタイト思フノデアリマス、保險ノ契約ニ付キマシテ、相當多額ノ契約ヲ致シマスルガ、昨年アタリノ實情ヲ見マスルト、契約金ダケ保險組

合ガ支拂ツテ居リマセヌ、サウシテ農林省カラ補助ヲ貰ツテ、幾分カ保險組合ガ湊金ヲ出シタ程度デアリマシテ、契約ノ全額ヲ支拂ツテ居ナイ爲ニ、農民ハ農業保險ニ對シマシテガツカリシテ居ルヤウナ狀態デアリマス、デアリマス、農業保險ト云フモノハ、是ハ單ニ組合デ經營サセズシテ、將來ハ國營ニデモシテ、契約金額ダケハ支拂ヒノ出來ルヤウニナサルカドウカ、此ノ點デアリマス、以上

○石黒政府委員 度々申上ゲマサユウニ、農産物價ノ問題ハ現在農政問題ト致シマシテ、最モ吾々トシテ苦慮致シテ居ル所デアリマス、農村方面ニ於キマシテモ、隨分喧マシイ問題ノヤウデアリマス、殊ニ是ガ當面ノ公定價格制度ノ下ニ於キマシテハ、吾々ガ責任ヲ以テ色々ト決メル譯デアリマス、吾々ノ方ガ寧ろ一層苦慮シテ居ルカト思フ位ニ苦慮致シテ居ルノデアリマス、今後モ色々ナ點カラ善處シテ參リタイト思フノデアリマス、全般的ナ關係ニ付テ今申上ゲルノハ差控ヘマス、唯個々ノ物資ノ値段ヲ上ゲルカ下ゲルカト云フ御質問ニ對シマシテハ、甚ダ不本意デアリマスケレドモ、要スルニ上ゲナイト云フコトヲ御答ヘスルノ外ハアリマセヌ、爾ノ價格問題ナドニ付キマシテモ、最近ノ色々ナ生産關係トカ色色ナコトニ付テ其ノ問題ノアルコトモ能ク承知致シテ居リマス、上ゲルカ上ゲナイカト云フ御質問デアレバ上ゲル考ヘハナイト云フコトヲ御答ヘスル外ハアリマセヌ、統制會社ノ手數料ヲ十貫百五十二圓取ツテ居ルト云フ御話デアリマス、是ハ統制會社ヲ作リマシテ蠶絲關係ノ統制ヲ致シマシタ時ニ、是ハ御承知ノヤウニ日米今日ノ如

キ關係ニ立到ル虞ヲ考慮致シマシテ、豫メ蠶絲全般ニ互リマシテ統制ヲ執ツタノデアリマシテ、當時ノ考ヘ方ト致シマシテハ、兎ニ角全般ノ統制ヲ執ツテ、萬一從來日本ノ蠶絲業ガ殆ド全面的ニ依存シテ居ツタ所ノ對米輸出ガ止ルヤウナコトガアリマシテモ、蠶絲業全般トシテ何等動搖ヲ來サナイト云フヤウナコトヲ致シマス爲ニ、アア云フ制度ヲ執ツタノデアリマス、サウシテ萬一ノ將來ニ備ヘル爲ニ絲價ノ安定ノ資金ヲ生ミ出サウト云フノデ、當時蠶絲ノ經營ノ狀態或ハ製絲業經營ノ狀態、其ノ他ヲ勘案致シマシテ、茲ニ百五十二圓デアリマシタカ、大體サウ云フ程度ノ金ヲ蠶絲業全體ノ謂ハバ共同資金トシテ積立テ、サウシテ絲價ノ安定ノ資金ニスルト云フコトデ、是ハ蠶絲統制會社ガ謂ハバ預ツテ居ル金デアリマス、サウ云フ關係デアリマス、此ノ資金ハ會社ト致シマシテ何等收益トシテ課稅ヲ受ケテ居リマセヌ、稅モ拂ハズニ、業界全般ノ爲ニ御預リシタ金トシテ積立テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、決シテ斯ウ云フ差額ノ全部ヲ手數料トシテ取得シテ居ルト云フ關係デハナイノデアリマス、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒマス、之ヲ還元スルカドウカト云フヤウナ御質問ニ對シマシテハ、既ニ積立テタルモノニ付テハ其ノ本來ノ資金ノ用途ニ向ツテ將來業界全般ノ爲ニ適當ニ之ヲ利用シテ行クベキモノダラウト考ヘマス

繭ノ檢定方法ヲ例ヘバ繭ノ關係トカ、色色ナコトカラ改正セヌカドウカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、繭檢定方法ト云フモノハ繭ノ本來ノ用途ニ向ツテ或ル種ノ標準ヲ立テテ檢定ヲ致スノガ根本趣旨デアリマス

〔委員長退席、泉委員長代理着席〕

左様ナ觀點カラ、例へば最近用途ノ殖エマシタ短纖維等ニ付テハ切歩檢定ヲヤルト云フヤウニ致シテ居リマス、現在ノ制度ガ必ズ永久ニ一定不變デナケレバナラヌト云フヤウナモノデハナイノデアリマシテ、用途其ノ他ニ應ジテ適宜改善スベキモノハ改善シテ參ルベキダラウト思ヒマス、是ハ繭ノ値段ト云フヤウナ問題ヨリ、寧ろ是ハ繭全體ノ價格ノ問題カトモ思フノデアリマス、今後モ養蠶ノ實情其ノ他ニ應ジテ十分研究致シテ參リタイトハ思ツテ居リマス

ソレカラ勞働着或ハ地下足袋等ノ配給ヲ十分ニシロト云フ御話デアリマシタガ、是ハ御承知ノヤウニ現在棉花ノ供給ト云フモノガ、昔ハ「インド」或ハ「アメリカ」邊リカラ低廉ナ物ヲ多量ニ入レテハソレヲ利用シテ居ツタ譯デアリマス、最近ニ於キマシテハ勿論サウ云フ所カラノ期待ハ出來ズ、北支、中支等ニ於テ或ル限ラレタ數量ノ供給ヲ受ケテ居ル、而モソレハ主トシテ軍需ニ使ハレテ居ルト云フヤウナ關係デ、是ハ生産必需ノモノデアリマスケレドモ、ソコニ自ラ供給ノ制限ガサレルヤウデアリマス、輸出用ノ綿布ハ相當滞貨ガアルノデアリマスケレドモ、ソレ等モ從來カラ作業着等ニ使ヒ得ル種類ノモノハ、ヤハリ或ル程度國內ニ流シテ賣ツテ居リマス、併シ輸出物モヤハリ生地ガ丁度合ハナカツタリ致シマシテ、相當大量ニハゴザイマス、必ズシモ作業着ニ向カナイト云フ所ガアルノデゴザイマス、最近農村方面ニ於キマシテ勞働着或ハ地下足袋等ノ要望ガ非常ニ多イノデアリマシテ、私共モ極力商工當局、其ノ他ノ方面ニ向ツテモ成ベク多量ニ供給シテ貰

ヒマスヤウニ要望努力致シタイト思ツテ居リマスガ、唯ソコニ自ラ或ル程度ノ制限ヲ受ケマスコトハ此ノ際已ムヲ得ナイカト思フノデアリマス

家畜ノ飼料ト玄米食トノ關係ニ關聯致サレマシテ、玄米食ヲ直接ヤルノガ宜イカ、或ハ糠ヲ取ツテ、一應家畜ヲ通シテ、然ル後ノ生産品ヲ食ベルノガ效果のカ、ドウダラウカト云フ御話デアリマス、是非非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、詳シク學問的ナ研究ハ致シテ居リマセヌガ、現在玄米食ヲ致シマスノモ、要スルニ當面ノ船腹節約、其ノ他ノ爲ニ緊急已ムヲ得ザル一ツノ獎勵方策デアリマス、勿論玄米食ヲ現在強制ハ致シテ居リマセヌ、唯普及ビ獎勵ヲ致サレテ居ルダケデアリマスガ、緊急已ムヲ得ザル所デアリマシテ、長キニ互ツテ何レガ效果デアアルカト云フヤウナコトニ付テマダ考慮スル差當ツテノ違ガナイ譯デゴザイマス、併シ將來ニ互リマシテハ尙ホ能ク吾々ノ立場トシテモ研究致シテ参リタイト思ヒマス

農業保險ニ付テ組合ナド經營サセナイデ、將來國營ニシタラドウカト云フ御話デゴザイマスガ、先程御例示ニナリマシタヤウナコトガ或ハアツタカモ知レマセヌガ、今回ノ如クニ保險制度全般ニ互リマシテ、先程説明モアリマシタヤウニ、被害ノ危險率等ニ付テモ確カナモノヲ基礎ニ致シ、又政府ノ助成モ從來ナカツタヤウナ保險料ノ助成ヲ致シマシテ今回ノヤウナ制度ニ致シテ参リマスナラバ、國營ニ移サズ、從來通り組合經營デヤツテ置キマシテモ立派ニ成績ヲ擧ゲテ行ケルノデハナイカト思ツテ居リマス

○松岡(秀)委員 尙ホ生絲ノ問題ニ付キマシテハ只今ノ價格ニ於キマシテハ輸出向ト、國內向ト價格ガ二本建ニナツテ居リマスガ、之ヲ一本建ニスル御意向ハゴザイマセヌカ、一本建ニ致シマシテ、サウシテ生絲ノ統制ヲ致シマシテ、國內需要ヲ充タセルヤウナ御考ヘハアリマセヌデスカ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○石黒政府委員 生絲ハ御承知ノヤウニ最近ニ於キマシテハ軍需其ノ他ノ關係モアリマスシ、サウ云フ用途デアリマセヌデモ、我が國ノ友邦諸國デモ我が國ノ特產品トシテ少量ナガラモヤハリ要望ヲ致シテ居リマス、是等ニ對シテ生絲ノ供給ヲ致スト云フコトハヤハリ或ル程度致シタ方ガ彼我兩方ノ爲ニ有益デアラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテヤハリ今後モ出來ル限りニ於テ或ル程度ノ輸出ハ、大シタ數量デモアリマセヌガ、致シテ參ツタ方ガ宜シイト考ヘルノデアリマス、其ノ場合ニ於キマスル價格ト云フモノハ、是ハヤハリ品質其ノ他ニ應ジマシテ、適當ナ價格デヤツテ宜シイト思フノデアリマシテ、優良ナルモノニ付テ特ニ安クシナケレバナラヌト云フコトモナイカト思ヒマス

○松岡(秀)委員 次ニ蠶種ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、近頃蠶種製造家ガ統制サレマシテ、蠶種ニ其ノ責任者ノ記名ガサレテ居ナイ關係上、非常ニ粗惡ナル種ガ配付サレル向キガアリマスガ、之ニ付テ御當局ハドウ云フ取締ヲナサレマスカ、將來責任票ヲ付ケルカドウカ、之ヲ御伺ヒシタイ

○石黒政府委員 蠶種ニ付キマシテ御話ノヤウナ弊ガアルト云フコトハ、私共モ聞キ

及ンデ居リマス、是ハ何トカ致サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ

(泉委員長代理退席、委員長着席)

只今御話ノ票ヲ付ケルカドウカ、サウ云フ方法ヲ執ルコトガ適當デアアルカドウカト云フコトハ、實ハ餘リ最近ニ於ケル具體的ナコトハ承知致シマセヌノデ申上ガ兼ねマス、併シ何トカサウ云フコト、或ハソレニ準ジテ效果ヲ上ゲルヤウナ方法ヲ講ジマシテ、一ツ改善ヲ圖リタイト思ヒマス

○松岡(秀)委員 尙ハ是ハ保險ノ方ニハ餘リ關係ハアリマセヌガ、一ツ御伺ヒシタイコトハ、肥料ノ配給ガ非常ニ過去ニ於キマシテハ混亂ヲシテ居リマシタ、例ヘバ私ハ埼玉縣デアリマスガ、埼玉縣ニ於キマシテハ米肥聯カラ配給サレルノト、縣信聯カラ配給サレルノト二本建ニナツテ居リマス、其ノ最下部デ受ケルノハ町村ノ産業組合デ受ケテ居ル、然ルニ縣聯ノ方カラ受ケマス肥料ト、肥料商側カラ受ケマス價格トガ非常ニ違ツテ居ツタ、斯ウ云フコトハ非常ニ産業組合ガ、商人ノ提燈持ヲシテ居ルヤウナ風ニ取レテ洵ニイケナイト思ヒマス、別ニ産業組合ハ手數料ヲ取ラナクテモ宜イデアリマセウガ、肥料小賣商カラ最終小賣價格デ以テ産業組合ガ受ケテ居ル狀態デ、殆ド肥料商側カラ來ル肥料ハ無手數料デ配給シテ居ル狀態デアリマス、唯縣販聯カラ來マス肥料ハ多少ユトリヲ取りマシテ手數料ニナルヤウナ關係上、丁度寄セテ二デ割レバソコニ幾ラカノ餘剩ガアルト云フヤウナ工合デアリマス、斯ウ云フヤウナ工合デアリマス、産業組合ノ方々ニ言ハセルト、吾々ハ肥料商ノ手傳ヲヤツテ居ルノダト云フダケニナツテ洵ニ困ル、デアリマスカラ是ハ將來農業

團體ガ統制サレテ行キマシテモ、サウ云フヤウナ結果デアツテハイカスト思フノデアリマス、ドウカ此ノ點ハ一ツ改メテ貰ツテ、縣ノ農業聯合會ハ肥料ヲ配給願ツテ、ソレカラ縣ノ聯合會カラ町村ハ配給シテ貰フト云フ風ニシタ方ガ、一元的配給ニナツテ非常ニ宜イト思ヒマス、農家ノ使用スル肥料ノ如キハ、肥料ノ製造業者カラ直接將來ノ縣農業會、今ハ縣信販聯ニナツテ居リマスガ、縣信販聯ニ流シテ下級部ニ流シテ行クノガ、手數ヲ省イテ非常ニ宜イト思フノデアリマス、又季節的ニ配給サレマシテモ、農家ト致シマシテハ洵ニソレヲ望ンデ居リマスカラ、ドウカ其ノ點ニ付キマシテモ將來御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ農器具ノ配給ノ狀態デアリマスガ、是ハ一旦縣信聯ノ方ニ入ツタモノガ更ニ商人ノ手ニ渡ツテ、又町村組合ノ方ニ渡ルヤウナヤコシイ手數ヲ掛ケテ居リマスガ、其ノ制度モヤハリ農業關係ノ資材デアリマスカラ、現在ニ於テハ縣信販聯ヲ通ジテ、町村組合ニ流シテ貰フヤウニシテ貰ツタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマス、將來ハ縣ノ農業會ハ農業資材ハ全部配給サシテ戴キタイ、又穀物ノ集荷ニ付キマシテモ、町村農業會カラ縣ノ方ヘ出シテ行クノデアリマスカラ、非常ニ其ノ方ガ都合ガ好イト思フノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテノ將來ノ御方針ハドウデアアルカ伺ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 只今ノ肥料ノ配給ノコトニ付キマシテハ、是ハ恐ラク肥料商系統、或ハ産業組合系統ノ兩配給系統ガアリマシテ、本來ナラバ肥料商ノモノハ肥料商カラ直接農家ニ行クベキモノヲ、ソレデハ全體ノ配給ノ統制ガ取レヌト云フ所デ、便宜町

村産業組合ニ於テソレヲ一括シテ配給ラジテ居ルト云フコトカラ生ジテ居ル事態デアルト思ヒマス、肥料農具、其ノ他各種ノ物資ニ關シマシテ、農村ニ對スル生産物資ノ配給ニ付キマシテハ、從來カラ御話ノ如ク商業者系統、或ハ産業組合系統ノ兩方面ノ配給ガ、數量ノ高ハ姑ク措キマシテ、多クハアルノデアリマス、實際ノ農家ノ都合カラ申セバ、ソレヲソコニ一元化スルコトガ非常ニ適當デアルト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、一面ニ於テ此ノ戰時下ニ於キマスル産業組合ト商業者トノ關係ニ付キマシテハ、中々ヤコシイ問題ガアルノデゴザイマス、是ハ御承知ノ通りデアリマシテ、之ニ付キマシテハ大體ニ於テ所謂相剋摩擦ヲ避ケルト云フヤウナコトカラ、是ガ延イテ或ハ農家ニ不便ヲ來シタリ、或ハ何カ非常ナ妙ナコトヲヤツテ居ルト云フヤウナ感ヲ抱カセルコトモアラウカト思フノデゴザイマスガ、吾々ト致シマシテハ今後モ此ノ間色々ノ狀況ニ照ラシマシテ、十分善處ハ致シタイト思ツテ居リマスケレドモ、今申シマシタヤウナ事情ガアリマスコトダケハ、一ツ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松岡(秀)委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○池田委員長 ソレデハ二田君
○二田委員 私ハ此ノ農業保險制度ヲシテ將來益、堅實ヲ發達ヲナサシメ、又一方食糧ノ増産確保ヲ圖ル爲ニ、二、三御當局ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、第一ニ今マデ農産物價ノ問題ガ非常ニ皆様カラ論議サレタノデアリマスガ、私モ一言此ノ點ニ付テ先ヅ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、唯私ハ農産物ノ價格ヲ上ゲルコトガ、直チニ増産ヲ來スカドウカト云フコトニ付テハ、聊カ意見ヲ持

ツテ居ルノデアリマスカラ、別ナ觀點カラ御尋ネラ致シタイト思ヒマス、第一ニ農林當局ニ於カレマシテハ現在ノ農産物ノ價格、特ニ米ノ價格ハ適正ヲ得テ居ルカ、殊ニ他ノ農産物ニ比シマシテ適正ヲ得テ居ルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス、適正價格ト思フノデアリマスガ、要スルニ生産費ト比較シテドウデアアルカ、又他ノ物價ト比較シテドウデアアルカト云フコトガ所謂適正價格ヲ決定スル要件デアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ第一ニ承リタイト思ヒマス

○石黒政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ率直ニ申上ゲマス、大體ニ於キマシテ生産費等ニ對シテ考ヘマシテ、現在ノ米ノ價格、殊ニ獎勵金ヲ含メテノ米ノ價格ト云フモノハ、詰リ一昨年ノアノ當時五圓ヲ加ヘテ適正ヲ得タモノデアリマス、昨年ノ豐作ニ於テ適正ヲ得ラレナイト云フコトハ、先ヅ一般的ニ考ヘラレナイト云フヤウナ大體的ナ觀察モ出來マスルシ、私最近ニ於テ特ニ深く此ノ生産費ノ關係ニ立入ツテハ見マセヌケレドモ、先ヅ適正ヲ得テ居ルモノダラウト思フノデアリマス、併シナガラ他ノ農産物ノ價格、其ノ他ト比較致シマシテ、所謂均衡ノ問題ト云フ點カラ見テ適正ヲ得テ居ルカト云フ點カラ見テ適正ヲ得シテノ價格トシテハ、私ハ明カニ適正ハ得テ居ラナイト思ヒマス

○二田委員 農林當局自ラ適正ヲ得テ居ナイト云フコトハ御認メニナツタヤウニ拜承致シマス、其ノ適正ヲ得テ居ラナイ程度モ僅カデアラナラバ、是ハ農民ハ我慢スルト思ヒマスガ、其ノ差ガ非常ニアルナラバ――

例ヘバ私東北ニ居リマスガ、青森縣、秋田縣邊リノ林檎ニ比較スル時ニハ甚ダシイノデアリマス、林檎ノ反當收量ハドウシテモ一反カラ七、八百圓デアリマス、而モ其ノ生産費モ掛ルコトハ掛リマスガ、其ノ七、八百圓ノ生産費ノ半分ハ掛ラヌ、是ニ於テカ其ノ殘ル利益ガ非常ニ多イ、恐ラクハ五百圓位ハ殘ルノデアリマス、米ノ方ハ獎勵金ヲ加ヘマシテ一俵十九圓、反當收量ハ二百三十圓デアリマス、之ニ對スル生産費ハ非常ニ掛ル、特ニ勞銀ノ問題ニ於テヒドイノデアリマス、勞銀ハ公定價格ガアリマスガ、到底公定價格デハ頼メナイ、一方又各方面ヲ見マスルニ、非常ニ勞銀ガ高イ、現ニ農林省管轄デヤツテ居ル所ノ營林局、アノ邊

デ使ツテ居ル農民ノ勞銀ハ、農村方面カラ見マスト約三倍位高クナツテ居ル、斯ウ云フ點ハ農林當局ヘドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ルカ、此處ヲ一ツ御伺ヒ致シタイノデアリマス、尙ホ適正ヲ得テナイトスレバ、之ヲ如何ニシテ適正化スルカト云フコトノ一ツノ御方針ヲ承リタイノデアリマス
○石黒政府委員 農産物ノ均衡上ノ問題トシテ適正ヲ得テ居ラナイト申上ゲマシタ、之ニ付キマシテハ色々考ヘテ居リマスケレドモ、マダ此處デスク／＼ノ方法デス様なコトヲスルト云フコトヲ申上ゲルマデニ至ツテ居リマセヌノハ遺憾デアリマス

○二田委員 私ハ農林次官カラ適正ヲ得ル方法ヲ持タナイト云フ御話ヲ伺ツテ非常ニ遺憾ニ思ヒマス、凡ソ此ノ物價ト云フモノハ、先程申上ゲマシタガ、生産價格デ間ニ合フト云フダケデハ増産ハ中々難カシイ、ソレデ適正ヲ得テ居ナイト云フコトハ認メテ居ルガ、政府ニ方針ガナイト云フコトハ政

治力ヲ既ニ失ツタ、斯様ニ言ツテモ差支ヘナイノデハナイカト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、速カニ適正ヲ圖ルヤウナ方法ヲ見出サレシコトヲ茲ニ切望シテ置ク次第デアリマス
次ニ農業保險ノ改正ニ於キマシテ、大幅ニ引上ゲテ農家ニ經濟上ノ弾力性ヲ持タセルト云フコトハ非常ニ結構ナコトデアリマスガ、要スルニ我が國ノ農業ハ天候ノ支配ヲ受ケルコトガ非常ニ大キイノデアリマス、天候ハ如何トモスルコトハ出來ナイノデアリマスガ、天候ノ被害ヲ出來ルダケ人カヲ以テ少クスルト云フコトヲ最モ考ヘナクテハイカスト思フノデアリマス、

ドウ云フ風ナ方法ニ依ツテ此ノ天候ノ被害ヲヨリ少クスルカト云フコトハ、ソレハ色々ノ土地改良ヲスル外ハナイ、農林當局ニ於キマシテモ、色々土地改良ニ重點ヲ注ガレテ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ大規模ニ行ハナクテハイカストデナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是カラ肥料モ非常ニ不足スルノデアリマスガ、殊ニ我が國ノ水田ト云フモノハ大體ニ於テ非常ニ古イ、吾々ノ先祖ハ之ニ堆肥ヲ施シ、又天然ガ之ニ色々ノ力ヲ持タセテ居ル、此ノ力ヲドウカシテ使フト云フコトヲ、吾々考ヘナクテハイカストデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ最モ宜イノハ暗渠排水デアアル、之ニ依ツテ理化學的ニ土地ノ肥料ヲ分解サセル、サウ云フコトガ肥料不足ノ今日最モ大切ナコトデハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、先程農林大臣ハ堆肥ハ殖エテ居ル、現ニ十億萬貫デシカカ殖エテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、

今農村ニ於テ勞力不足ノ折柄、統計ニハサウ云フ數字ガ現ハレタカモ知レマセヌガ、

併シ本當ノ肥料分ノアル堆肥ガソレダケ殖エタカドウカ、私ハ深イ疑問ヲ持ツテ居リマス、尙ホ堆肥ノミヲ以テ果シテ將來増産ガ出來ルカ、之ニモ深イ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテドウ云フ土地改良ハ農林省ハ重點ヲ注ガレルノカ、ドウ云フ方法ダ土地改良ヲ速カニヤラレルカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○石井(英)政府委員 肥料ノ不足、勞力關係ノ窮屈ト云フヤウナ現狀ニ於キマシテ、生産増強ノ爲ニ土地改良ニ重點ヲ置クベシト云フ御議論ニハ、全ク吾々御同意デゴザイマス、今年度ノ豫算ニ於キマシテモ、土地ノ擴張ヨリモ重點ヲ土地改良ノ方ニ向ケタ豫算ノ組ミ方致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、殊ニ御話ノゴザイマシタ暗渠排水ノ問題ハ、比較的工程ガ簡易ニシテ其ノ效果ノ大ナルモノトシテ、吾々ハ之ニ相當大キナ期待ヲ置イテ居ルノデアリマス、唯問題ハ御承知ノヤウニ土管等ノ資材ノ關係ニ於テ十分配給ガ廻ラヌト云フコトノ爲ニ、ヤリタクテモ工程ガ出來ナイト云フ部分モ、遺憾ナガラ起ツテ居ルノデアリマス、是等ノ資材ニ對シマシテハ、土地ニ依ツテサウモ參リマセヌケレドモ、粗朶等ノ物資ヲ使ビマシテ、年限ハ短クアリマスガ、暗渠排水ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ルノデアリマスカラ、サウ云フ土管等ノ資材ヲ用ヒナイ暗渠排水ノ工事モ工夫ヲ凝ラシテヤツテ參リタイト思ツテ居リマス、其ノ他農業工事にシテ、各地方ノ地元トシテハ、小規模ナ水利事業ノ促進ト云フコト、用排水ノ比較的小規模ノ工事ヲ推進、是等ノコトニ重點ヲ置イテ、土地改良ノ問題ヲ進メテ參リタイト思ツテ居リマス

○二田委員 農村ニ負ハサレタ所ノ使命ノ

食糧ノ増産ハ最モ重大ナコトデアアルノデアリマスガ、其ノ外ニモウ一ツ重大ナコトガアル、ソレハ農村ヨリ勞力ヲ他ノ産業ニ供出シナケレバナラヌト云フコトデアリマス、我が國ガ米英ト決戦スル爲ニドウシテモ軍需工業ノ必要ナコトハ申スマデモナイノデアリマス、是等ノ工場要員ハ何處カラ最モ出スカト言ヒマス、我が國人口ノ四割ヲ占メマス所ノ農村ヨリ出ス外ナイノデアリマス、唯茲ニ無方針ニシテ農村ヨリ人ヲ出シタナラバ勢ヒ農産物ノ増産ニ影響スル、之ヲ農産物ノ増産ニ影響セシメナイデ、而モ健全ナル勞力ヲ農村ヨリ軍需工業ニ供出スルニハドウ云フ風ナ方法デアルカト云フコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラス、我が國ノ農業ハ、特ニ水田ニ付テ申上ゲマスト、非常ニ手間ガ掛カル、一反歩ニ付キマシテ二十人乃至二十五人位ハ掛カラウト思ヒマス、之ヲドウ云フヤウナ方法デモウ少シ手間ノ掛ラナイ水田ヲ作ルカト云フコトガ、食糧増産ニ課セラレマシタ最モ重大ナル問題ト私ハ考ヘテ居リマス、私ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シ我が國ノ水田ノ大半ニ耕地整理ヲ施シマシテ、作リ易イ田ニスル、田毎ノ月ヲ見ルヤウナア云フヤウナ田デナク、作リ易イ、而モモウ少シ機械力ヲ入レテ、特ニ畜力ヲ入レルコトノ出來ルヤウナ田ヲ作ツテ、大規模ノ農業土木事業ニ依ツテ、サウ云フヤウナ恰好ノ田ヲ作ツテ勞力ノ節約ヲスル、現ニ耕地整理ヲ能クヤツタ田デアレバ、ヤラナイ田ヨリモ五人ハ節約出來ルノデアリマス、是ハ大體除草ニ於テ非常ニ節約出來ル、或ハ田植ニ於テ、稻刈ニ於テ節約出來ル、斯様ナ狀態ニナツテ居リマスカラ、茲ニ農

林當局ニ於テハ大規模ノ耕地整理ヲ行フ御意思ガアルカドウカ御伺ヒ致シマス

○石井(英)政府委員 地方々々ノ實情ニモ依リマスガ、耕地整理ヲ必要トスル地區モマダノ非常ニ多イト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ地區ニ對シテハ、耕地整理ノ實行ニ對シテハ從來通りト申シマスルカ、從來ニ加ヘテ助成ヲ増加シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス

分一ツ研究ヲシテ見タイト存ジマス、ソレカラ尙ホ最後ニ價格ノ問題ニ付テ御話ガアリマシタガ、要スルニ私共モ色々考ヘテ居リマス、二田サンモ御承知ノコトト思ヒマスガ、今日此ノ場合此ノ席ニ於テ申上ゲル域ニ達シテ居ラナイコトヲ申上ゲテ置ク次第デゴザイマス

○二田委員 是ハ大臣ニ御伺ヒスルコトカモ知レマセヌガ、オイデニナラナイカラ次官ニ御願ヒ致シマス、此ノ土地改良ニ付キマシテ實際ニ當ツテ第一ニ難カシイコトハ土地改良ノ法律上ノ手續ガ非常ニ難カシイ、土地所有者ノ半分ノ同意或ハ賃貸價格ノ面積ノ三分ノ二ノ同意ヲ得ナケレバ出來ナイ、之ニ地方ニ於テハ惱シデ居ル所ガ相當ニアリマス、斯様ナ法令デハ、今早速ニ大規模ノ土地改良ハ出來ナイノデアリマス、之ヲ出來易イヤウニ法律ヲ改メルヤウナ御意思ガアルカドウカ御伺ヒ致シマス

○石井政府委員 只今ノ問題、左様ナコトモアルコトト存ゼラレルノデアリマスガ、是モ亦餘リニ強制的ト申シマスガ、一部ノ土地所有者、其ノ他土地ニ付テ權利ヲ持ツテ居ル者ノ意思ヲ無視シテモ斷ジテヤルト云フヤウナコトニ致シマスルト、ソコニ又何カ所有權其ノ他ニ對スル非常ナ強制ノ問題ト云フヤウナコトモアルカトモ思ハレルノデアリマスガ、尙ホ非常ニ手續ガ込入ツテ中難カシイト云フヤウナコトニ付テハ私共モ經驗ガアリマセヌモノデスカラ、是ハ一ツ能ク研究致シマス、土地改良ト云フコトハ確カニ非常ニ有益ナコトデアリマスノデ、促進シテ參ラナケレバナリマセヌカラ、十

○二田委員 次ニ別ノ問題ニ付テ御尋ネ申上ゲマスガ、農業保險ノ交付金ヲ相當大幅ニ値上ラシタコトハ結構ナコトデアリマスガ、斯ウ云フ物資ノ足ラヌ際ニハヤハリ一ツノ裏ト云フコトモ考ヘテ見ナケレバナラスノデアリマス、最近特ニ米作ガ他ノ農産物、或ハ他ノ物價ニ比シマシテ割ノ合ハナイ仕事デアルト云フコトハ農民ノ通念ニナツテ居リマス、又一方ドウ云フ勞銀ガ高クナツテ居リマスカラ、此ノ保險金ガアルト云フコトハ場合ニ依ツテハ途中ニ於テ諦メサセル、ドウモ早魃ノ爲ニ植付ガ餘リ十分ニ行カナイカラ、諦メルトカ何トカ彼トカ云ツテ、途中ニ於テ諦メサセル感ジヲ出サナイ譯デモナイ、吾々ハ農村ニ居リマシテ、農民ノ心理ト云フモノハ或ル程度分ツテ居リマス、斯様ナコトモ危惧シナケレバ、イカヌヤウナ今ノ農村ノ事情デアルト云ツテモ差支ヘナイト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ大臣モ先程カラ言ハレテ居ルノデアリマスガ、農民ノ精神的訓練是ガ重大ダト云フコトヲ言ハレテ居ツタノデアリマスガ、ソレハ其ノ通りデアリマス、ソレデ唯口先バカリデ精神訓練ト云ツテモ、今ハ中々其ノ通りニハ實行出來ナイノデアリマス、之ニ付キマシテ農林當局ニ於テハ具體的ニドウ云フ御方針ヲ持ツテ居ラレルカ、ドウ云フ方策ヲ持ツテ居ラレルカ御伺ヒ致シタイ

ノデアリマス

○石井(英)政府委員 只今ノ點ハ農業保險ニ伴フ道德的危險ガ保險金額ノ引上ゲニ依ツテ増加スル結果ニナルガ、ソレニ對シテ其ノ防止ノ爲ニ如何ナル方法ヲ用意シテ居ルカト云フ御質問ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、今回ノ保險金額引上ゲニ依リマシテ、道德的危險ノ防止ト云フコトニ付キマシテハ、從來以上ノ考慮ヲ拂フベキハ御承知ノ通りデアリマス、吾々ノ方ト致シマシテハ被害程度別ノ保險金額ノ支拂等ニ於テモ其ノ點ノ考慮ヲ致シテ居リマスト共ニ、若シ道德的ニ耕作者ガ通常行フベキ肥培管理ヲ怠ツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレニ對シテハ保險金ノ支拂ヲ制限スルト云フコトガ農業保險ノ組織トシテハ基本的ニ決ツテ居ルノデアリマス、此ノ制度ヲ運用致シマシテ、左様ナ弊害ノ起ラスヤウニ措置ヲ講ジテ行ク、ソレト同時ニ保險金ヲ貰フヨリモ實際ノ收穫ヲ得ル方ガ確ニ有利ニナルヤウナ計算モ、被害程度別ノ支拂割合ニ於テ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ道德的危險ヲ生ズルソレ等ノ防止策トシテハ、評價ノ嚴正ヲ期スル爲ニ、特ニ地方ノ委員會ニ其ノ方面ノ専門家ヲ置キマシテ、是ガ損害評價ノ嚴正ヲ期スル爲ニ特別ノ措置ヲ新シク講ズルコトニ致シタ次第デアリマス

○石井(英)政府委員 農民ニ對スル修練ノ問題ニ付キマシテハ、今回議會ニ出テ居リマスル豫算ニモ修練農場組織ノ整備擴充ト云フコトヲ計畫シテ居ルノデアリマス、此ノ計畫ハ中央ニ於キマシテハ、農民ノ修練ニ當ルベキ指導者ノ養成ヲ中心トスル中央ノ修練農場ヲ設ケ、ソレカラ更ニ各地方ニ現在アリマスル修練農場ノ組織ヲ整備擴充スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、大體現在各府縣ニアリマスル修練農場ハ五十人程度ヲ收容スルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ第一期ノ計畫トシテ、先ヅ全國ニ互ツテ之ヲ百人程度收容シ得ル修練農場ニ擴充ヲシテ參リタイ、ソレカラ更ニソレニ女子部ヲ併設致シマシテ、農村婦人ノ今後ノ重大性ニ鑑ミテ、其ノ修練ニ一段ノ努力ヲ拂ハウト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ施設ヲ實行致シマス爲ニ、設備等ニ對シテハ全國國ガ助成ヲスル、ソレカラ經常費ノ職員ノ設置費ニ對シテモ全額ノ助成ヲスル、又農場ノ設備、ソレカラ修練生ノ食費等ニ對シテハ二分ノ一ノ助成ヲスルト云フヤウナコトヲ實行致シテ、修練農場組織ノ整備擴充ニ努メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ各地方ノ修練農場ヲ中心ト致シマシテ、農民ノ修練事業ヲ一段ト強化充實致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○石井(英)政府委員 修練農場組織ノ指導方針ニ付テハ御説ノ通りニ吾々モ考ヘテ居ルノデアリマス、從來各府縣ノ經費ガ十分デナイ關係上、各修練農場ガ兎角自給自足ノ經營ヲナケレバナラヌト云フ窮屈ナ狀態ニナリマシテ、其ノ爲ニ思フヤウナ修練ガ出來ナイト云フ遺憾ナ點ガアツタノデアリマス、吾々トシテハ其ノ點ハ是非トモ今回ノ施設ニ依リマシテ改正ヲ致シテ、サウシテ經濟的ナ點ニ修練農場ノ首腦者ガ心ヲ勞スルコトナクシテ、本來ノ農民ノ鍊成ト云フコトニ力ヲ集中シ得ルヤウニシタイト云フノガ、今回特ニ國ノ助成ヲ厚ク致シマシタ理由ノ一ツデアリマス、隨ヒマシテ今後ニ於キマシテハ各修練農場ニ於テハソコノ經費ヲドウシテ賄ハウカ、修練生ノ食費ヲドウシテ得ルカト云フコトニ、餘リ頭ヲ勞セズシテヤルヤウニ致シテ參リタイト思ヒマス、今回ノ助成ノ内容ニ付キマシテモ、此ノ程度ノモノデアレバ、從來ノヤウナ遺憾ナ點ハ大

體除去出來ルモノデアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ計畫ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○樋口委員 少シ關聯シテ……、此ノ修練道場ノコトデアリマスガ、只今農政局長ノ御述ベニナルノハ縣立ダトカサウ云フモノヲ指シタモノト思フノデスガ、私共思フニ修練道場ト云フモノハ各地方、民間ニ澤山アル、此ノ時代ニ於テハ農業ト言ハズ、何ト言ハズ修練サセル必要ガ大イニアルヤウニ思フガ、是等ヲ總テナルタケ多ク動員シテ使ツテ行クト云フ風ニシタ方ガ宜イト思フガ、其ノ點ニ付テドシナ風ニ考ヘテ居ラレマス

○石井(英)政府委員 只今吾々共トシテ計畫シテ居リマスモノノ對象ハ、現在地方農事講習所規程ト云フモノガアルノデアリマス、其ノ規程ニ依ツテ地方修練農場ト云フモノヲ設立シ得ルコトニナツテ居ルノデアリマス、大體各府縣デヤツテ居リマスル修練農場ハ地方農事講習所規程ニ依ル修練農場トシテ出來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテサウ云フモノニ付テハ一定ノ規模ヲ持チ、又其ノ設備ノ内容ニ於テモ十分農民ノ鍊成機關トシテノ資格ノアルモノダケガ其ノ規程ニ依ツテ設立ヲ認メラレテ居ルノデアリマス、先ヅ第一段トシテ是等ノモノガ十分ニ活動ガ出來ルヤウニト云フコトヲ目標ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ地方農事講習所規程ニ依リマスモノデサヘモ、現狀ニ於テハ甚ダ遺憾ナ點ガアルノデアリマスガ、ソレヲ十分充實サセテ農民鍊成ノ仕事ガ徹底的ニ出來ルヤウニシヨウト云フコトヲ第一段ニ考ヘテ居ルノデアリマス、但シ必ズシモ府縣營タルコトヲ吾々ハ要シナイト思ツテ居ルノデアリマス、併シ何レニシ

マシテモ相當ノ規模ヲ持チ、又修練生ノ收
容力ニ於テモ相當ノ規模ヲ持ツモノニ此ノ
助成ヲ集中シテ、力強イモノニシテ参リタ
イト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス

ラレタ數ガ縣内デ僅カナモノデ、ソレヲ歸
シテカラ一般ノ思想ニ及ボスト云フ爲ニハ
本當ニ精神的ニ打込シテ戴カナケレバナラ
ヌノデアリマス、ドウカ是等ノ選抜ニ付キ
マシテハ、全國廣ク適當ナル人ヲ選ンデ、成
ルベク多ク、早く一般ニ及ボシテ行クコト
ヲ希望シテ置キマス

○樋口委員 縣ノ農事試驗場ニアリマス
ノハ、私共ノ見ル所カラ言フト、國デヤル
トカ縣デヤルトカ云フヤウナコトハ、精神
的方面ノコトニハドウモ不適當デナイカト
思フ、強制セラレル傾キガアルノデス、例
ヘバ縣ニ一箇所アルト言ヒマシテモ、隨分
地方ニ依ツテハ遠イノデアツテ、中々ソコ
ニ一週間ナリ二週間ナリヤルト云フコトハ
事實問題トシテ容易ナラヌコトデハナイカ
ト思フノデス、現ニ内原ノ如キモ政府トシ
テハ一人ニ付テ千何百圓掛ルト云フ御話ヲ
聞イタノデスガ、彼處ニ先ヅ出ス者ヲ縣カ
ラ郡ニ割ツテ來マスルト、其ノ人ヲ選抜シ
テ出スノニ非常ニ困ル、サウ云フコトデ國
デヤルトカ、縣デヤルトカ云フモノハドウ
モ遠イ所ノ一地方ヘ集メナケレバナラス、
所ニ依ツテ違ヒマセウケレドモ、縣ニ依ツ
テ相當發達シテ居ル所ヲ見ルト、各方面ノ
人格者ガ中心トナツテ、サウシテ無理ニ行
ケト言ハヌデモ、其ノ人ヲ慕ツテ來ルト云
フモノガ相當アルト思フノデゴザイマス、其
ノ點ニ付テハ眞ニ自分ガ自覺シテ修養ニ行
カウ、斯ウ云フ風デナイト、縣トカ國トカ
云フコトデハ道場方面ニハ聊カ不適當ナ所
ガ多イト思ハレマスガ、ソレデモ宜イガ、
私共ノ希望トシテハ、ドウカ精神修養ノコ
トハ能ク考ヘテヤツテ戴キマセヌト、無理
ニ送ルトカ、送ル人ヲ探スニ困ルトカ云フ
ヤウナコトデヤツタノデハ、ヤルコトハド
レ程ヤツテモ、其ノ者ガ歸ツテ來テ他ニ及
ボス影響ハ極メテ薄イノデス、ソレデ集メ

○石井(英)政府委員 御趣旨ノ程ハ能ク拜
聽致シマシタ、唯一言申上ゲテ置キタイト思
ヒマスガ、御説ノ通り農民修練ノ問題ハ指
導者ト申シマスカ、中心人物ト言ヒマスカ、
其ノ人ノ如何ニ依ルノデアリマスカラ、國
立トカ縣立トカ餘リサウ云フコトニコダハ
ルベキデナイト云フコトハ、吾々モ重々サ
ウ考ヘテ居ルノデアリマス、所デ現在各府
縣ニ在リマスル地方修練農場ノ首腦者ト云
フモノハ、實ニ眞劍ニ仕事ヲシテ居ル適任
者ガ非常ニ多イノデアリマス、ソレデ實際
問題トシテ希望者ガ非常ニ多ク段々ト出テ
参リマスノデ、現在ノ施設デハ其ノ要望ニ
應ジ切レナイ實情デアリマスノデ、サウ云
フコトカラ考ヘマシテ今回ノヤウナ計畫ヲ
致シタノデアリマス、其ノ點一ツ御諒承置
キヲ願ツテ置キマス

○泉委員 殘餘ノ質問ハ延期シテ本日ハ是
ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○池田委員長 ソレデハ本日ノ豫定ノ質問
者ダケハ済ミマシタカラ、本日ハ是デ散會
致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマ
スカラ、何卒御出席ヲ願ヒマス、唯部屋ノ
關係上今ノ所デハ午前中ダケノ積リデアリ
マス、近頃ハ御承知ノ通り委員會ガ幅湊シ
テ居リマスカラ、部屋ヲ取ルコトガ中々難
カシイ、ソレデハ是デ散會致シマス

午後四時四分散會